

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(白糸線)	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催と公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指した。	B	C	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。	評価の指標は、路線別の収支率。バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」の開催、沿線住民への情報提供や利用啓発、「PayPay」導入による利便性向上に取り組みられていることを評価します。新型コロナウイルス感染症の影響が目標を下回った原因とされていることから、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。今後も、29年3月に策定した地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		コミュニティバスの運行(雷山線)	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催と公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指した。	B	C	同路線は、曾根線[有田経由]・曾根線[波多江経由]・井原山線の4路線が一部重複したバス路線を形成しているため、曾根線におけるオンデマンドバスの導入等を検討することで、ダイヤや路線などの見直しにより、利便性の向上につなげる。		
		コミュニティバスの運行(曾根線波多江経由)	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催と公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指した。	A	C	同路線は、曾根線[有田経由]・雷山線・井原山線の4路線が一部重複したバス路線を形成しているため、曾根線におけるオンデマンドバスの導入等を検討することで、ダイヤや路線などの見直しにより、利便性の向上につなげる。		
		コミュニティバスの運行(曾根線有田経由)	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催と公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指した。	A	B	同路線は、曾根線[波多江経由]・雷山線・井原山線の4路線が一部重複したバス路線を形成しているため、曾根線におけるオンデマンドバスの導入等を検討することで、ダイヤや路線などの見直しにより、利便性の向上につなげる。		
		コミュニティバスの運行(井原山線)	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催と公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指した。	A	C	同路線は、曾根線[有田経由]・曾根線[波多江経由]・雷山線の4路線が一部重複したバス路線を形成しているため、曾根線におけるオンデマンドバスの導入等を検討することで、ダイヤや路線などの見直しにより、利便性の向上につなげる。		
		コミュニティバスの運行(川原線)	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催と公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指した。	A	C	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
		コミュニティバスの運行(前原今宿線)	沿線住民への情報提供や利用啓発を行う。また、交通渋滞による慢性的な遅延の解決に向けてダイヤ等の見直しなどを検討する。	A	C	沿線住民への情報提供や利用啓発を行う。また、路線短縮に伴う利用状況を検証し、ダイヤの見直しなどを検討する。		
		コミュニティバスの運行(九大線波多江経由) ※車両減価償却費等国庫補助あり	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指し、九大線の輸送力強化を計画として位置づけた。	B	C	九大関係者や学生の定住等に伴う利用実態、および国際村構想に伴う利用予測等を考慮し、便数や路線の検討を行い、収支改善を目指す。		

		コミュニティバスの運行 (九大線泊・油比経由)	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指し、九大線の輸送力強化を計画として位置づけた。	B	C	九大関係者や学生の定住等に伴う利用実態、および国際村構想に伴う利用予測等を考慮し、便数や路線の検討を行い、収支改善を目指す。
		コミュニティバスの運行(初深江線)	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指した。	A	C	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤや路線などの見直しを必要に応じて実施する。
		コミュニティバスの運行(市街地循環線)	ルートの見直しを行うことにより、市中心部における回遊性を高め、各施設へのアクセス向上を図る。	C	C	沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤや路線などの見直しを必要に応じて実施する。
朝倉市地域公共交通活性化協議会(交通会議)	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー黒川線	○運行区間 黒川地区～久喜宮・志波地区経由～杷木地区	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A	路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。
	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(佐田コース)	○運行区間 佐田地区～矢野竹経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B	・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編
	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(黒川コース)	○運行区間 黒川地区～矢野竹経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B	・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。
	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー馬田線	○運行区間 馬田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A	
	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー福城線	○運行区間 蟻城地区～福田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A	
	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー杷木東部線	○運行区間 松末地区～杷木地域中心部、杷木地区内	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	C	
	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー長瀬線	○運行区間 大福地区～金川地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	C	
						評価の指標は、路線毎の利用者数、沿線コミュニティへの定期的な利用状況報告や広報活動等利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると思います。引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。

	<p>矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー上秋月・安川線</p>	<p>○運行区間 上秋月地区～安川地区～甘木市街地</p>	<p>利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。</p>	A	B		
	<p>矢野タクシー(4条) →朝倉地域コミュニティバス</p>	<p>○運行区間 朝倉・宮野・大庭・福成地区～朝倉地域中心部</p>	<p>利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。</p>	A	B		
	<p>甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー矢野竹線</p>	<p>○運行区間 矢野竹～十文字～甘木市街地</p>	<p>利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。</p>	A	C		
	<p>甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー美奈宜の社線</p>	<p>○運行区間 矢野竹～美奈宜の社地区～甘木市街地</p>	<p>利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。</p>	A	B		
<p>大牟田市地域公共交通活性化協議会</p>	<p>西鉄バス大牟田(株)</p>	<p>米の山・黒崎団地線(18番系統) 西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～黒崎団地前</p>	<p>事業評価結果を踏まえ、以下の取組を行うようにした。 [1]時刻表のポスティング [2]バス路線沿線のイベント情報を毎月バスに掲示し、バスを利用してイベントに赴いていただくようなPR活動の実施 [3]高齢者イベントでのグランドバス65の案内チラシ配布など、イベントへの参加によるバス路線PR活動の実施 [4]商業施設などでの時刻表やチラシの配布 [5]バスを身近に感じてもらう取組みの一環として、小学校でのバスの乗り方教室や商業施設等での子どもを対象としたバスの乗り方教室の実施 [6]利用促進に向けた活動実施や情報提供の充実(公共交通マップ作成、モビリティマネジメントの実施、乗り方教室や出前講座の開催、周辺市町と連携した公共交通利用促進、バスに親しみをもつための体験・実施)</p>	B	C	<p>目標達成に向け、利用者の属性(高齢者、学生など)を踏まえた効果的な利用促進の実施及び沿線企業等への利用促進チラシの配布やノーマイカーデーの取組の依頼を行うことで、新規利用者を増やし、収支改善を行う。また、新型コロナウイルスの影響による新しい生活様式を踏まえた公共交通の利用を働きかけていく。</p>	<p>評価の指標は、路線別の収支率。商業施設での利用促進チラシの配布や小学生を対象としたバス教室の開催等、利用促進に取り組まれていることを評価します。新型コロナウイルス感染症の影響が目標を大きく下回った原因とされていることから、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。今後も、平成30年3月に策定した地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>
		<p>米の山・黒崎団地線(18番系統) 大牟田駅前～新栄町～黒崎団地前</p>		B	C		
		<p>米の山・黒崎団地線(18番系統) 新栄町～手鎌～黒崎団地前</p>		B	C		

柳川市地域公共交通協議会	柳川市	大和ひがし地域の運行	H30.10月の再編以降、順調に利用者数を伸ばしており、1便あたり4.4人以上に目標を設定した。新設したバス停の周辺行政区に出前講座を実施した。無料乗車を実施する予定だったが、コロナの影響により、2年度は実施できなかった。	A	B	新型コロナウイルスの影響により利用者が大幅に減少し、すべての路線で目標達成できなかった。今後は、随時アルコール消毒・換気、マスク着用等の感染防止対策を継続し、安心して乗ってもらえることについて周知を行い、利用者の増加に繋げたい。また、アンケート調査や乗り込み調査の結果をもとに利用者の要望に沿ったコミュニティバスの利便性向上のための環境整備を進めていきたい。	評価の指標は、路線毎の利用者数。新型コロナウイルス感染症の影響が目標を下回った原因とされていることから、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
		大和みなみ地域の運行	H30年10月の再編以降、順調に利用者数を伸ばしており、1便あたり4.5人以上に目標を設定した。無料乗車を実施する予定だったが、コロナの影響により、2年度は実施できなかった。	A	B		
		大和にし地域の運行	H30年10月に新設したルートで、他ルートに比べて利用者数が少ないこともあり、1便あたり2.5人以上に目標を設定した。無料乗車を実施する予定だったが、コロナの影響により、2年度は実施できなかった。	A	B		
		三橋地域の運行	利用者が増加傾向にあるため、1便あたり3.5人以上に目標を設定した。無料乗車を実施する予定だったが、コロナの影響により、2年度は実施できなかった。	A	B		
久山町地域公共交通活性化協議会	新宮タクシー(株)	<p><久原先回り> レスポアール～上久原～東久原～役場～下久原～レスポアール～上山田南～古賀橋トリアス前～下山田～大谷～草場～猪野～上山田南～レスポアールの運行 <猪野経由便> トリアス久山～下山田～猪野～山の神～久原療育園前～久山温泉前～大浦～篠栗駅前～の運行</p>	<p>利便性向上のために、調査した利用者のニーズに則したダイヤ改正を実施した。 また、満足度向上のために、キャッシュレス決済システムの導入を行った。 利用者増加を図るために、総合時刻表をダイヤ改正に合わせて刷新し、町内全世帯に配布するなど行った。</p>	A	B	<p>・イコバス幹線系統の維持・充実を図るために、町内巡回の運行ルートや地域特性に適した新たな運行システムの検討等を進める必要がある。 ・交通空白地域からの公共交通導入の要望等も出ており、町内に複数ある交通空白地域への対応についても、該当地域の意見集約や確実な利用を前提とした公共交通の導入など、検討を進める。 ・西鉄27B・70番系統、JR九州バス・JRとイコバスの一体的な町内交通体系の整備を継続的に行う。</p>	<p>評価の指標は、乗降客数と利用者満足度。キャッシュレス決済システムの導入による利用者満足度向上に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>

鞍手町地域公共交通会議	西鉄バス筑豊株式会社	倉坂線(古門栄町～くらじの郷～鞍手駅)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った。 イベントに関するチラシを配布することで利用者増を図った。	B	B	令和2年3月31日をもって、当路線は廃止されている。(令和2年4月1日以降は、もやいタクシー古月線に補充されている)	評価の指標は、路線毎の利用者数。 バスガイドやイベントに関するチラシを配布することで利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
		泉水線(グローバルアリーナ～くらじの郷～鞍手駅)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った。 イベントに関するチラシを配布することで利用者増を図った。	B	B	令和2年3月31日をもって、当路線は廃止されている。(令和2年4月1日以降は、もやいタクシー泉水線に補充されている)	
	MGタクシー株式会社	長谷線(神田公民館～鞍手駅)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った。 イベントに関するチラシを配布することで利用者増を図った。 新規に乗り場を設ける地域に対し、利用者説明会を開催した。 新規に乗り場を設ける地域以外の地域で要望のあった地域に対し、利用者説明会を開催した。	B	B	区域拡充により、新規利用者が大幅に増加したことから、継続利用を促進する取組が必要となる。 また、市町間を広域運行する民間路線バスが一部廃止されたことにより、交通空白地域の発生や生活交通網の維持、広域移動手段の確保が課題となっている。 もやいタクシーにおいては、町内の交通空白地域における重要な公共交通であるため、町内の主要な施設や広域交通の接続拠点へのアクセシビリティの向上などの利便性の向上を図っていく必要がある。	
		古月線(古門栄町～くらじの郷)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った。 イベントに関するチラシを配布することで利用者増を図った。 新規に乗り場を設ける地域以外の地域で要望のあった地域に対し、利用者説明会を開催した。	B	B		
		泉水線(永谷公民館～鞍手駅)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った。 イベントに関するチラシを配布することで利用者増を図った。 新規に乗り場を設ける地域以外の地域で要望のあった地域に対し、利用者説明会を開催した。	B	A		
那珂川市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ南畑線 ※【令和2年3月】ノンステップバス(ボンチョ)運行開始	利用者からの要望・意見等を考慮しつつ、かわせみバスと博多南線が接続しやすいダイヤを目標とし、令和2年3月14日のJR博多南線ダイヤ改正に合わせて、同日にかわせみバスダイヤを改正した。また、運行の効率化を図るため、中南部地域を運行していた重複路線を見直すとともに、新たに車両を購入することで南畑線の拡充を図った。	A	C	重複路線の廃止や南畑線の拡充に伴う利用者の増加があったものの、一方で、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用者の減少や路線拡充に伴う経費の増加のため採算性及び利用者数において目標を達成することができなかった。今後、路線間の乗り継ぎ情報を発信するなど利用促進の取り組みを進める必要がある。	評価の指標は、路線毎の採算性及び利用者数。 昼間時間帯と通勤・通学時間帯の運行を切り替える時間帯を明確にする等、運行の効率化に取り組まれていることを評価します。 新型コロナウイルス感染症の影響が目標を下回った原因とされていることから、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
		通勤かわせみ ※【令和2年3月】ノンステップバス(ボンチョ)一部路線で運行開始	利用者からの要望・意見等を考慮しつつ、かわせみバスと博多南線が接続しやすいダイヤを目標とし、令和2年3月14日のJR博多南線ダイヤ改正に合わせて、同日にかわせみバスダイヤを改正した。また、昼間時間帯と通勤・通学時間帯の運行を切り替える時間帯を明確にすることで、運行の効率化を図った。	A	B	通勤かわせみの拡充に伴う利用者の増加があったものの、一方で、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用者の減少により、利用者数については目標を達成することができなかった。しかし、ダイヤ改正により、他の路線と比較し運行経費が安価な通勤路線へ利用者が移行したことにより、採算性においては目標を達成することができた。	

飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光 飯塚東地区	飯塚東地区内及び越智外科胃腸科医 院・ハローデイ柏の森店への運行	利用ガイドの全戸配布・市報による利用促進の呼びかけ 等の広報活動を行うことで、住民に対する周知については 一定の効果が出ている。 利用者を含めた住民からの要望等については、電話や窓 口での聞き取りやまちづくり協議会等の各種団体からの意 見を反映し、運行改善を行っている。	A	B	<p>(ア)令和3年度版の利用ガイドを、高齢者等の利用者にわか りやすいように作成し、市民への周知に努める。</p> <p>(イ)年々、予約乗合タクシーの利用方法や有効性の認知が 拡大し、今年度の追加登録者数は昨年度よりも3.4%増加す ることができた。今後も引き続き、地元説明会、福祉イベント等 へ参加し、市民への周知活動の強化に取り組み、利用促進 を図る。</p> <p>(ウ)利用者の利便性向上のため、民間事業者への影響に配 慮しながら、市民の要望を反映して、利用ニーズに応じた運 行内容を検討する。</p> <p>(エ)第2次飯塚市地域公共交通網形成計画に基づき、高齢 者等の交通弱者が安心して暮らせる公共交通体系の構築を 目指す。</p> <p>(オ)感染症対策を継続し、対応を周知して利用者に安心して 利用してもらえるようにする。</p>	<p>評価の指標は、利用者数。 利用ガイドの全戸配布・市報による利用促進 の呼びかけ等、利用促進に取り組まれている ことを評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナ ウイルス感染症の影響の中であることを踏 まえれば、一定の評価ができると考えます。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点 が着実に解決されることにより、持続可能な 旅客運送サービスが提供されることを期待し ます。</p>
	(有)Shonai観光 庄内地区	庄内地区内及び筑豊緑地・トライアル上 三緒店への運行					
	(有)Shonai観光 鎮西地区 (八木山地区以外)	鎮西地区(八木山地区以外)内及び飯塚 市立病院・せき損センター・ミスターマッ クス花瀬店への運行					
	(有)Shonai観光 筑穂地区	筑穂地区内及び済生会病院・青山医院・ JR桂川駅への運行					
	穂波タクシー(株) 穂波地区	穂波地区内及びJR筑前大分駅への運 行					
	安全タクシー(有) 諺田・鯉田地区	諺田・鯉田地区内及び筑豊緑地への運 行					
	総合交通(株) 鎮西地区 (主に八木山地区)	鎮西地区(主に八木山地区)内及び飯塚 市立病院・せき損センター・ミスターマッ クス飯塚花瀬店への運行					
	総合交通(株) 二瀬地区	二瀬地区内及びせき損センター・イオン 穂波店への運行					
	(有)幸袋タクシー 幸袋地区	幸袋地区内及びJR鯉田駅・川食鯉田 店・ハローデイ九工大前店・諺田病院へ の運行					

川崎町地域公共交通会議	川崎町	安宅コースの運行	コロナ禍により、町民の外出機会が減り、利用者数が減少した。イベント等が中止になったため十分な周知活動ができなかった。	A	B	コロナ禍前の状況に戻すため、住民に時刻表を配布する等の周知を進めていくとともに、町内イベントの際に公共交通利用促進グッズを配布し、公共交通への関心を高めていく。	評価の指標は、路線毎の利用者数。目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。今後、協議会において市町村等が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。
		木城・荒平コースの運行	他の路線と同様に十分な周知活動はできなかったが、利用者数の大幅な減少にはならなかった。	A	A		
		上真崎・永井コースの運行	コロナ禍により、町民の外出機会が減り、利用者数が減少した。イベント等が中止になったため十分な周知活動ができなかった。	A	B		
		池尻・田原コースの運行	コロナ禍により、町民の外出機会が減り、利用者数が減少した。イベント等が中止になったため十分な周知活動ができなかった。	A	B		
		三井・大峰コースの運行	コロナ禍により、町民の外出機会が減り、利用者数が減少した。イベント等が中止になったため十分な周知活動ができなかった。	A	B		
岡垣町地域公共交通協議会	(株)西部遠賀交通	<p>○フィーダー対象 [4路線20系統運行]</p> <p>糠塚・元松原循環線 [7系統] 海老津駅南・龍王団地線 [8系統] 高陽団地循環線 ※内1系統のみなし運行 [5系統] 上畑・上高倉・戸切線 [1系統]</p> <p>○フィーダー対象外 [1路線8系統運行]</p> <p>波津線波津系統 [6系統] 波津線松ヶ台循環 [2系統]</p>	<p>【利便性の向上】</p> <p>①海老津駅との乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの設定。 ②時刻表に、乗り継ぎ可能な便を記載し、利便性の向上を図った。 ③バスの行先表示を変更し、利便性の向上を図った。</p> <p>【利用促進】</p> <p>①住民向け利用促進講座の開催と講座受講者に対する無料乗車券の配布。</p>	A	B	<p>地域公共交通計画を基に、持続可能な公共交通網の整備を図る。</p> <p>①まちづくりや教育、福祉政策と連携した公共交通網の維持・構築 ②運行形態や運行水準の適正化 ③新たな公共交通利用者の確保に向けた利用促進</p> <p>以上3つを基本方針とし、取り組んでいく。</p>	<p>評価の指標は、網形成計画を策定したH27事業年度の利用者数。新型コロナウイルス感染症の影響が目標を下回った原因とされていることから、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。</p> <p>引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>
須恵町地域公共交通協議会	須恵町	<p>全5路線のうち、2路線(佐谷～上須恵線、乙榎木～須恵線)を交通不便地域の指定を受け確保維持事業を申請</p>	<p>乗降者数確保利用者数対前年比 86.35%</p> <p>・令和2年度の利用者数は、延べ44,976人(フィーダー系統13,076人)となり、昨年度に比べ7,106名(フィーダー系統3,429人)の利用者減となった。 (利用者数はR1.10～R2.9の数字を参照。) 月平均利用者数は3,748人。(フィーダー系統1,089人) 利用促進の事業に対しては新型コロナウイルスが拡大する前は一定の効果があったと考えられる。 ※令和元年10月～2月まで利用者数は前年比100%以上を確保していたが、3月以降新型コロナウイルス拡大により利用者が減少し、特に緊急事態宣言が発令された4月5月は、町の施設閉館、外出自粛等により利用者が前年比50%まで落ち込んだ。6月以降は、徐々に回復していき前年比60%～70%に回復をしている。</p>	A	C	<p>・小学校区に合わせた路線変更(令和3年度実施予定) ・大学連携によるニーズ調査(継続実施) ・大学連携によるコミュニティバス運行位置リアルタイム表示システム導入 ・路線変更に伴い各公民館でバス乗り方講習会の実施</p>	<p>評価の指標は、路線毎の利用者数。新型コロナウイルス感染症の影響が目標を下回った原因とされていることから、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。</p> <p>今後、協議会において市町村等が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。</p>

八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	大丸タクシー(株) 八女エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、状況に応じて地域行事(サロン、老人クラブ等)での利用説明会の実施や、広報による周知活動を行うことで利用促進に取り組む。	評価の指標は、路線毎の利用者数。地域説明会の開催等利用促進に取り組まれたことを評価します。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
		大丸タクシー(株) 辺春エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、状況に応じて地域行事(サロン、老人クラブ等)での利用説明会の実施や、広報による周知活動を行うことで利用促進に取り組む。	
		堀川バス(株) 白木エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。	A	C	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、状況に応じて地域行事(サロン、老人クラブ等)での利用説明会の実施や、広報による周知活動を行うことで利用促進に取り組む。	
		堀川バス(株) 辺春エリア(堀川系統)	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、状況に応じて地域行事(サロン、老人クラブ等)での利用説明会の実施や、広報による周知活動を行うことで利用促進に取り組む。	
		堀川バス(株) 矢部エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。	A	C	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、状況に応じて地域行事(サロン、老人クラブ等)での利用説明会の実施や、広報による周知活動を行うことで利用促進に取り組む。	
		堀川バス(株) 上隅エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、状況に応じて地域行事(サロン、老人クラブ等)での利用説明会の実施や、広報による周知活動を行うことで利用促進に取り組む。	
		堀川バス(株) (有)川島タクシー くろき交通 (有)八女観光バス 旧黒木町エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。	A	C	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、状況に応じて地域行事(サロン、老人クラブ等)での利用説明会の実施や、広報による周知活動を行うことで利用促進に取り組む。	
		星野タクシー(有) 星野エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。	A	C	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、状況に応じて地域行事(サロン、老人クラブ等)での利用説明会の実施や、広報による周知活動を行うことで利用促進に取り組む。	

田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	坂谷・田川病院線A系統 坂谷～田川病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	利用者の利便性向上及び新規利用者獲得のため、鉄道・バスとのスムーズな接続を考慮したダイヤ編成及び運行ルートの見直しを行う。チラシ、広報紙による周知など利用促進、時刻表の配布を行う。	評価の指標は、路線毎の輸送人員及び運賃等収入。 鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成による収支率の維持・向上、広報紙等による利用促進に取り組みられていることを評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
		大浦・弓削田線A系統 上ノ山団地～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	コミュニティバス利用が定着するように鉄道・バスとの接続強化。輸送人員が多い路線であるため、市民ニーズに沿った運行内容の見直し・再編を行う。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。	
		大浦・弓削田線B系統 上ノ山団地～後藤寺前駅の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	コミュニティバス利用が定着するように鉄道・バスとの接続強化。輸送人員が多い路線であるため、市民ニーズに沿った運行内容の見直し・再編を行う。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。	
		大浦・弓削田線C系統 後藤寺駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	コミュニティバス利用が定着するように鉄道・バスとの接続強化。輸送人員が多い路線であるため、市民ニーズに沿った運行内容の見直し・再編を行う。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。	
		伊加利・松原線A系統 山賊鍋～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	定期顧客の回復のため、広報紙等による利用促進や街頭啓発活動の実施、時刻表の配布、鉄道・バスとの接続強化や運行ルートの見直し・再編を行う。	
		伊加利・松原線B系統 山賊鍋～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	定期顧客の回復のため、広報紙等による利用促進や街頭啓発活動の実施、時刻表の配布、鉄道・バスとの接続強化や運行ルートの見直し・再編を行う。	
		伊加利・松原線C系統 伊田駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	定期顧客の回復のため、広報紙等による利用促進や街頭啓発活動の実施、時刻表の配布、鉄道・バスとの接続強化や運行ルートの見直し・再編を行う。	
		鎮西・金川線A系統 山賊鍋～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	路線の見直しを行うとともに、新規利用者の利用定着や新たな利用者獲得に向け、運行しているバスの周知やチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。	
		鎮西・金川線B系統 山賊鍋～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	路線の見直しを行うとともに、新規利用者の利用定着や新たな利用者獲得に向け、運行しているバスの周知やチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。	
		鎮西・金川線C系統 伊田駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	路線の見直しを行うとともに、新規利用者の利用定着や新たな利用者獲得に向け、運行しているバスの周知やチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。	
白鳥工業団地線A系統 後藤寺駅前～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	通学利用者の利便性向上のため、通学時間に合わせた運行ダイヤの見直しや路線の再編を行い、新たな利用者獲得に向けたチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。			

遠賀町地域公共交通会議	遠賀町	<p>遠賀町コミュニティバス 田園・松の本快速線(遠賀川駅～松の本～遠賀川駅)の運行</p> <p>車両の老朽化に伴い、車両減価償却費等国庫補助金を利用し、ノンステップバス1台を購入(全路線で利用)</p>	<p>・地元や利用者からの要望を考慮し、令和元年10月1日に、新規バス停の設置や路線の見直し、時刻表の改正を行った。</p> <p>・令和2年3月のJRの時刻表改正に伴い、JRとの接続を考慮し令和2年3月14日に再度時刻表の改正を行った。</p> <p>・町の広報紙にバスの乗り方や新車購入に関する記事の掲載、体験乗車や出前講座の募集など、利用促進の取り組みを行った。</p>	B	C	<p>前年度に比べ、利用者が4,284人減少している。路線見直しのため、1便減便になった影響もあるが、新型コロナウイルスの影響に加え、各団地内の高齢化により、駅への通勤・通学目的の利用者が減少傾向にあることが原因と考えられる。</p> <p>そのため、新規利用者の確保のためにも広報紙による利用促進をはじめ、引き続き遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>	<p>評価の指標は、路線毎の利用者数。町の広報紙にバスの乗り方や新車購入に関する記事の掲載、体験乗車や出前講座の募集など、利用促進に取り組みされていることを評価します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が目標を下回った原因とされていることから、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。</p> <p>引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>
		<p>遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木快速線(遠賀川駅南口～蓮角～遠賀川駅南口)の運行</p> <p>車両の老朽化に伴い、車両減価償却費等国庫補助金を利用し、ノンステップバス1台を購入(全路線で利用)</p>	<p>・地元や利用者からの要望を考慮し、令和元年10月1日に、遠賀川駅南口への乗り入れ開始をはじめとした路線の見直しと時刻表の改正を行った。</p> <p>・令和2年3月のJRの時刻表改正に伴い、JRとの接続を考慮し令和2年3月14日に再度時刻表の改正を行った。</p> <p>・町の広報紙にバスの乗り方や新車購入に関する記事の掲載、体験乗車や出前講座の募集など、利用促進の取り組みを行った。</p>	B	A	<p>前年度に比べ、利用者が1,702人増加している。新型コロナウイルスの影響を受けているものの路線見直しによる増便やルートの一部変更したことで、利用者の増加につながったと考えられる。</p> <p>利用者維持及び更なる増加のためにも、広報紙による利用促進をはじめ、引き続き遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>	
		<p>遠賀町コミュニティバス 田園・松の本線(遠賀川駅～松の本～遠賀川駅)の運行</p> <p>車両の老朽化に伴い、車両減価償却費等国庫補助金を利用し、ノンステップバス1台を購入(全路線で利用)</p>	<p>・地元や利用者からの要望を考慮し、令和元年10月1日に、新規バス停の設置や路線の見直し、時刻表の改正を行った。</p> <p>・町の広報紙にバスの乗り方や新車購入に関する記事の掲載、体験乗車や出前講座の募集など、利用促進の取り組みを行った。</p>	B	C	<p>前年度に比べ、利用者が6,896人減少している。路線見直しで町の南部地区から北部地区への直接乗り入れ便を増やして利便性の向上を図ったことにより、乗り継ぎ利用者が減少したことに加え、新型コロナウイルスの影響により、駅や買い物目的の利用が減少したことが原因と考えられる。</p> <p>そのため、各団地からの利用者確保のためにも広報紙による利用促進をはじめ、体験乗車や出前講座の実施など、引き続き遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>	
		<p>遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(1)(遠賀川駅～遠賀高校～遠賀川駅)の運行</p> <p>遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(2)(遠賀川駅～ふれあいの里～遠賀川駅)の運行</p> <p>車両の老朽化に伴い、車両減価償却費等国庫補助金を利用し、ノンステップバス1台を購入(全路線で利用)</p>	<p>・地元や利用者からの要望を考慮し、令和元年10月1日に町南部地区から北部地区への直接乗り入れ便の増便をはじめとした路線の見直しや時刻表の改正を行った。</p> <p>・町の広報紙にバスの乗り方や新車購入に関する記事の掲載、体験乗車や出前講座の募集など、利用促進の取り組みを行った。</p>	B	C	<p>前年度に比べ、利用者が6,038人減少している。路線見直しで町の南部地区から北部地区への直接乗り入れ便を増便したことで買い物目的の利用者は増加している。しかし、遠賀高校の休校をはじめとした新型コロナウイルスの影響に加え、路線見直しによる減便が原因となり、全体では減少していると考えられる。</p> <p>虫生津・浅木線(1)における学生の大幅な利用促進は難しいが、虫生津・浅木線(1)(2)共に増加傾向にある買い物目的の利用者を増加させるため、広報紙による利用促進をはじめ、体験乗車や出前講座の実施など、引き続き遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>	
		<p>遠賀町コミュニティバス 島津・尾崎線(遠賀川駅～尾崎～遠賀川駅)の運行</p> <p>車両の老朽化に伴い、車両減価償却費等国庫補助金を利用し、ノンステップバス1台を購入(全路線で利用)</p>	<p>・地元や利用者からの要望を考慮し、令和元年10月1日に、新規バス停の設置や路線の見直し、時刻表の改正を行った。</p> <p>・町の広報紙にバスの乗り方や新車購入に関する記事の掲載、体験乗車や出前講座の募集など、利用促進の取り組みを行った。</p>	B	C	<p>前年度に比べ、利用者が1,809人減少している。新型コロナウイルスの影響により、駅や商業施設などの利用を控えたことが原因と考えられる。そのため、広報紙による利用促進をはじめ、体験乗車や出前講座の実施など、引き続き遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>	
		<p>遠賀町コミュニティバス 老良・広渡線(遠賀川駅～ふれあいの里～遠賀川駅)の運行</p> <p>車両の老朽化に伴い、車両減価償却費等国庫補助金を利用し、ノンステップバス1台を購入(全路線で利用)</p>	<p>・地元や利用者からの要望を考慮し、令和元年10月1日に、新規バス停の設置や路線の見直し、時刻表の改正を行った。</p> <p>・町の広報紙にバスの乗り方や新車購入に関する記事の掲載、体験乗車や出前講座の募集など、利用促進の取り組みを行った。</p>	B	C	<p>前年度に比べ、利用者が2,662人減少している。新型コロナウイルスの影響により、駅や商業施設などの利用を控えたことが原因と考えられる。そのため、広報紙による利用促進をはじめ、体験乗車や出前講座の実施など、引き続き遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>	

芦屋町地域公共交通会議	芦屋町	芦屋タウンバス 中央病院・遠賀川駅線	年間利用者数の維持を図りながら令和2年4月1日から時刻表の見直しとバス停環境の整備を行った	A	A	現行の年間利用者数の維持を図るため、町民に広報紙等で利用促進を継続的に行う	評価の指標は、路線毎の利用者数。新型コロナウイルス感染症の影響の中、目標を達成されていることを評価します。引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		芦屋タウンバス はまゆゆう・遠賀川駅線	年間利用者数の維持を図りながら令和2年4月1日から時刻表の見直しとバス停環境の整備を行った	A	A	現行の年間利用者数の維持を図るため、広報紙等で、町民に利用促進を継続的に行う		
広川町地域公共交通協議会	(有)蒲池自動車・ 堀川バス(株)	ふれあいタクシー (町内全域の運行)	自治会や社会福祉協議会等が主催する会合・健康教室に参加し、意見・要望を聴取した。要望の多かった、スーパー等での待合場所は設置できたが、区域外乗り入れについては、他市関係者との協議継続と回答した。	A	B	利用状況の把握、利用者の意見聴取を行い、利用促進に向けた取組を実施する。	評価の指標は、年間利用者数。自治会等が主催する会合等に参加し意見・要望調査を行い、待合場所の設置を行う等市民の声を直接聞き事業に反映していることを評価します。自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。今後、協議会において市町村等が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。	
直方市地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	上頓野線(直方駅～林光寺団地～ 竜王峡)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架するほか、全戸配布の市報に折り込みを行った。また、市の広報誌に公共交通の特集を掲載し、公共交通の現状と問題点について周知を図った。令和元年10月に実施した路線変更については地元への説明も行ったが、大幅な経路の変更をおこなったため、利用者がまだ定着していない。	A	B	トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、地域と協議を行い、効率的なルートの選定を行う。また、住民が公共交通を自発的に考える機会の創出を行う。 ・利用者増加のため、地域と協議を行い、買い物目的でより利用しやすいよう令和2年10月にダイヤの見直しを実施する予定である。	評価の指標は、路線毎の一運行平均の利用者数。公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことを評価します。来年度以降は、単年度での目標の設定(達成)に加え、長期的な視点での目標も設定(達成)されることを期待します。引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		武谷線(直方駅～ハローデイ直方店 ～ゴルフ場)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架するほか、全戸配布の市報に折り込みを行った。また、市の広報誌に公共交通の特集を掲載し、公共交通の現状と問題点について周知を図った。平成30年10月にスーパーを経由するルートへ路線の変更を実施した結果、利用者は増加しているため、引き続き路線の確保・維持を図る。	A	A	トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、地域と協議を行い、効率的なルートの選定を行う。また、住民が公共交通を自発的に考える機会の創出を行う。 ・令和2年10月にバス停の追加を行い、さらなる利便性の向上を目指す。		
		鴨生田団地線(直方駅～鴨生田団 地線～サンリブのおがた店)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架するほか、全戸配布の市報に折り込みを行った。また、市の広報誌に公共交通の特集を掲載し、公共交通の現状と問題点について周知を図った。平成29年10月にスーパーを経由するルートへ路線の変更を実施した結果、利用者は増加しているため、引き続き路線の確保・維持を図る。	A	A	トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、地域と協議を行い、効率的なルートの選定を行う。また、住民が公共交通を自発的に考える機会の創出を行う。 ・令和2年10月西鉄バスの路線廃止に伴い、代替交通として路線変更を実施する。		
		直方タクシー有限会社	植木線(直方駅～サンリブのおがた 店～下町公民館)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架するほか、全戸配布の市報に折り込みを行った。また、市の広報誌に公共交通の特集を掲載し、公共交通の現状と問題点について周知を図った。平成29年10月にスーパーを経由するルートへ路線の変更を実施した結果、利用者は増加しているため、引き続き路線の確保・維持を図る。	A	A		トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、地域と協議を行い、効率的なルートの選定を行う。また、住民が公共交通を自発的に考える機会の創出を行う。
		MGタクシー株式会社	感田線(直方駅～東和苑北～行常 集会所)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架するほか、全戸配布の市報に折り込み周知を行った。令和2年4月から変更した路線については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用増加の状況が判断しにいたため、今後も引き続き周知を図るとともに、路線の確保・維持に努める。	A	A		トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、地域と協議を行い、効率的なルートの選定を行う。また、住民が公共交通を自発的に考える機会の創出を行う。

久留米市地域公共交通会議	久留米市地域公共交通会議	北野地域よりみちバス運行 A日程(月・水・金)17便 B日程(火・木・土)17便	利用状況や地域からの意見を基に事業計画の変更を実施 (R2年4月ダイヤ改正)。	B	B	新型コロナウイルス感染症拡大前までの利用者数の増加にけん引され、目標1は達成したが、現在は利用者が低迷状況にあるため、今後も地域の意見・要望を反映した運行ルート・ダイヤの改善を行い、利用促進を図る。また、事業の継続性に配慮し、収支状況を意識した事業の改善を図る。	評価の指標は、①日利用者数、②応援企業のバス停利用、③公共交通満足度。(②③は、新型コロナウイルス感染症拡大影響により中止) 新型コロナウイルス感染症の影響が目標を下回った原因とされていることから、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。 今後も、2年8月に策定した地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		城島地域よりみちバス運行 A日程(月・水・土)17便 B日程(火・木・金)16便	利用状況や地域からの意見を基に事業計画の変更を実施 (R2年3月ダイヤ改正)。	B	C	新型コロナウイルス感染症拡大前日の日利用者は27人と増加傾向にあったため、今後も地域の意見・要望を反映した運行ルート・ダイヤの改善を行い、利用促進を図る。また、事業の継続性に配慮し、収支状況を意識した事業の改善を図る。		
中間市地域公共交通会議	ひかり第一交通株式会社 産業タクシー株式会社	太賀・朝霧系統	利用者数は前年度比98%とほぼ横ばいであったことから、変更による既存利用者への影響を考慮し、見直しを行わず運行した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった4月から7月までの4か月の利用者数は前年比約65%であった。	A	C	10月～1月の利用者数について、前年比で通谷団地口(約14%)や鍋山地区(約37%)の利用が特に減少している。これは通谷団地口付近にある市の福祉施設内の一部機能の利用が停止されたことに伴うものであると推察される。今後、再開する予定がないことから、当該施設への移動に利用されていた方々が利用者として戻ってくることは困難であると思われる。 新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、密になりやすい当該事業を積極的に推進しにくい状況ではあるが、定期的な周知を行い、運行日の変更などの見直しを検討し、少しでも目標に近づけていきたい。	評価の指標は、路線別の利用者数及び収支率。 新型コロナウイルス感染症の影響が目標を下回った原因とされていることから、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。 今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。	
		有限会社ことぶきタクシー	通谷・桜台系統	運行改善の取組として、令和元年10月1日付けで運行ダイヤの見直しを実施した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった4月から7月までの4か月の利用者数は前年比約66%であった。	A	B		10月～1月の利用者数については、前年比ではほぼ同数であることから、運行ダイヤの見直し後であっても安定した利用状況であったことが推察される。 新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、密になりやすい当該事業を積極的に推進しにくい状況ではあるが、定期的な周知を行い、運行ルートの変更などの見直しを検討し、少しでも目標に近づけていきたい。 なお、運行改善の取組として令和2年10月1日付けで運行ルートの見直しを実施している。
		有限会社ことぶきタクシー	垣生・下大隈系統	運行改善の取組として、令和元年10月1日付けで「中間市役所」バス停留所の乗降制限を解除した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった4月から7月までの4か月の利用者数は前年比約51%であった。	A	C		10月～1月の利用者数について、前年比でJR筑前垣生駅(約45%)と中間市立病院(約38%)の利用が特に減少している。底井野校区は、人口が少なく利用者の絶対数が少ない上に、農業地域のため自家用車の保有世帯が多いという特徴があることから、よく利用されている方が1人増減するだけで数字が大きく変動する傾向が強い。 新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、密になりやすい当該事業を積極的に推進しにくい状況ではあるが、定期的な周知を行い、運行日の変更や域内の商業施設への乗り入れなど利便性向上に向けた見直しを検討し、少しでも目標に近づけていきたい。
		ひかり第一交通株式会社	砂山・底井野系統	運行改善の取組として、令和元年10月1日付けで「中間市役所」バス停留所の乗降制限を解除した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった4月から7月までの4か月の利用者数は前年比約39%であった。	A	C		10月～1月の利用者数について、前年比で中間市立病院(約37%)やJR筑前垣生駅(約54%)など利用者の減少が目立つ。底井野校区は、人口が少なく利用者の絶対数が少ない上に、農業地域のため自家用車の保有世帯が多いという特徴があることから、よく利用されている方が1人増減するだけで数字が大きく変動する傾向が強い。 新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、密になりやすい当該事業を積極的に推進しにくい状況ではあるが、定期的な周知を行い、域内の商業施設への乗り入れなど利便性向上に向けた見直しを少しでも目標に近づけていきたい。

みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 水上・本郷線	瀬高町の水上～清水～上庄～本郷地域を運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	A	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、まずは、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組む。	評価の指標は、路線毎の1便あたりの利用者数。 市報・HP・コミュニティFMでの情報発信や学校等での啓発活動、利用者の声を反映した分かりやすい時刻表の作成(全戸配布)等、利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることと踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 今後も、30年3月に策定した地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
	みやま市 清水・上庄線	瀬高町の清水～水上～本郷～上庄地域を運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	C	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、まずは、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組む。	
	みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田経由①)	瀬高町～高田町を太神・岩田地域を經由して運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	B	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・利用促進の取り組みもできなかった。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組む。	
	みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田経由②)	瀬高町～高田町を太神・岩田地域を經由して運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	B	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・利用促進の取り組みもできなかった。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組む。	
	みやま市 高田・瀬高線 (江浦・浜田・大江経由)	高田町～瀬高町を江浦・浜田・大江地域を經由して運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	A	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・利用促進の取り組みもできなかった。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組む。	
	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)	高田町～瀬高町を国道209号を經由して運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	B	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・利用促進の取り組みもできなかった。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組む。	
	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)	新船小屋からJR瀬高駅間を運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	C	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・利用促進の取り組みもできなかった。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組む。	
	みやま市 山川・瀬高線①	山川町の真弓公民館～瀬高町の市立図書館を国道443号を經由して運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	A	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・利用促進の取り組みもできなかった。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組む。	
	みやま市 山川・瀬高線②	山川町の市役所山川支所～瀬高町の市立図書館を国道443号を經由して運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	C	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・利用促進の取り組みもできなかった。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組む。	
	みやま市 山川・瀬高線③	瀬高町のJR瀬高駅～山川町の真弓公民館を国道443号を經由して運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	C	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・利用促進の取り組みもできなかった。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組む。	
みやま市 高田南部・西部線①	高田町の南部及び西部地域をあたご苑から市役所高田支所を經由して運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	A	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・利用促進の取り組みもできなかった。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組む。		

	みやま市 高田南部・西部線②	高田町の南部及び西部地域をヨコウラ病院前から市役所高田支所を経由しJR渡瀬駅まで運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	A	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・利用促進の取り組みもできなかった。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組み。	
	みやま市 山川・高田線 (亀谷・竹飯経由)	山川町～高田町を亀谷・竹飯地域を経由して運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	B	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・利用促進の取り組みもできなかった。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組み。	
	みやま市 山川・高田線 (田浦・田尻経由)	山川町～高田町を田浦・田尻地域を経由して運行	・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信やイベントや学校での啓発活動を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	C	・4月1日より運行ルート及びダイヤの見直しを実施したが、コロナウィルスの影響により検証が難しい。 ・利用促進の取り組みもできなかった。 ・コロナウィルスの影響で利用者が落ち込んでいる。ワクチン等が開発され、感染状況が落ち着いたら、コロナ前の利用者数に戻すことを目標に取り組み。	
宮若市地域公共交通会議	有限会社松川タクシー MGタクシー株式会社	宮田・小竹線	市ホームページでの周知やバス利用促進の啓発物品の配布等を行い、新規利用者の拡大を目指した	A	C	評価の指標は、利用者数。 目標値を大きく下回っており、利用者数・収支率も昨年より減少している。新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、利用者の少ない時間帯に関しては運行本数の見直しによる収支の改善を図る。	評価の指標は、年間利用者数。 目標値を大きく下回った要因を新型コロナウイルス感染症の影響のみとせず、利用者の生活行動の分析やニーズの把握が行われることを期待します。 今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効果的な利用促進が実施されることを期待します。 今後、協議会において市町村等が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。
嘉麻市地域公共交通会議	嘉穂観光有限公司	稲築桂川線 (市役所・稲築病院経由)	令和2年4月から福祉バスを市バスに統合し、路線やダイヤの大幅な見直しや運賃体系等、公共交通の全体見直しを行った。 大幅に改定された、市バスの周知及び利用促進を図るため、定期的な広報誌への掲載、総合時刻表の全戸配布及び市内外への設置、市内在住の学生に向けた通学定期券補助制度の実施を行い、バス利用の呼びかけを行った。	A	B	嘉麻市バスは収支率の改善のため令和2年4月から運賃の見直しを行ったが、今回の数値には令和元年9月～令和2年3月までの旧運賃体系時の運賃収入も含まれるため、収支率が伸び悩んだと考えます。 また、市バス全体の運行形態の見直しを行ったこともあり、まだまだ周知不足の部分もあるため、今後も引き続き、広報やホームページでの周知、総合時刻表の配布等を行い、更なる利用促進に努めます。 便によって利用者の偏りがあり、利用ニーズと合致していない部分があるため、今年度運行を行った実績や、利用者アンケート結果、要望等を整理し、利便性の向上や収支率の改善等に繋がるよう、路線や便数の再検討等公共交通の見直しを行う予定です。	評価の指標は、路線別の収支率。 福祉バスを市バスに統合し、路線やダイヤの大幅な見直しや運賃体系等公共交通全体の見直しを行ったこと、また定期的な広報誌への掲載等周知及び利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
		稲築桂川線 (東岩崎・嘉穂総合高校経由)	A	B			
	株式会社ひまわり観光	市内循環線 (東回り 山田方面)	R2.4.1～	A	A	稲築桂川線同様、便によって利用者の集中する便と利用者の少ない便等の偏りがあり、利用ニーズと合致していない部分があるため、今年度運行を行った実績や、利用者アンケート結果、要望等を整理し、利便性の向上や収支率の向上に繋がるよう、路線や便数の再検討等公共交通の見直しを行う予定です。	
鳥栖市地域公共交通会議	西鉄バス佐賀(株) 弥生が丘循環線	鳥栖駅前～弥生が丘駅～鳥栖駅前	利用促進のため、バスマップを配布し、令和元年10月5日にはバスの日イベントを行うなど、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	B	C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、引き続き利用促進に向けた、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)を行っていく必要があり、令和3年3月には改良版のバスマップを全戸配布する予定である。	評価の指標は路線毎の利用者数。 今年度は新型コロナウイルスの影響により目標未達成の結果となっていますが、コロナの影響が無い期間で見ると輸送人員が増加した系統もあるため、この増加要因を分析し、利用者増加に繋げることを検討願います。また、適宜行っている住民アンケート等により住民の意見を把握し、次年度のルートやダイヤの改善に繋げる取組を行っていることを評価します。
	株鳥栖橋内タクシー 鳥栖地区循環線	フレスポ鳥栖～鳥栖まちづくり推進センター南～フレスポ鳥栖	利用促進のため、バスマップを配布し、令和元年10月5日にはバスの日イベントを行うなど、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	B	C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、引き続き利用促進に向けた、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)を行っていく必要があり、令和3年3月には改良版のバスマップを全戸配布する予定である。	
	株鳥栖橋内タクシー 田代地区循環線	フレスポ鳥栖～くすくす博物館～フレスポ鳥栖	利用促進のため、バスマップを配布し、令和元年10月5日にはバスの日イベントを行うなど、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	B	C	また、R元年度に策定した鳥栖市地域公共交通網形成計画の中の実施予定事業(運行ルートの見直し・乗車体験会の実施・路線検索システムへの対応など)に取り組むことで更なる利用促進を図る。	
	久留米西鉄タクシー(株) 基里地区循環線	フレスポ鳥栖～永吉町公民館～フレスポ鳥栖	利用促進のため、バスマップを配布し、令和元年10月5日にはバスの日イベントを行うなど、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	B	B		
	久留米西鉄タクシー(株) 旭地区循環線	マックスバリュ鳥栖村田店～下野公民館～マックスバリュ鳥栖村田店	利用促進のため、バスマップを配布し、令和元年10月5日にはバスの日イベントを行うなど、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	B	C		引き続き住民の意見等を聞きながら、利用状況の把握・分析を行い、わかりやすいバスマップの配布等、効果的な利用促進が実施され、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。

神埼市地域公共交通活性化協議会	南ジョイックス交通	(1) 神埼コース 神埼駅を起終点とし協和町等を經由する 54.0km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	既存バス路線の維持・確保について目標を達成することができたが、巡回バス全体の1運行当たりの利用者数については、目標を達成できなかった。 今後は利用者の更なる利便性向上のための地域住民のニーズに合わせたルート、ダイヤの見直しや、新たな運行形態の検討、利用促進のための情報発信等に努める。	評価の指標は1運行あたりの利用人数。 市のホームページや市報等における広報活動や乗車回数券販売増加の取組等、認知度向上、利用促進に取り組まれていることを評価します。 新型コロナウイルスの影響もあり、利用者数が少ない状況ではありますが、神埼市が令和2年4月に作成した地域公共交通網形成計画の中で実施した市民アンケートにおいて、デマンド化やコース見直しの要望が上がっており、今後、この結果を踏まえた再編により、利用者利便の向上と効率的な運行が行われ、持続可能な旅客運送サービスの提供が確保されることを期待します。
		(1) 千代田コース 神埼駅を起終点とし仲田町バス停等を經由する 38.3km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	既存バス路線の維持・確保について目標を達成することができたが、巡回バス全体の1運行当たりの利用者数については、目標を達成できなかった。 今後は利用者の更なる利便性向上のための地域住民のニーズに合わせたルート、ダイヤの見直しや、新たな運行形態の検討、利用促進のための情報発信等に努める。	
		(1) 迎鳥～神埼駅 迎鳥～神埼駅を起終点とし説田バス停等を經由する 20.4km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	既存バス路線の維持・確保について目標を達成することができたが、巡回バス全体の1運行当たりの利用者数については、目標を達成できなかった。 今後は利用者の更なる利便性向上のための地域住民のニーズに合わせたルート、ダイヤの見直しや、新たな運行形態の検討、利用促進のための情報発信等に努める。	
鹿島市地域公共交通活性化協議会	祐徳自動車線 市内循環バス	市内循環バスの運行	R2年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、市報や市ホームページにおいて広報活動を随時行い、また、市内交通機関の時刻等をまとめた「鹿島市内地域公共交通総合時刻表」を作成し、各戸配布を行うことで周知に努めた。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継PRや学生・高齢者・障がい者・運転免許証自主返納者を対象とする無料運行イベント等を実施することで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に繋げる。(無料運行期間については、新規利用者確保に繋げるため、高校生の入学式、始業式を考慮した日程を設定する。	評価の指標は、定時定路線型は1便あたりの利用人数、デマンド型は稼働率。 市報やホームページ、ケーブルテレビによる周知や紙媒体の総合時刻表の全戸配布等、認知度向上と利用促進策に取り組まれ、利用者の増加に繋がっていることを評価します。 目標未達成であったデマンド運行系統については、引き続き利用促進のための周知を図り、地域の意見を聞きながら、予約方法の周知や運行内容の見直し等を含め検討します。 今後も更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービス提供が確保されることを期待します。
		南再耕庵タクシー 高津原のりあいタクシー	高津原のりあいタクシーの運行	R2年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、市報や市ホームページにおいて広報活動を随時行い、また、市内交通機関の時刻等をまとめた「鹿島市内地域公共交通総合時刻表」を作成し、各戸配布を行うことで周知に努めた。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継PRや学生・高齢者・障がい者・運転免許証自主返納者を対象とする無料運行イベント等を実施することで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に繋げる。
	南再耕庵タクシー 予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(能古見線)の運行	令和2年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、市報や市ホームページにおいて広報活動を随時行い、また、市内交通機関の時刻等をまとめた「鹿島市内地域公共交通総合時刻表」を作成し、各戸配布を行うことで周知に努めた。令和2年4月には要望、改善事項等を把握するために、予約型のりあいタクシー登録者にアンケートを実施した。	A	B	令和2年4月に実施した登録者アンケートや登録者以外の区域住民のご意見等も踏まえ、今後、運行内容の改善点の把握に努め、利用促進に係る取組みを行う。合わせて、他路線との乗継PRや無料運行イベント等を実施することで新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。	
		予約型のりあいタクシー(北鹿島線)の運行	令和2年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、市報や市ホームページにおいて広報活動を随時行い、また、市内交通機関の時刻等をまとめた「鹿島市内地域公共交通総合時刻表」を作成し、各戸配布を行うことで周知に努めた。令和2年4月には要望、改善事項等を把握するために、予約型のりあいタクシー登録者にアンケートを実施した。	A	B	令和2年4月に実施した登録者アンケートや登録者以外の区域住民のご意見等も踏まえ、今後、運行内容の改善点の把握に努め、利用促進に係る取組みを行う。合わせて、他路線との乗継PRや無料運行イベント等を実施することで新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。	
予約型のりあいタクシー(古枝線)の運行		令和2年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、市報や市ホームページにおいて広報活動を随時行い、また、市内交通機関の時刻等をまとめた「鹿島市内地域公共交通総合時刻表」を作成し、各戸配布を行うことで周知に努めた。令和2年4月には要望、改善事項等を把握するために、予約型のりあいタクシー登録者にアンケートを実施した。	A	B	令和2年4月に実施した登録者アンケートや登録者以外の区域住民のご意見等も踏まえ、今後、運行内容の改善点の把握に努め、利用促進に係る取組みを行う。合わせて、他路線との乗継PRや無料運行イベント等を実施することで新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。		

<p>みやき町地域公共交通確保維持改善協議会</p>	<p>櫛島栢橋内タクシー</p>	<p>〈みやき中央線〉 大島病院～斎藤整形外科の運行 〈三根東線〉 斎藤整形外科～土井外公民館～坂口公民館～斎藤整形外科の循環運行 〈中原線〉 大島病院～坂部～香田～大島病院の循環運行 〈三根西線〉 斎藤整形外科～三根庁舎前～梅野医院前～斎藤整形外科の運行 〈北茂安線〉 大島病院～豆津～みやき庁舎～大島病院の循環運行</p>	<p>町内の公共施設等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>町の主要施設を結ぶみやき中央線が最も利用者数が大きいため、今後も中央線をメインとした形態で利用者の増加を図っていききたい。 また、三根東線、三根西線については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中で、前年度と比較し、利用者が増加となっているため、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、継続して利用周知を図っていききたい。 中原線、北茂安線においても、新型コロナウイルスの影響を受ける前までは、若干ではあるが利用者増となっていたため、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、継続して利用周知を図っていききたい。 現在、コミュニティバスを運行して8年が経過しているため、利用者や住民の意見等をもとに、再編等も視野に入れて、検討していく。</p>	<p>評価の指標は1日平均利用者数。 全体的には新型コロナウイルスの影響により利用者が減少しているが、コロナ前では増加傾向であった系統、前年度より増加している系統もあるため、その増加要因の分析を踏まえ、今後の利用促進策に繋げる検討をお願いします。 協議会における評価結果の今後の改善点に記載されているとおり、運行から長期間経過しているため、利用者ニーズや意見等を踏まえた見直しの検討を行い、利用者利便の増進と持続可能な地域公共交通の維持・確保が行われることを期待します。</p>
<p>伊万里市民と考える地域交通会議</p>	<p>西肥自動車株</p>	<p>いまりんバス郊外線 ①牧島～立花線 ②脇田～古賀線 ③屋敷野～南ヶ丘線 ※各線(ロ-ス)週2日、1日4回(循環)運行</p>	<p>沿線の病院や商業施設の開発・開業に伴う一部経路の見直しを行った。</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>①～③いずれの系統も市街地と住宅地を結ぶ路線であることから、今後も運行経路等の周知による利用促進を継続する。</p>	<p>評価の指標は1便あたりの利用人数。 病院や商業施設の開業等、沿線の状況変化に合わせた経路の見直し、区長会等の際のバス利用の呼びかけ・意見募集、広報誌の鉄道特集記事におけるフィーダー系統の紹介、アンケート調査等、適宜、見直しや利用促進の取組を行っていることを評価します。</p>
<p>特定非営利活動法人 まちづくり波多津</p>	<p>波多津ふれあい号 ①波多津循環線A ②波多津循環線B ③波多津循環線C ※月～土、1日3回運行 ④波多津小学校下校便 ※登校日、1日1回運行</p>	<p>利用促進を図るため、区長等により、合合時バス利用の呼びかけ及び利便性向上に向けた意見募集を行った。</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>波多津ふれあい号は32kmに及ぶ町域を、路線バス波多津バス停を中心に①～③までのコースを三つ兼営に総延長50.1km運行している。このため、1便あたりの運行時間が100分を超えるため、復路のための便の待ち時間が長いことが課題。 さらなる利便性の向上のためには、町域を分割し隔日運行とするなどの抜本的な見直しに向けた検討を行っている。</p>	<p>引き続き利用促進のための周知強化、アンケート調査等による住民の意見・要望の把握等を行い、更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービスの提供に繋がることを期待します。</p>	
<p>大川町コミュニティ運営協議会</p>	<p>コミュニティすこやかバス 大川循環線 ※月～金、1日4回運行</p>	<p>・広報紙における鉄道の利用促進に係る特集記事において、当該系統が鉄道と接続している旨、乗継例を示し、利用促進を図った。</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>・広報紙における特集記事掲載などを通じて、一層の周知・利用促進を行う。</p>	<p></p>	
<p>黒川町まちづくり運営協議会</p>	<p>町内巡回バスくろがわ号 ①黒川循環線A ※月～金、1日3回運行 ②黒川循環線B ※月～金、1日2回運行</p>	<p>・R2.7に黒川町内の全世帯を対象としたアンケート調査を実施。</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>・アンケート調査の結果及び利用者の意見を踏まえた、将来的な経路等について改善を検討する。</p>	<p></p>	
<p>西肥亀の井タクシー株</p>	<p>松浦町デマンドタクシー ①市街地 1日6便 ②エリア便 1日4便 ※運行日:月・水・金 ※予約制乗合タクシー</p>	<p>区長会通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行う。</p>	<p></p>	

佐賀市地域公共交通会議	佐賀市	富士町におけるコミュニティバスの運行 ※令和2年3月31日廃止	地域住民の意見を聞きながら、再編に向けて関係者との協議をおこない、再編を行った。	B	B	R2.3.31で運行終了 R2.4.1～4者(松原タクシー、佐賀タクシー、中央タクシー、ロイヤル観光)による新たな富士町コミュニティバスを運行	評価の指標は路線毎の年間利用者数。 今年度、路線バスの再編に伴い、地域における協議を踏まえ、運行の効率化、車両規模の適正化等を検討し、利用者が利用しやすい効率的な運行への移行が行われたことを評価します。 特に、自治会や保護者等から組織される地域の検討会議を定期的に開催し、住民との対話の中で方向性を固めた取組が、利便性の高い地域の足の確保へと繋がったものと考えます。 また、検討会だよりによる協議内容も含めた住民への周知等、利用促進の取組についても評価します。 今後も、継続して地域における協議により随時見直しを行い、高齢化、人口減少等への柔軟な対応を考慮した、より効率的で利便性の高い運行が行われることを期待します。
		三瀬地区におけるコミュニティバスの運行	目標を達成したため、新高校1年生向けの保護者説明会において、通学手段として村外系統の利用を呼びかけるとともに、「コミュニティバスだより」を発行することで、潜在的な利用者確保に向けた取り組みを引き続き行った。	A	B	引き続き、新高校1年生向けの保護者説明会において、通学手段として村外系統の利用を呼びかけるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用が落ち込んだため、「三瀬地区コミュニティバスだより」を全戸配布し、安心して乗りたいだけのように感染症対策をアピールするなど、利用者数の回復を図る。	
	南松原タクシー	・大和町松梅地区デマンドタクシーの運行 ・富士町コミュニティバスの運行(令和2年4月1日運行開始)	(松梅)前回評価時に年間利用者数が目標未達となったため、利用者数の増加を図るべく、自治会を通じて「べんりカー松梅号だより」を全戸配布し、自治会長会に出向き説明するなど利用を呼びかけた。 (富士)新規運行開始	A	B	(松梅)新型コロナウイルス感染症の影響により、利用が落ち込んだため、「松梅地区デマンドタクシーだより」を全戸配布し、安心して乗車いただけるよう、感染症対策をアピールするなど、利用者数の回復を図るとともに、デマンドタクシーを利用したおでかけプランを「松梅地区デマンドタクシーだより」を活用して提示し、地域住民の新規利用の喚起を図る。 (富士)「富士町公共交通検討会議」において、利用者アンケート結果や利用実績に基づいた改善案を協議し、利用の少ない便の効率化(デマンド化等)を図り、また柚木地区からの通学を可能とするダイヤ改正を行う。さらに、利用者からの要望が多かった予約受付時間の延長を行うことで、学生と高齢者の利用を喚起する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。また、「検討会議だより」の内容にも工夫を凝らし、コミュニティバスを利用したおでかけプランやお得な定期券情報を周知することで利用増につなげる。	
	南佐賀タクシー	・富士町コミュニティバスの運行(令和2年4月1日運行開始)	新規運行開始	A	A	「富士町公共交通検討会議」において、利用者アンケート結果や利用実績に基づいた改善案を協議し、要望のあった相尾・川頭地区の通学に対応できるようなダイヤ改正を行うとともに、予約受付時間の延長を行うことで、学生の利用を喚起する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。また、「検討会議だより」の内容にも工夫を凝らし、コミュニティバスを利用したおでかけプランやお得な定期券情報を周知することで利用増につなげる。	
	中央タクシー(株)	・富士町コミュニティバスの運行(令和2年4月1日運行開始)	新規運行開始	A	B	「富士町公共交通検討会議」において、利用者アンケート結果や利用実績に基づいた改善案を協議し、要望のあった早朝時間帯の古湯行きを設定し、通学時間帯の運行時刻を見直すダイヤ改正を行うとともに、予約受付時間の延長を行うことで、高齢者や学生の利用を喚起する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。また、「検討会議だより」の内容にも工夫を凝らし、コミュニティバスを利用したおでかけプランやお得な定期券情報を周知することで利用増につなげる。	
	ロイヤル観光(株)	・富士町コミュニティバスの運行(令和2年4月1日運行開始)	新規運行開始	A	A	「富士町公共交通検討会議」において、利用者アンケート結果や利用実績に基づいた改善案を協議し、要望のあった夜間の北山中原行きを増発し、須田地区へ新たに乗り入れるダイヤ改正を行うことで、学生の利用を喚起する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。また、「検討会議だより」の内容にも工夫を凝らし、コミュニティバスを利用したおでかけプランやお得な定期券情報を周知することで利用増につなげる。	
多久市地域公共交通会議	多久市	東多久立山線 「東多久～立山」間の運行 (多久市自家用有償運送)	バス停の新設・移設については、時刻表パンフレットに記載し、全戸配布を行った。また、HPへの掲載も行った。 経路検索サイトへの時刻表の掲載も完了している。	A	B	目標達成率100%を超えることができなかった。新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少から、戻りきれていない。今後、現状の詳細な分析を行い、改善につなげていく必要がある。なお、今回は別の経路検索サイトへの時刻表掲載を予定している。更なる利便性の向上に努め、利用者数の増加を目指す。	評価の指標は路線毎の1日あたりの平均利用者数。 バス停の新設・移設等変更事項を記載した時刻表パンフレットの全戸配布、経路検索サイトへの掲載等、利用促進に取り組まれていることを評価します。 新型コロナウイルスによる影響をうけつつも、緊急事態宣言解除後の利用者が増加した期間では利用者が増えている系統もあるため、増加要因を分析し、改善に繋げていくことを期待します。また、認知度向上と利用促進策として、区長会や老人会等への働きかけ等、地元住民への周知方法を検討願います。 今後も更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービス提供が確保されることを期待します。
		西多久納所線 「西多久～納所」間の運行 車両減価償却費等国庫補助金 (多久市自家用有償運送)	時刻表パンフレットの全戸配布及び、時刻表、運賃、路線図等のHP掲載を行った。 経路検索サイトへの時刻表の掲載も完了している。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、6月以降、利用者数が増加し、目標達成率は100%を超えた。 なお、今回は別の経路検索サイトへの時刻表掲載を予定している。更なる利便性の向上に努め、利用者数の増加を目指す。	
		南多久岸川線 「岸川～南多久」間の運行 車両減価償却費等国庫補助金 (多久市自家用有償運送)	時刻表パンフレットの全戸配布及び、時刻表、運賃、路線図等のHP掲載を行った。 経路検索サイトへの時刻表の掲載も完了している。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、8月以降、利用者数が増加し、目標達成率は100%を超えた。 なお、今回は別の経路検索サイトへの時刻表掲載を予定している。更なる利便性の向上に努め、利用者数の増加を目指す。	

		市内(唐津フェリーターミナル～大手口) 【唐津フェリーターミナル～西唐津駅前～大手口】	地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画の検討、ICカードニモカの普及活動を行う予定にしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができなかった。そのような状況の中でも佐賀県のシステムを活用したバス運行情報のオープンデータ化を行い利便性の向上を図った。また、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少は元に戻ることは考えにくく、今後はWithコロナの中で、適切な運行規模へ転換するべく関係機関と協議を進めていく。併せてバスロケーションシステムの導入やICカードの普及、回数券・定期券の電子化を進め、利用者の利便性を向上させながら事業の生産性を高め、経費の削減に努めていく。
		志気(市民病院きたはた～志気) 【市民病院きたはた～志気】	地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画の検討、ICカードニモカの普及活動を行う予定にしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができなかった。そのような状況の中でも佐賀県のシステムを活用したバス運行情報のオープンデータ化を行い利便性の向上を図った。また、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少は元に戻ることは考えにくく、今後はWithコロナの中で、適切な運行規模へ転換するべく関係機関と協議を進めていく。併せてバスロケーションシステムの導入やICカードの普及、回数券・定期券の電子化を進め、利用者の利便性を向上させながら事業の生産性を高め、経費の削減に努めていく。
		成瀬(市民病院きたはた～成瀬) 【市民病院きたはた～成瀬上】	地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画の検討、ICカードニモカの普及活動を行う予定にしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができなかった。そのような状況の中でも佐賀県のシステムを活用したバス運行情報のオープンデータ化を行い利便性の向上を図った。また、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少は元に戻ることは考えにくく、今後はWithコロナの中で、適切な運行規模へ転換するべく関係機関と協議を進めていく。併せてバスロケーションシステムの導入やICカードの普及、回数券・定期券の電子化を進め、利用者の利便性を向上させながら事業の生産性を高め、経費の削減に努めていく。
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀線	基山駅～けやき台～高島団地～老人憩の家～基山駅系統(4便)	令和元年度の利用者数の目標値は、88人/日であり、それに対して実績値は91人/日であったため評価はA(事業が計画に位置付けられた目標を達成した)とした。	A	B	1号車、2号車別に乗降客数をみると、特に1号車の減少率が大きかった。 1号車は、大きな住宅地等を通る路線を運行しているため通勤等でご利用されていた方が、新型コロナウイルス感染症による影響で通勤形態・勤務形態等が変更され利用者が減少していることが考えられる。 逆に2号車については、生活に必須な買い物、通院等の利用が多く減少率が少なくなっていることが考えられる。 今後もしばらくは、新型コロナウイルス感染症による影響が続き、乗降客数についてもこれまでと同じような傾向が予想されるが、引き続き感染症対策等を講じながら、利用促進のためのPR等に努めたい。また、利用者からルート等が分かりにくい等の意見もあるため、利用者にとって見やすい時刻表の作成等について検討を続ける。
		基山駅～けやき台～高島団地～基山駅系統(1、2便)	当該事業の評価期間においても、計画を立てた際の直近の実績値に基づき、実績値の5%増を目標として下記のとおり利用者の目標値を定めて事業を実施した。 【目標1 乗降客数】 1日の平均利用者数 令和2年度 88人/日 令和3年度 92人/日 令和4年度 96人/日 (直近の実績値84人/日)			
		基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～老人憩の家～基山駅系統(3、5便)				
		基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～老人憩の家～基山駅系統(6、8便)				
	㈱基山タクシー	月水金1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～本桜～園部～中心部)				
		月水金2便(宮浦～園部～中心部～本桜～長野～中心部)				
		月水金3便(宮浦～長野～中心部～本桜～園部)				
		月水金4便(中心部～本桜～長野～中心部～宮浦～園部)				
		火木土1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～園部～本桜～中心部)				
		火木土2便(長野～本桜～中心部～園部～宮浦～中心部)				
火木土3便(長野～園部～中心部～本桜～宮浦)						
火木土4便(中心部～本桜～園部～中心部～宮浦～長野)						

評価の指標はコミュニティバス全体の1日平均乗降者数。
広報やホームページでのおすすめルートの記事掲載、パンフレットの配布等、利用促進と認知度向上に繋がる取組を行っていることを評価します。また、アンケート等により利用者の意見を聞き、運行ルートや時刻等について定期的に見直しに取り組んでいることを評価します。
年間で見ると、新型コロナウイルスの影響により利用者が減少していますが、コロナ前では増加傾向であった系統のあるため、増加要因の分析結果を踏まえ、引き続き地域住民の意見を聞きながら見直しの検討を行い、利用者利便の増進と持続可能な地域公共交通の維持・確保が行われることを期待します。

<p>有田町地域公共交通会議</p>	<p>南有田タクシー 西肥亀の井タクシー(株)</p>	<p>有田町曲川・大山地区における区域運行登録者住宅～有田町役場等間を1日6便運行</p>	<p>制度定着に向けて広報、周知に取り組み、利用促進を図った。</p>	<p>B</p>	<p>B</p>	<p>乗車時の感染予防対策に取り組むとともに、目標年間利用者数の見直しを検討する必要がある。</p>	<p>評価の指標は年間利用者数。 年度前半にAIを活用したデマンドタクシーの実証実験を行い、配車効率の改善や利便性向上に向けた新たな取組が行われていることを評価します。 新型コロナウイルスの影響により、年間の利用者数は前年度を下回っていますが、コロナ前は、この実証実験により大きく利用者数が伸びているので、実証結果を踏まえ、更なる効率化と利用者利便の増進が図られることを期待します。 また、コロナの状況を見ながら、引き続き高齢者サロン等での説明・周知の取組により、認知度向上、利用促進を図り、持続可能な旅客運送サービスの提供が確保されることを期待します。</p>
<p>吉野ヶ里町地域公共交通活性化協議会</p>	<p>吉野ヶ里観光タクシー(南)</p>	<p>系統名：循環線 運行区間：吉野ヶ里町全域 運行形態：事前登録制、予約制、乗合により、自宅と指定施設間を運行する、デマンド型乗合タクシー、8時台～16時台の1時間に1便(最大1日9便)、予約のあった場合のみ運行。 運行日：平日 運休日：土日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)</p>	<p>【目標】 交通結節点(東目連原バス停)、JR吉野ヶ里公園駅及び広域路線バス停付近での乗降客数 令和2年度：6.9人/日以上 (平成29年9月から令和元年5月までの平均乗降客数6.5人/日の105%)</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>目標とする乗降客数の前年度比5%増を達成し、順調に利用者数が増えている。今後も広報、周知に取り組み、利用者増を図る。</p>	<p>評価の指標は交通結節点等における乗降客数。 運転免許証返納時にデマンドタクシーの登録を行うなど、利用者の増加に繋げる取組を評価します。 コロナ禍にもかかわらず、順調に利用者が増えているので、引き続き、利用者のニーズ、利用実態を把握し、広報、周知に取り組み、利用者利便の増進と持続可能な地域公共交通の維持・確保が行われることを期待します。</p>
<p>長崎市地域公共交通会議</p>	<p>株式会社 琴海タクシー</p>	<p>西海町地内の運行 琴海村松町地内の運行 琴海戸根町・琴海戸根原町地内の運行 長浦町地内の運行 琴海形上町地内の運行 琴海尾戸町・琴海大平町地内の運行</p>	<p>自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。 自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。 自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。 自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。 自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。</p>	<p>A A A A</p>	<p>B B B B</p>	<p>運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。 運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。 運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。 運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。 運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。</p>	<p>評価の指標は、1便当たりの利用者数(以前の収支率から昨年変更)。 コロナ禍の中、公共交通を確保維持されておられる関係者のご努力に敬服致します。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 長崎市では現在地域公共交通計画の策定が進められていることから、市全体の交通網の評価と併せて様々な視点(指標)からの検討が加えられ、引き続きまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>

対馬市地域公共交通活性化協議会	<p>●事業者名 対馬交通㈱ ◎系統名 竹敷線</p>	対馬病院～竹敷間路線バスの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	C	通学による利用者が多い路線のため、対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り高齢者等の新たな利用者の増加を目指す。	評価の指標は、収支率、1kmあたりの輸送コスト。 コロナ禍の中、公共交通を確保維持されておられる関係者のご努力に敬服致します。 自己評価結果については新型コロナウイルス感染症の影響が目標を大きく下回った原因とされていることから、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。 対馬市では対馬市地域公共交通再編実施計画の計画期間満了に伴う振り返りが今後本格化されることから、市全体の交通網の評価と併せて様々な視点(指標)からの検討が加えられ、引き続きまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
	<p>●事業者名 厳原タクシー(南) 南北厳原タクシー 対州タクシー(南) ホテル対馬㈱ ◎系統名 椎根・厳原線</p>	椎根～厳原間予約制乗合タクシーの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	A	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。	評価の指標は、収支率、1便あたりの利用者数。 コロナ禍の中、公共交通を確保維持されておられる関係者のご努力に敬服致しますとともに、目標を達成されておられることを高く評価します。
	<p>●事業者名 上県タクシー㈱ ◎系統名 比田勝・五根緒線</p>	比田勝～五根緒間予約制乗合タクシーの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	A	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。	対馬市では対馬市地域公共交通再編実施計画の計画期間満了に伴う振り返りが今後本格化されることから、市全体の交通網の評価と併せて様々な視点(指標)からの検討が加えられ、引き続きまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
	<p>●事業者名 ㈱美津島タクシー ◎系統名 鶏知・緒方線</p>	鶏知～緒方間予約制乗合タクシーの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	A	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。	
	<p>●事業者名 対馬市 ◎系統名 田ノ浜・櫻滝線</p>	田ノ浜～櫻滝間コミュニティバスの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	A	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。	
	<p>●事業者名 対馬市 ◎系統名 田ノ浜・佐賀線</p>	田ノ浜～佐賀間コミュニティバスの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	A	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。	

新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ①浜串～有川線	有川～浜串間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。	評価の指標は、1往復あたりの利用者数。コロナ禍の中、公共交通を確保維持されておられる関係者のご努力に敬服致します。自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。新上五島町ではSmartGOTO事業が計画され、今後の交通網の再編が検討されていることから、各系統の評価について様々な視点(指標)からの検討が加えられ、アフターコロナを目指しまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
	西肥自動車株式会社 ②浜串～有川線	有川～浜串間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。	
	西肥自動車株式会社 ③江の浜線1	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。	
	西肥自動車株式会社 ⑤江の浜線3	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。	
	西肥自動車株式会社 ⑥江の浜線4	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。	
	西肥自動車株式会社 ⑦神之浦線1	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。	
	西肥自動車株式会社 ⑧神之浦線2	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。	
	西肥自動車株式会社 ⑨神之浦線3	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。	
	西肥自動車株式会社 ⑩神之浦線4	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。	
佐世保市地域公共交通会議	西肥自動車株式会社	岩下洞穴・瀬戸越団地線	地元住民代表・行政・交通事業者による「交通対策協議会」において、サービス面の見直しなど利便性向上に向けた検討会議を2回行った。 自治会の班長会議で周知するなど、沿線町内会を通じたPR活動や回数券を作成し利便性を向上させ、利用者増につながった。	A	A	更なる利便性向上のため、「交通対策協議会」では乗車人員データをもとに利用者ニーズを把握し、路線、ダイヤの見直し等を分析・検討する。 PR活動を行い、利用促進に向けた取り組みを行う。	評価の指標は、1回あたりの平均乗客数。コロナ禍の中、公共交通を確保維持されておられる関係者のご努力に敬服致します。地元住民代表等による交通対策協議会を定期的に開催し、まめバスの利用状況等の情報共有、改善策を協議されるなど利用促進に取り組まれ、コロナ禍の中目標を達成されたことを高く評価します。佐世保市では、佐世保市地域公共交通再編実施計画の計画期間満了に伴う振り返りが今後本格化されることから、市全体の交通網の評価と併せて様々な視点(指標)からの検討が加えられ、引き続きまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。

大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 今村線	事業評価結果を反映することができた。	A	B	・新型コロナウイルス感染症の感染予防に取り組む。 ・大村市地域公共交通再編実施計画に基づき、利用者の少ない時間帯を乗合タクシーでの運行に転換する等の効率的なダイヤ設定を行い、利便性向上に努める。	評価の指標は、平均乗車密度、コロナ禍の中、公共交通を確保維持されておられる関係者のご努力に敬服致します。自己評価については、目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができるかと考えます。大村市では、昨年策定した大村市地域公共交通再編実施計画が今後順次実施される予定であり、利用者の利便性向上のための見直しにも継続して取り組まれておられることから、これら取組みが着実に実を結び、持続可能な交通ネットワークが確保維持されることを期待します。	
		地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 野岳湖線	事業評価結果を反映することができた。	A	B	・新型コロナウイルス感染症の感染予防に取り組む。 ・大村市地域公共交通再編実施計画に基づき、利用者の少ない時間帯を乗合タクシーでの運行に転換し、市中心部の区間の運行間隔を短縮する等の効率的なダイヤ設定を行う。		
		地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 宮の原・協和町線 (野岳入口)	事業評価結果を反映することができた。	A	B	新型コロナウイルス感染症の感染予防に取り組むとともに利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行い、利便性向上に努める。		
		地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 宮の原・協和町線 (黒丸入口)	事業評価結果を反映することができた。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響に関わらず一定の利用があるということは利用者にとって生活における重要な路線と考える。今後も住民の移動手段の確保維持に努める。		
		地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 南部循環線	事業評価結果を反映することができた。	A	B	新型コロナウイルス感染症の感染予防に取り組むとともに利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行い、利便性向上に努める。		
		地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 小路口・諏訪線	事業評価結果を反映することができた。	A	B	新型コロナウイルス感染症の感染予防に取り組むとともに利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行い、利便性向上に努める。		
		地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 黒木線	事業評価結果を反映することができた。	A	B	・新型コロナウイルス感染症の感染予防に取り組む。 ・大村市地域公共交通再編実施計画に基づき、利用者の少ない時間帯を乗合タクシーでの運行に転換し、市中心部の区間の運行間隔を短縮する等の効率的なダイヤ設定を行う。		
五島市地域公共交通活性化再生協議会	丸濱産業有限会社 奈留交通有限会社	五島市奈留島内5系統運行	奈留島地区生活交通検討委員会と連携し、利用者がなかった路線の廃止を含めた見直し及び利用促進活動に取り組む。	A	B	利用促進活動に取り組み、路線の維持存続に努める。	評価の指標は、利用状況(計画に対する運行率)。 コロナ禍の中、公共交通を確保維持されておられる関係者のご努力に敬服致します。自己評価については、月ごとの利用状況等を分析し、利用者の実態を把握することをご検討願います。 五島市では五島市地域公共交通網形成計画の計画期間満了に伴う振り返りが今後本格化されることから、市全体の交通網の評価と併せて様々な視点(指標)からの検討が加えられ、引き続きまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
		丸濱産業有限会社	五島市奈留島内1系統運行(汐池線)	奈留島地区生活交通検討委員会と連携し、適切な目標設定及び利用促進活動に取り組む。	A	C	利用促進活動に取り組み、路線の維持存続に努める。	評価の指標は、年間利用者数。 コロナ禍の中、公共交通を確保維持されておられる関係者のご努力に敬服致します。自己評価については、利用状況を分析し利用者の実態を把握して、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 五島市では五島市地域公共交通網形成計画の計画期間満了に伴う振り返りが今後本格化されることから、市全体の交通網の評価と併せて様々な視点(指標)からの検討が加えられ、引き続きまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
		松本 勝久(久賀タクシー)	五島市久賀島内17系統運行	運行事業者が利用者への改善の要望などを聞き取り、渡船待合所に配布用の時刻表及び運行ルートのパフレットを置き利用促進を図った。	A	B	利用者数拡大を目指し、運行事業者や地域町内会と連携し利用促進や路線の見直しに取り組む。	
		五島自動車株式会社	五島市福江島内1系統運行(福江～櫻之浦～観音平線)	市役所奥浦出張所に運行ルート及び時刻表を配置し、更なる利用促進に取り組んだ。	A	B	車内及び市役所奥浦出張所など主要な施設に運行ルート及び時刻表のパフレットを配置し、更なる利用促進に取り組む。	
		株式会社大波止タクシー 有限会社西海タクシー 有限会社五島観光タクシー	五島市中心市街地周辺3系統運行(大津・小田・木場方面)	-	A	B	広報紙等で周知徹底を図るとともにさらなる利便性の向上を図るため路線の見直しを検討する。	
		五島タクシー株式会社	五島市富江地区1系統運行(富江～黒瀬線)	-	A	C	地域住民や関係者と協議し 系統の見直しを検討する。	
		株式会社大波止タクシー 有限会社西海タクシー	五島市岐宿地区1系統運行(岐宿～川原線)	-	A	C	地域住民や関係者と協議し 系統の廃止も含め見直しを検討する。	
		五島自動車株式会社	五島市福江島内1系統運行(空港線)	-	A	B	五島つばき空港や福江港ターミナルに時刻表を掲示するとともに運行事業者のホームページで周知を図る。	

<p>島原市地域公共交通協議会</p>	<p>島原鉄道株式会社</p>	<p>本市北部に位置する有明地区を唯一運行している「水分畜産線」の維持・確保を図る</p>	<p>本年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により交通事業者にとっては非常に厳しい年であった。島原鉄道におかれても、経営に大打撃をうけており、運休減便などの対応を余儀なくされ、いまだ利用者の回復には至っていない。現在は経営の安定化にご尽力されている状況である。本市においては、本系統を含め、公共交通の利用促進策として市内全ての交通機関で利用できる、プレミアム乗車券を販売を実施、広報紙での周知やSNSを活用した情報発信を行った。</p>	<p>B</p>	<p>A</p>	<p>・本年は目標を達成し平均乗車密度も2年連続で増加傾向となった。 ・引き続き、免許返納を検討している高齢者などをはじめとして自動車からの転換を促し、島原鉄道をはじめとして、市内公共交通事業者と一緒に促して市民全体を巻き込んだ公共交通のPRを行い、利用促進を図っていく。</p>	<p>評価の指標は、平均乗車密度。 コロナ禍の中、公共交通を確保維持されておられる関係者のご努力に敬服致しますとともに、目標を達成されておられることを高く評価します。 島原市では現在コミュニティ交通の導入拡大を進めておられることから、アフターコロナを目指し、引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に実施することにより、市全体の交通網とともに持続可能な交通ネットワークが確保維持されることを期待します。</p>
<p>松浦市地域公共交通活性化協議会</p>	<p>昭和自動車株式会社</p>	<p>路線バスの運行 (鷹島(阿翁浦線))</p>	<p>協議会や分科会等を通じて運行事業者や地域住民と情報交換を行っている。その他利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階において協議会において検討する。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>定期的に利用状況の分析を行う。また、路線バスの効率化を図るため、乗合タクシー等への転換を検討する。</p>	<p>評価の指標は、基幹系統の維持と路線毎の収支率。 コロナ禍の中、公共交通を確保維持されておられる関係者のご努力に敬服致しますとともに、目標を達成されておられることを高く評価します。 松浦市では松浦市地域公共交通網形成計画の計画期間満了に伴う振り返りが今後本格化されることから、市全体の交通網の評価と併せて様々な視点(指標)からの検討が加えられ、アフターコロナを目指し引き続きまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>
<p>松浦市地域公共交通活性化協議会</p>	<p>鷹島タクシー</p>	<p>乗合タクシーの運行 (阿翁浦線)</p>	<p>網形成計画において、鷹島タクシーの利用者数については、計画の最終年度である令和3年度の目標値を12,700人と設定している。利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>今回の収支率の低下については、新型コロナウイルスの影響によるところが大きい。年々、利用人員が減少傾向にあるため、利用状況を分析し、利用促進策を強化する必要がある。</p>	<p>評価の指標は、交通空白地の解消と収支率。 コロナ禍の中、公共交通を確保維持されておられる関係者のご努力に敬服致します。 自己評価については、利用状況を分析し利用者の実態を把握して、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。</p>
<p>松浦市地域公共交通活性化協議会</p>	<p>鷹島タクシー</p>	<p>乗合タクシーの運行 (殿の浦線)</p>	<p>網形成計画において、鷹島タクシーの利用者数については、計画の最終年度である令和3年度の目標値を12,700人と設定している。利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>今回の収支率の低下については、新型コロナウイルスの影響によるところが大きい。年々、利用人員が減少傾向にあるため、利用状況を分析し、利用促進策を強化する必要がある。</p>	<p>松浦市では松浦市地域公共交通網形成計画の計画期間満了に伴う振り返りが今後本格化されることから、市全体の交通網の評価と併せて様々な視点(指標)からの検討が加えられ、アフターコロナを目指し引き続きまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>
<p>天草市公共交通連携協議会</p>	<p>産交バス(株)</p>	<p>本渡市街地循環線(のつみゆうかー)の運行</p>	<p>・地域の高齢者団体が、「ぶちたび」で提案する路線バスコースでの旅行を実施。 ・小学生及び高齢者を対象とする乗り方教室を開催(4回)。 ・令和2年4月から市複合施設「ここらす」への乗入を開始。</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>・本渡ハスセンターを発着する幹線バスや他の交通モードとの結節などの交通ネットワークの構築 ・コロナ禍における「ぶちたび」の周知や「公共交通乗り方教室」等の路線バスを知ってもらうための取組みの継続的な実施</p>	<p>評価の指標は、年間利用者数及び1便あたりの利用者数。 「ぶちたび」による路線バスコースでの旅行の実施や、小学生・高齢者を対象とした乗り方教室の実施など、利用促進を図る取り組みを実施されている点を評価します。 自己評価については、本渡市街地循環線の目標は達成できていないものの、昨年から減少率は他系統と比較すれば抑えられており、コロナの影響を踏まえれば、一定の評価ができるかと考えます。</p>
<p>天草市公共交通連携協議会</p>	<p>㈱有明タクシー ㈱産交ボニータクシー (有)ハールタクシー 天草タクシー㈱ ㈱本渡港運送店 (有)大門港タクシー ㈱絆</p>	<p>有明地区内における乗合タクシーの運行</p>	<p>(今回新規)</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>・乗合タクシーの登録者に対する利用促進の働きかけ及び未登録者に対する登録の呼びかけ ・乗合タクシーが地域間交通ネットワークに接続している旨の周知</p>	<p>今後、中学生や普段、自家用車を使用している方向けの乗り方教室など、更なる公共交通の利用促進策の実施に取り組んでいただくこともご検討願います。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより、利便性向上と利用者の増加につながることを期待します。</p>

南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・ゆるっとバス白水ルート (白川水源入口・立野病院経由) 高森駅前～大津駅南口線 (R1.10.1～R2.9.30)	利用者からの要望、意見等を随時受け、ニーズの把握を行うとともに、平成28年熊本地震で被災した道路や公共交通の復旧状況にあわせた運行ルートやダイヤ見直しを適宜行い、公共交通の確保に努めた。	A	B	震災からのインフラ復旧や利用者ニーズに合わせて、柔軟に運行ルートやダイヤの見直しを行い、他の交通モードとの接続強化に努めるとともに利用者の促進を図り、より効果的で利便性の高い公共交通体系の構築に取り組む。	評価の指標は、年間利用者数、平成28年熊本地震の復旧状況にあわせた運行ルート、ダイヤを見直しを進められており、ニーズに合わせた移動手段の確保に努められている点を評価します。 自己評価については、一部が未達成ですが、目標にわずかに届いていない状況ですので、一定の評価はできるものと考えます。 今後、見直しを行った系統の周知・広報を工夫される等、利用促進の取り組みを実施していただき、また、今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
		・ゆるっとバス白水ルート (白川水源入口経由) 高森駅前～大津駅南口線 (R1.10.1～R2.9.30)		A	B			
	・ゆるっとバス久木野ルート (あそ望の郷・阿蘇ファームランド経由) 高森駅前～アテンホテル阿蘇線 (R1.10.1～R2.9.30)	A		B				
	(有)阿蘇観光タクシー (有)高森駅前タクシー (共同運行)	・地獄・垂玉線(下田城ふれあい温泉駅～地獄・垂玉温泉間) ・予約制 ・熊本地震の影響により運行休止中 (R1.10.1～R2.9.30)	平成28年熊本地震以降、南阿蘇鉄道が復旧中のため運行休止となっている。	—	—	南阿蘇鉄道全線復旧に合わせて乗合タクシーの運行再開に向け、観光客や地元住民への周知調整を図る。		
合志市地域公共交通協議会	熊本電気鉄道(株)	レターバス	利用促進の取り組みとして、マイ時刻表の作成や各バス停にはバスロケーションシステムのQRコードを貼り付け等を行った。 また、路線再編の実施に向けた取り組みとして、合志市内の全戸に再編後の新しガイドマップの送付、バスのラッピング、さらには、乗継拠点上屋工事等を行った。	A	C	目標値に対し、結果は下回っている。利用者増加のため、引き続き公共交通利便性の向上を図ると共に路線再編後(令和2年10月)の利用促進に向け周知啓発等を積極的に行う。 また、運行単価の増およびコロナ禍により利用状況が大きく落ち込んでいるため運賃収入の減により委託費が増加傾向にある。そのため、運賃見直しの検討やコロナ対策等を行い、今後の持続可能な公共交通を目指す。	評価の指標は、①市内外の移動での円滑な乗り継ぎに関する市民の満足度、②年間利用者数、③公共交通機関の利用割合、④市民1人あたりの運行委託料。 マイ時刻表の作成や各バス停へのバスロケーションシステムのQRコード貼り付け等、利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標を達成できておらず、事業評価はCとなっていますが、コロナ禍の影響もあり、正確な評価は難しいところです。今後とも、利用者減少の要因の分析には力を入れていただき、必要に応じて見直しを進めることもご検討ください。 街づくりと一体となった路線網の再編や利用者ニーズ(利用されない方のニーズ含む)の把握にも努めていただき、利便性の向上、持続可能な公共交通網の構築につながることを期待します。	
		レターバス (左回り平日1便目)						
		日向・新迫線						
水俣市地域公共交通会議	産交バス(株)	水俣駅・葛彩館線 水俣駅前～水俣市役所・渡野～葛彩館	市内業者と利用促進策を試験的に実施した。	A	C	時間帯によっては利用者が少ない便もあり、利用者のニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、第2期水俣市地域公共交通網形成計画に基づき、路線の見直しを検討していく。	評価の指標は、年間利用者数減少率の抑制。 コロナ禍の影響で、モビリティマネジメントの取組を実施できていませんが、市内事業者と連携したコミュニティバスの利用促進策を試験的に実施された点について評価します。 目標を達成できていませんが、「長大路線」、「ニーズと運行内容のミスマッチ」との分析をされています。その点については、より詳しい検証をご検討ください。 協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用され、利用者ニーズの把握と利用促進策の継続により、利便性と効率性のバランスがとれた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
		水俣駅・大川線 水俣駅前～深川・愛林館前～大川	市内業者と利用促進策を試験的に実施した。	A	C	運行時間が約1時間と長い為、一部改善の要望が出ている。第2期水俣市地域公共交通網形成計画に基づき、路線の見直しを検討していく。		
		流合橋経由招川内・茂道線 招川内～流合橋・水俣駅前～茂道漁港	市内業者と利用促進策を試験的に実施した。	A	C	一部時間帯において利用者ニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、第2期水俣市地域公共交通網形成計画に基づき、路線の見直しを検討していく。		
		頭石経由招川内・茂道線 招川内～頭石・水俣駅前～茂道漁港	市内業者と利用促進策を試験的に実施した。	A	C	時間帯によっては利用者が少ない便もあり、利用者のニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、第2期水俣市地域公共交通網形成計画に基づき、路線の見直しを検討していく。		
		木臼野経由 水俣市役所・水俣駅線 水俣市役所～梅戸・木臼野～水俣駅前	市内業者と利用促進策を試験的に実施した。	A	C	市街地を循環して木臼野を経由しており、運行距離が長い為第2期水俣市地域公共交通網形成計画に基づき、路線の見直しを検討していく。		
		水俣市役所・木臼野線 水俣市役所～梅戸・茂川～木臼野上	市内業者と利用促進策を試験的に実施した。	A	C	利用者のニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、第2期水俣市地域公共交通網形成計画に基づき、路線の見直しを検討していく。		

<p>長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会</p>	<p>(有)ながすタクシー</p>	<p>長洲町予約型乗合タクシー(きんぎょタクシー)の運行 (長洲町内全域及び荒尾市の特定施設)</p>	<p>公共交通マップや運転免許返納者への無料乗車券交付制度を活用し、利用促進を図った。</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が大幅に減少したが、感染症対策等に努め、引き続き利用実態を把握しながら、効率的な輸送サービスを検討していく。</p>	<p>評価の指標は、年間利用者数及び財政負担の維持・抑制。 公共交通マップの作成や運転免許返納者への無料乗車券交付など、利用促進策に取り組んでいたことを評価します。 年間利用者が大幅に減少していますが、コロナ禍の影響がない月においては、前年比でほぼ横ばいであったとのことであり、引き続き、利用実態の詳細な分析の継続、更なる利用促進策に取り組んでいただくようお願いいたします。 協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用され、今後の取組が着実に推進されることにより、地域の生活交通手段の確保のみならず、外出促進や地域活性化につながることを期待します。</p>
<p>益城町地域公共交通会議</p>	<p>熊交観光タクシー(株) (有)光洋タクシー</p>	<p>福田地区～木山産交営業所、木山上町・木山農協前・惣領バス停付近の予約型運行 (1日6便、日曜日年末年始は運休)</p>	<p>R2.4月より、対象地域住民からの希望を踏まえ、便数を2便増便し、停留所を1箇所増設した。変更時に地域への説明会等を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、広報での周知のみとなった。</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>令和3年3月策定予定の「益城町地域公共交通計画」を踏まえ、再編や運行内容の変更等について検討する。併せて、地域への説明会等の広報活動を通して事業の周知を行う。広報においては、主な利用者層である高齢者にわかりやすいものを意識する。</p>	<p>評価指標は、月平均の利用者数。 災害公営住宅の入居開始、仮設住宅の集約等、H28熊本地震からの復興事業の節目に合わせて、また、地域住民からのニーズを踏まえて、路線の見直しを行われた点について評価します。 コロナ禍の影響もあつた中ですが、乗合タクシーの月平均利用者数が目標を大きく下回っています。令和2年度は説明会の実施ができて、利用促進策の進め方も困難であったかと思いますが、より工夫した利用促進策に取り組んでいただくとともに、地域住民の移動実態、ニーズを把握する取組を継続されてください。 令和2年度末に作成予定の地域公共交通計画の取り組みが実施されることにより、利便性と効率性のバランスが取れた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>
<p>宇土市地域公共交通会議</p>	<p>(有)中川タクシ</p>	<p>ミニバス網津緑川線の運行</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>本系統は福祉バスと一部路線が重複しており、曜日ごとの利用者の偏りはこのことも影響していると分析している。そのため、今後地域公共交通計画を策定する際に様々な輸送資源を活用した交通体系を検討していく。</p>	<p>評価指標は、コミュニティバス、ミニバスの利用者数。 利用者実績に合わせた運行ダイヤの最適化を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策を実施した取り組みについて評価します。 目標を達成できている系統と達成できていない系統がはっきり分かれています。達成できていない系統について、「今後の改善点」において、その要因を分析されていますが、コロナ禍の影響もあり、正確な分析が難しい状況でもあるため、分析した内容と実際の利用者ニーズに乖離がないかについて、改めて検証することについてもご検討ください。 地域公共交通計画の策定を予定されているとのことですので、現状把握・利用者ニーズの把握に努めていただき、そこから出てきた問題点や課題の整理に力を入れてください。計画の作成と事業の実施が、持続可能な交通ネットワークの構築につながることを期待します。</p>
<p>(有)西田タクシー</p>	<p>ミニバス宇土北部線の運行</p>	<p>ミニバス宇土北部線の運行</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>本系統は運行エリアが広く、ルートによっては需要の掘り起こしが可能と思われるため、住民ニーズを把握し、利便性向上に努める。</p>	<p>本系統は運行エリアが市街地に近く需要の掘り起こしが難しい系統である。そのため、今後地域公共交通計画を策定する際に様々な輸送資源を活用した交通体系を検討していく。</p>
<p>宇城タクシー(有)</p>	<p>ミニバス轟線の運行</p>	<p>ミニバス轟線の運行</p>	<p>・更なる利用促進のため、利用者が増加している系統と減少している系統の運行ダイヤの最適化を検討した。 ・新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>本系統は運行エリアが市街地に近く需要の掘り起こしが難しい系統である。そのため、今後地域公共交通計画を策定する際に様々な輸送資源を活用した交通体系を検討していく。</p>	<p>本系統は運行エリアが広く、ルートによっては需要の掘り起こしが可能と思われるため、住民ニーズを把握し、利便性向上に努める。</p>
<p>宇城タクシー(有)</p>	<p>ミニバス花園北部線の運行</p>	<p>ミニバス花園北部線の運行</p>	<p>・更なる利用促進のため、利用者が増加している系統と減少している系統の運行ダイヤの最適化を検討した。 ・新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>本系統は運行エリアが広く、ルートによっては需要の掘り起こしが可能と思われるため、住民ニーズを把握し、利便性向上に努める。</p>	<p>本系統は運行エリアが広く、ルートによっては需要の掘り起こしが可能と思われるため、住民ニーズを把握し、利便性向上に努める。</p>
<p>宇城タクシー(有)</p>	<p>ミニバス花園南部線の運行</p>	<p>ミニバス花園南部線の運行</p>	<p>・更なる利用促進のため、利用者が増加している系統と減少している系統の運行ダイヤの最適化を検討した。 ・新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>本系統は運行エリアが広く、ルートによっては需要の掘り起こしが可能と思われるため、住民ニーズを把握し、利便性向上に努める。</p>	<p>本系統は運行エリアが広く、ルートによっては需要の掘り起こしが可能と思われるため、住民ニーズを把握し、利便性向上に努める。</p>
<p>産交バス(株)</p>	<p>コミュニティバスの運行</p>	<p>コミュニティバスの運行</p>	<p>・令和元年10月1日のルート改正に合わせ、5日間の運賃無料運行を実施し、利用促進とルート改正の周知を図った。 ・コミュニティバス利用のモデルコースを作成し、周知を図った</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>本系統は市街地を循環する系統であり、市街地の拠点間を移動を目的としているため、路線バスやJR、ミニバス等の他の交通機関との接続性の向上を検討していく。 また今後地域公共交通計画を策定する際に様々な輸送資源を活用した交通体系を検討していく。</p>	<p>本系統は市街地を循環する系統であり、市街地の拠点間を移動を目的としているため、路線バスやJR、ミニバス等の他の交通機関との接続性の向上を検討していく。 また今後地域公共交通計画を策定する際に様々な輸送資源を活用した交通体系を検討していく。</p>

阿蘇市地域公共交通会議	(株)りんどうタクシー (有)阿蘇エースタクシー	乗合タクシー内牧赤水線	地域住民の利便性の向上及び制度の周知のため利用ガイドを配布した。 また、福祉関係部門と連携し他の事業説明時に乗合タクシーの周知を行った。	A	A	事業は適切に実施されており、かつ目標・効果も達成できている。今後も地域住民のための移動手段として利便性の向上を図り、更なる利用者数の増を目指す。	評価の指標は、月間利用者数、利便性向上と制度の周知のため、利用ガイドを配布し啓発を行った取組に加え、福祉部門と連携した乗合タクシーの周知活動が行われた点について評価します。 人口も減少している中、事業の目標を達成できている点は評価できますが、更なる利用者増加のため、利用状況の分析と利用促進策の継続を実施してください。 利用者ニーズの把握についても努めていただき、利便性と効率性のバランスが取れた持続可能な交通ネットワークが維持されることを期待します。 また、今後、地域の公共交通のマスタープランである地域公共交通計画を策定されることを期待します。
荒尾市地域公共交通活性化協議会	(有)荒尾タクシー、平和タクシー (有)、(有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(平井地区)の運行 荒尾市予約型乗合タクシー(府本地区)の運行	利用者の利便性向上を図るため、利用ニーズを踏まえ、最終便を1便増加している(夏季限定) 利用者の利便性向上を図るため、利用ニーズを踏まえ、最終便を1便増加している(夏季限定)	A	C	利便性向上に関する情報発信を行うとともに、R2.10から運行開始したおもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。 利便性向上に関する情報発信を行うとともに、R2.10から運行開始したおもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。	評価の指標は、利便性に関する満足度、路線バス・乗合タクシーの年間利用者数、利用者ニーズに合わせた増便、公共交通への転換可能性が高い世代へのモビリティマネジメント実施により、利用促進を図った取組について評価します。 達成できていない各目標について、その要因を分析されるとともに、利用促進策については、アクティブシニア世代以外の世代、例えば、小中学生や、普段、自家用車を利用している世代向けの取り組みも実施されることをご検討ください。 今後の取り組みにより、各モードの調和、利便性と効率性のバランスがとれた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
玉名市地域公共交通会議	(有)岱洋タクシー 玉名タクシー(有) (有)高瀬合同タクシー (有)アトム	(1)滑石・岱明地域 (2)大浜・横島地域 ※いずれも予約制乗合タクシー	公共交通マップや広報等で情報提供の充実を図るとともに、利用者ニーズを反映して運行区域の拡充を行った。	A	B	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減っているが、利用者のニーズの把握や運行時間・特定乗降場所の見直しなどの検討を行う。 また、利用者が安心して乗車できるよう、タクシー事業者による感染症対策への補助を予定している。	評価の指標は、年間輸送人員、公共交通マップでの情報提供による利用促進策の実施や、主な利用者との意見交換による利用者ニーズを把握することで必要な見直しを行った取組について評価します。 コロナ禍の影響もあり、利用者の減少についての正確な要因分析は難しいところですが、乗合タクシーの輸送人員については、目標には達していなかったものの、前年度まで順調に推移していました。引き続き、現状分析・要因分析に力を入れていただくようお願いいたします。 加えて、利用者ニーズの把握、利用促進にも継続して取り組んでいただくことにより、利便性と効率性のバランスがとれた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。 今後、地域の公共交通のマスタープランである地域公共交通計画を策定されることを期待します。
	産交バス(株)	(3)九州看護福祉大学経由玉名駅・新玉名駅線 (4)玉名市街地循環線	公共交通マップや広報等で情報提供の充実を図るとともに、補助対象事業者及び当該対象事業の主な利用者である九州看護福祉大学と定期的に意見交換を実施し、必要な変更を行った。	A	B	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減っているが、公共交通を維持・確保していくために、利用者の増加に繋がるよう運行時間帯等の見直しや学生や住民等への周知などを検討をする。	

津奈木町地域公共交通会議	むつみ交通(株)	津奈木町内全域及び水俣市内の特定施設間を運行	<ul style="list-style-type: none"> 回数券の発行 町内3,000円(300円券11枚綴り)・町外8,000円(800円券・11枚綴り)の販売を引き続き行い、利用促進及び利便性の向上を図った。 免許証の自主返納者への特典事業について特典内容を拡充し、町内行き回数券(300円券11枚綴り)と町外行き回数券(800円券11枚綴り)を1セットずつ配布することで、新規利用者の獲得と利用促進を図った。 つなぎタクシーの利用方法等について町広報誌に年2回掲載し、制度の周知強化と利用促進を図った。 65歳以上の町民を対象に、つなぎタクシーに関するアンケートを行い、ニーズ把握を行った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許証の自主返納者に対する特典事業を引き続き実施するとともに、新たな特典事業を展開し、新規利用者の掘り起こしを行う。 利用方法や停留所などの周知、情報提供をさらに充実させ利用者の増加を図る。 路線バス及び鉄道との結節(乗継)を維持し、相互の利用者数の増加、利便性の向上を図る。 住民アンケートや団体ヒアリング等を行い利用者ニーズの把握を行う。 アンケート結果をもとに、現在の停留所や便の時間帯変更など運行内容の見直しを検討する。 	<p>評価指標は、公共交通カバー率とつなぎタクシーの1日当たり利用者数の維持。回数券発行、運転免許証返納者への特典事業拡充、町広報誌への掲載による利用促進の実施や、65歳以上へのアンケートを実施された取組について評価します。</p> <p>公共交通カバー率は達成されており評価できますが、つなぎタクシーの利用者の維持については、目標を達成できておりません。コロナの影響もあり、実績の正確な分析は難しいところであったと思いますが、利用実態の把握・分析について、より一層の取り組みをお願いいたします。また、実施されたアンケート結果については、公共交通会議委員や、広く、住民への情報提供を行っていただくことをご検討ください。</p> <p>今後の取り組みにより、利便性と効率性のバランスがとれた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>今後、地域の公共交通のマスタープランである地域公共交通計画を策定されることを期待します。</p>
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> 東町線(区域)の運行 産島線(区域)の運行 平和町線(路線定期)の運行 日奈久～坂本線(区域)の運行 	<ul style="list-style-type: none"> ○産島線沿線地域に出前講座を実施し、東町線沿線地域へ「公共交通だより」による周知を図った。 ○利用者の移動需要の把握及び各系統の運行内容の見直しに向けて、沿線地域へのヒアリングを実施した。 ○市内のイベントに合わせ、公共交通利用促進のためにパネル展示等のMMを実施した。 ○今後も継続して利用促進に係る取組を実施しながら、利用者の利便性と運行の効率性の両立を図り、持続可能な公共交通網の構築を図っていくために、八代市地域公共交通計画(R2.9策定)に乗合タクシーに関わる施策を明記した。 ○公共交通マップ、総合時刻表の更新のための準備(データ整理等)を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> C C C B 	<ul style="list-style-type: none"> ○各系統の沿線地域の利用実態に合わせた利用促進の取組を実施する。 ○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を引き続き実施し、利用者の増加へつなげていく。 ○沿線地域へのヒアリング結果をもとに運行内容の見直しを行い、新規利用者の開拓及び利便性の向上を図る。また、運行ダイヤ・運行範囲等の見直しについて、利用者の声に対し柔軟に対応を検討する。 ○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行う。 	<p>評価指標は、系統ごとの年間利用者数。利用促進の取り組みについては、特に、イベントに合わせ、一目見てわかりやすいパネルを展示されるなど、工夫した取り組みを実施された点を評価します。</p> <p>利用者数は目標に達していないものの、コロナ禍の影響や、令和2年7月豪雨の影響もあるため、各系統の利用実態を詳細に分析し、更なる利用者の増加に繋げていただくことを期待します。</p> <p>今後、継続して利用促進の取組を実施していただくとともに、地域公共交通計画の取組実施により、利便性と効率性のバランスがとれた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>
和 water 町地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> (有)高瀬合同タクシー (有)三加和タクシー 	<ul style="list-style-type: none"> 菊水線 三加和線 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度から継続して、イベント等に出向き、利用方法等の説明及び利用啓発グッズを活用した啓発活動を実施した。 ・利用者ニーズ・利用実態を把握するため、R2.4に利用者アンケートを実施した。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響によりイベント・会合等の中止が相次ぎ、対面による啓発活動が困難な場面があった。今後は、HPや広報紙等を活用した制度周知・利用啓発の充実を図っていく。 ・R2.4の利用者アンケート結果に基づき運行内容を改善し、同年10月より区域乗継料金の割引を実施した。 ・今後も利用実態・ニーズを把握し、利便性向上を図っていく。 	<p>評価指標は、おでかけ交通の登録者数と年間利用者数。</p> <p>コロナ禍の影響で、予定されていた対面による啓発活動が出来ない中、ホームページや広報紙により啓発活動が行われたことについて評価します。</p> <p>コロナ禍において、達成状況の評価は難しい状況であったかと思いますが、引き続き、利用状況の把握に努めていただくようお願いいたします。</p> <p>また、利用されない方のニーズ把握や、フィーダー系統ではありませんが、路線バスについては、若い世代(小学生、中学生)やその親の世代への利用促進策についてもご検討ください。</p> <p>今度の取組により、利便性と効率性のバランスのとれた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>

<p>山江村地域公共交通会議</p>	<p>山江村</p>	<p>乗合タクシーまるおか号(山田線・万江線・山江線)</p>	<p>HP・ケーブルテレビ・広報において、まるおか号の利用方法・割引制度等の情報発信を行った。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>山江村においては、高齢者の利用者数は、増加しているが、子供の利用が少ないので、もっと効率的で利便性が高い地域公共交通体系を構築する。 また、新型コロナウイルス感染症対策を行い、安心してまるおか号を利用して頂くようHP・ケーブルテレビ・広報を活用し情報発信を行っていく。</p>	<p>評価の指標は、年間の利用者数と利用者満足度。 HPやケーブルテレビ、広報等、様々な利用促進を実施されたことについて評価します。 目標は達成できていませんが、令和2年7月豪雨災害の影響のない月には目標を達成できている点は評価できると考えます。運行事業者とも連携をし、各系統の利用実態・利用者ニーズの把握を行っていただき、詳細な分析を行う取組についてもご検討ください。 今後の上記のような取組を行い、必要に応じて見直しを行っていただくこと、更なる利用促進の取組を行っていただくことで、利便性と効率性のバランスが取れた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>
		<p>佐伯市コミュニティバス 黒沢・岸河内線</p>	<p>・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知及び利用促進の実施</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>利用促進を図るため、引き続き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)</p>	<p>評価の指標は、全路線の1便あたりの平均利用率。 平成30年10月の大分県南部圏利便増進実施計画(旧:地域公共交通再編実施計画)に基づき路線再編や利便増進に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。また、目標を達成している一部の系統の目標値設定について、目標値の水準が適切か等のご検討願います。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。また、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。</p>
		<p>佐伯市コミュニティバス 大入島線</p>	<p>・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知及び利用促進の実施</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>利用促進を図るため、引き続き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)</p>	
		<p>佐伯市コミュニティバス 床木線</p>	<p>・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知及び利用促進の実施</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>利用促進を図るため、引き続き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)</p>	
		<p>佐伯市コミュニティバス 大間線</p>	<p>・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知及び利用促進の実施</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>利用促進を図るため、大分バス路線との乗り継ぎ等の啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)</p>	
		<p>佐伯市コミュニティバス 直川線</p>	<p>・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知及び利用促進の実施</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>利用促進を図るため、大分バス路線との乗り継ぎ等の啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)</p>	
		<p>佐伯市コミュニティバス 久保線</p>	<p>・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知及び利用促進の実施</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)</p>	
		<p>佐伯市コミュニティバス 山梨子・切畑線1</p>	<p>・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知及び利用促進の実施</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>利用促進を図るため、大分バス路線との乗り継ぎ等の啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)</p>	
		<p>佐伯市コミュニティバス 山梨子・切畑線2</p>	<p>・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知及び利用促進の実施</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>利用促進を図るため、大分バス路線との乗り継ぎ等の啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)</p>	
		<p>佐伯市コミュニティバス 本匠線</p>	<p>・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知及び利用促進の実施</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)</p>	

佐伯市地域公共交通確保維持
改善協議会

佐伯市

佐伯市コミュニティバス 下直見線	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	C	利用促進を図るため、大分バス路線との乗り継ぎ等の啓発 活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を 実施する。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利 用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)
佐伯市コミュニティバス 鶴見線1	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続 き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利 用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)
佐伯市コミュニティバス 鶴見線2	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続 き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利 用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)
佐伯市コミュニティバス 野崎線	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	C	利用促進を図るため、啓発活動を行う。併せて地域内での利 用促進の聞き取り調査を実施する。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利 用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)
佐伯市コミュニティバス 米水津線	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続 き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利 用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)
佐伯市コミュニティバス 仲川原線	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続 き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利 用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)
佐伯市コミュニティバス 波当津線1	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続 き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利 用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)
佐伯市コミュニティバス 波当津線2	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続 き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利 用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)
佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線1	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続 き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利 用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)
佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線2	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続 き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利 用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)
佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線3	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続 き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利 用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)
佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線4	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続 き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利 用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)

		佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線5	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。 マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利用促進に繋げる。(令和3年度から実施予定)	
		佐伯市コミュニティバス 宇目デマンド線	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	C	利用促進を図るため、啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。 他の路線を利用して接続等が必要な場合、マイ時刻表の作成を申請者に発行するサービスを実施し利用促進に繋げる。 (令和3年度から実施予定)	
		佐伯市コミュニティバス 旧定時定路線	・乗降調査の実施 ・ホームページ・市報によるコミュニティバスの周知 及び利用促進の実施	A	C	利用促進を図るため、啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。	
九重町地域交通協議会	事業者名:九重町 運行系統名:小平谷線	小平谷～豊後中村駅～九重町役場の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と合わせてPRを実施していく。	評価の指標は、系統ごとの乗車人数。 自己評価については、目標を大きく下回った要因を新型コロナウイルス感染症の影響のみとはせず、利用者の生活活動の分析やニーズの把握が行われるよう検討願います。また、地域公共交通の確保・維持に向けて、観光利用と住民利用のバランスを考慮したうえで、両者に配慮した改善策が実施されることを期待します。協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。 今後も平成30年10月の九重町利便増進実施計画(旧:地域公共交通再編実施計画)に基づく再編や利便増進により、さらなる利便増進と持続可能な旅客運送サービスの提供確保されることを期待します。
	事業者名:九重町 運行系統名:寺床線	寺床～豊後中村駅～九重町役場の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と合わせてPRを実施していく。	
	事業者名:九重町 運行系統名:うるが線	うるが～引治駅～川西の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と合わせてPRを実施していく。	
	事業者名:九重町 運行系統名:栗原小園線	猪牟田～九重町役場～川西の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と合わせてPRを実施していく。	
	事業者名:九重町 運行系統名:龍門野倉線	野倉～恵良駅の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	A	今後も継続して運行状況の分析や住民ニーズの把握を行うとともに利用促進の取り組みを実施していく。	
	事業者名:九重町 運行系統名:龍門線	野倉～恵良駅～九重町役場の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と合わせてPRを実施していく。	
	事業者名:九重町 運行系統名:鹿伏桐木線	豊後中村駅～鹿伏～豊後中村駅の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と合わせてPRを実施していく。	
	事業者名:九重町 運行系統名:九重縦断豊後中村線	塚脇～恵良駅～飯田交流センターの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	A	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みを行う。	
		飯田交流センター～豊後中村駅～九重ICの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	A	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みを行う。	
		牧ノ戸峠～豊後中村駅～九重ICの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	A	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みを行う。	
牧ノ戸峠～豊後中村駅～九重ICの運行		広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	B	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と合わせてPRを実施していく。		
九重登山口花山峠～豊後中村駅～塚脇の運行		広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	A	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みを行う。		
九重登山口みやま～豊後中村駅～塚脇の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	A	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みを行う。			

津久見市地域公共交通活性化協議会	津久見タクシー(株) 光タクシー(株) 中央病院～津久見駅線	中央病院～津久見駅線の運行	年末年始の運行ダイヤについて全戸回覧を行い、バス停に掲示するなど運行に関しての周知を行った。	A	B	今後の状況を注視し、新型コロナウイルス感染症の影響により開催出来なかった体験試乗会等を行いながら、地域の声を聴き利用促進の取組みを行う。	評価の指標は、1日平均利用者数、年間利用者数。 自己評価については、新型コロナウイルス感染症の影響が目標を下回った原因とされていることから、With/Aftarコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。
	津久見タクシー(株) 落の浦～大浜線 落の浦～蒲戸線	落の浦～大浜線 落の浦～蒲戸線の運行	年末年始の運行ダイヤについて全戸回覧を行い、バス停に掲示するなど運行に関しての周知を行った。	A	B	引き続き、乗降調査を実施し、利用者の声を十分に聴き、より効率的な運送サービスを検討していく。	今後も平成30年10月の大分県南部圏利便増進実施計画(日・公共交通再編実施計画)に基づく再編や利便増進により、さらなる利便増進と持続可能な旅客運送サービスの提供確保されることを期待します。
	臼津交通(株) 路線バス17系統	路線バス17系統の運行	わかりやすい時刻表の作成に努め、全戸に配布を行った。	A	B	路線バスの乗降者の状況を乗降調査等を通じて把握し、地域での説明会等の中で、より効果的な情報提供に努め、利用促進に取り組む。 時刻表作成については、今後もわかりやすい時刻表作成に努めていく。	
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Aコース	日田～玉川～中ノ島～竹田新町～日田の循環コースを運行	日田市が日田バスに委託して市内中心部を循環運行するコミュニティバスひたはしり号は、近年運行エリアに近い地域住民からコースの延伸を希望する声が多いため、今年度、利用者数の増及び利便性のさらなる向上を目指して、コース及びダイヤの見直し協議を交通事業者と開始する予定であったが、コロナ禍の影響で当該協議はできなかった。 また、例年9月20日の「バスの日」に合わせ公共交通利用促進の目的で日田バスと共催している1日無料乗車体験等のイベントについても、コロナの影響により開催できなかった。	A	C	コミュニティバスひたはしり号は、平成28年度の運賃100円実証実験開始以降認知度は高まり、またH30.7.11にはダイヤ改正及びコース延伸を行った結果、利用者数は下記のとおり、運賃改正前と比較して底上げとなっている。 【H27】71,868人【H28】76,181人【H29】88,235人【H30】83,489人【R1】85,499人 R2年度はコロナ禍の影響で、利用者数は71,075人と大きく減少し、現時点では前年比の8割程度となっている。コロナ影響による外出控えは今後もしばらく続く予測されるが、その中においても、利用者の増及び利便性のさらなる向上を進めていくため、今後、地域からの乗入要望を交通事業者と連携して精査し、可能な限りコース及びダイヤの見直しを図る。	評価の指数は、年間利用者数 対H30年比。 例年実施されている、地域座談会の開催「バスの日」に合わせたひたはしり号の1日無料乗車体験の実施については、新型コロナウイルス感染症拡大により実施できずでしたが、今後も同様に利用促進に取り組まれることを期待します。 自己評価については、新型コロナウイルス感染症の影響が目標を下回った原因とされていることから、With/Aftarコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な旅客運送サービスの提供確保なされることを期待します。
	日田バス(株) ひたはしり号 Bコース	日田～城内団地～市役所前～日田の循環コースを運行					
	日田バス(株) ひたはしり号 Cコース	日田～玉川～石井～誠和町～日田の循環コースを運行					
	日田バス(株) ひたはしり号 Dコース	日田～豆田町～朝日町～清岸寺町～城町～日田の循環コースを運行					
	日田バス(株) 五馬線	日田～小淵～花香～近原～中村～五馬入口のコースを運行		日田バスが日田バスターミナルから日田市天瀬町五馬地区までを運行する五馬線は、H31.4.11にダイヤ改正を行い、さらなる利用促進を図るため、地域座談会等で住民、交通事業者と意見交換を行う予定であったが、コロナ禍の影響で開催できなかった。 なお、これまで補助対象であった日田バス「大野線」及び「出野線」の2系統については、利用者の減少及び収支率の低下が顕著であったことから、沿線地域住民への説明を十分に行った上で、令和2年4月末をもって廃止した。現在、代替交通として乗合デマンドタクシーを運行中。	A	C	地域座談会等で住民、交通事業者と随時意見交換を行い、ニーズに応じたダイヤの設定を行うなど利用促進に努めていく。またあわせて上記同様、事業の有効性を考慮し適正な交通モードのあり方を検討していく。
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株) 臼杵タクシー(株) 富士タクシー(株)	既存コミュニティバス利用者数 【城崎線、白岩線、上松線、佐志生線、東神野線、西神野線、市内循環線、南野津・東谷線】	利用者ニーズを確認するため、乗降調査結果を基に利用促進及び路線見直しのための地域検討会を開催した。	A	A	引き続きジャンボタクシー路線の見直し及び中型バス路線の小型化の検討及び新たにデマンドタクシー運行の検討を行う。	評価の指数は、利用者数、利用率。 利用者ニーズを確認するため、乗降調査結果を基に利用促進を図り、利用者に路線毎の路線図、時刻表を作成し、地域説明会等で配布するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、目標値を下回った要因を新型コロナウイルス感染症の影響のみとはせず、利用者の生活活動の分析やニーズの把握が行われることを期待します。また、引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な旅客運送サービスが構築されることを期待します。
		既存コミュニティバス利用率	利用者ニーズを確認するため、乗降調査結果を基に利用促進及び路線見直しのための地域検討会を開催した。	A	B	引き続きジャンボタクシー路線の見直し及び中型バス路線の小型化の検討及び新たにデマンドタクシー運行の検討を行う。	
	臼津交通(株)	民間路線バス利用者数 【中津浦線、泊ヶ内線、割後場線】	バス事業者と利用促進について随時検討を行った。利用者に路線毎の路線図、時刻表を作成し、地域説明会での配布を行った。	A	C	バス事業者と利用促進について検討をしていくとともに地域説明会でも意見聴取を行い、路線の見直しの検討を行う。	
民間路線バス利用率		バス事業者と利用促進について随時検討を行った。利用者に路線毎の路線図、時刻表を作成し、地域説明会での配布を行った。	A	C	バス事業者と利用促進について検討をしていくとともに地域説明会でも意見聴取を行い、路線の見直しの検討を行う。		

玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:まちなか循環バス 事業者名: 玖珠観光バス(株)	わらべの館を起点として、市街地の 主要施設(役場、商店、医療機関、 金融機関等々)を循環 1日8便(西 回り4便 東回り4便)運行	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸 配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響 もあったが概ね目標値に近い実績があった。平成30年度に 策定した「玖珠町地域公共交通網計画」の進捗管理を行いな がら、計画の目標達成に向け今後も、事業を継続していき たい。	評価の指数は、利用者数。 総合時刻表を町内の住民に全戸配布する など利用促進に取り組まれていることを評価し ます。 自己評価については、目標値を下回った要因 を新型コロナウイルス感染症の影響のみとは せず、利用者の生活活動の分析やニーズの 把握が行われることを期待します。 今後は平成31年3月に策定した地域公共交 通計画(旧:地域公共交通網形成計画)に基 づき持続可能な交通ネットワークが構築され ることを期待します。 また、協議会が日々の公共交通の利用、取 組の情報を認知する場として活用されること を期待します。
	系統名:小型乗合バス (岩室線) 事業者名: 大交タクシー(有)	書曲三から下長野間の運行 (毎週水曜日に運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸 配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響も あったが概ね目標値に近い実績があった。路線の距離が長 い為、バス停の乗降者数を把握し、ルートの最適化を図 っていく。また、バス停や路線の見直しを検討する。	
	系統名:ふれあい福祉バス (伏株線) 事業者名:玖珠町	唐杉から福祉センター間の運行(毎 週火曜日の運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸 配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響も あったが、目標を達成できなかった。要因として、固定客の減 少があげられる。また、比較的市街地に近いことから、自家 用車を含めた他の移動手段を利用することが多いことも目標 値を達成できなかった要因のひとつである。バス停や路線の 見直しを検討する。	
	系統名:ふれあい福祉バス (小田線) 事業者名:玖珠町	小田小学校入口から福祉センター 間の運行 (毎週金曜日の運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸 配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	C	新型コロナウイルスの影響はさほど受けていないが目標値を 大幅に下回っている。固定客の減少が顕著となっている。ま た、比較的市街地に近いことから、自家用車も含めた他の移 動手段の利用が多いことも要因の一つである。バス停や他 の路線との統合等も踏まえ路線の見直しを検討する。	
	系統名:ふれあい福祉バス (山浦線通学便) 事業者名:玖珠町	古園からJR豊後森駅間の運行 (平日運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸 配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響は3月から5月にあり、外出 自粛の影響もあったが、小学生の利用が定期的にあつたた め、目標値を大幅に達成することができた。 今後は、小学生が減少していくことも推測されるため、高齢 者を含めた一般の方も利用できるよう検討を行い、乗客の増 員に努めていく。	
	系統名:ふれあい福祉バス (山浦線ふれあい便) 事業者名:玖珠町	古園から福祉センター間の運行(毎 週火・金曜日の運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸 配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響も あったが、おおむね目標値に近い実績を達成することができ た。 固定客が増えるなど、当路線沿いは利用者が多いため路線 を継続していきたい。	
	系統名:ふれあい福祉バス (日出生線通学便) 事業者名:玖珠町	日出生公民館前から豊後森駅間の 運行 (平日運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸 配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響が特に3月~4月にあつ た。外出自粛の影響もあったが、小学生や高校生の利用が 定期的にあつたため、目標値を達成することができた。 今後は、小学生や高校生が減少していくことも推測されるた め、高齢者を含めた一般の方の活用についても検討してい く。	
	系統名:ふれあい福祉バス (日出生線ふれあい便) 事業者名:玖珠町	尾内公民館から福祉センター間の 運行 (毎週水曜日の運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸 配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響も あったと思われるが目標値を達成できなかった。 水曜日は診療所に先生がくるため、市街地の医療機関に行 く必要がないとの意見もあり、曜日の変更や他路線との統合 についても検討する。	
系統名:ふれあい福祉バス (小野原線) 事業者名:玖珠町	小野原給水施設前から福祉セン ター間を運行 (毎週木曜日の運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸 配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による、外出自粛の影響も あり、目標値を達成できなかった。 固定客の減少や、乗客全体の人口の減少、学生の利用が少 なくなったことが要因。 路線の変更や、他の路線との統合について検討する。		

杵築市地域公共交通活性化協議会	三光タクシー(南)	八坂線	市ホームページに掲載し市内外に周知を行うとともに高齢者の身近にいるケアマネージャーや地域のサロン責任者に、乗合タクシーへの登録の声掛けをお願いした。 また、免許返納者に対しても乗合タクシーへの登録をお願いした。	A	A	目標は達成することはできたが、さらなる利用者の増加を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。	評価の指数は、1便当りの利用者数。 市ホームページを活用し、市内外への周知、高齢者の身近にいるケアマネージャー等を通じて高齢者への乗合タクシー登録の声掛けなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、目標値を下回った要因を新型コロナウイルス感染症の影響のみとはせず、利用者の生活活動の分析やニーズの把握に努めることにより、協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。
		北杵築線		A	C	目標達成は叶わず、人口減少が進む地域ではあるが、コロナ禍であっても目標値を大きく上回る月も存在する。ホームページやケーブルテレビ等を活用し利用促進のさらなる周知を行い、目標値2.8人/便を達成できるように努めたい。	
	杵築国東合同タクシー(株)	東線		A	C	目標達成は叶わなかったが、コロナ禍であっても稼働率は伸びている。稼働率とともに乗車率も上昇に転じるように、ホームページやケーブルテレビ等を活用し利用促進のさらなる周知を行い、目標値2.0人/便を達成できるように努めたい。	
		大内線		A	B	目標達成にあと一步届かなかったが、制度は順調に浸透していっていると思われる。ホームページやケーブルテレビ等を活用し利用促進のさらなる周知を行い、目標値1.5人/便を達成できるように努めたい。	
豊後大野市地域公共交通活性化協議会	豊後大野市	(コミュニティバスの運行) ＜三重町＞ 山田線、小坂線、菅尾線、川辺・向野線、内田線の運行	利用者が落ち込んでいる三重町において利用促進策として、「大人の社会見学」という社会実験を引き続き実施し、三重地域の利用促進につなげた。	A	B	利用者が落ち込んでいる地域を中心に、利用促進を積極的に行っていく。(各地域のコミュニティカフェ等との連携) また、利用が長い間ほとんどない区間、バス停等については、トリガー制度に基づく区間廃止、バス停廃止、運行形態の変更(デマンドへの移行)等を地元との協議・合意の上、検討・推進する。 分かりやすい公共交通の情報提供として、地域別にきめ細かく具体的利用方法を紹介したチラシの作成等を行う。	評価の指数は、1人当たり運行コスト、利用者満足度調査、利用者数。 大分大学、三重総合高等学校(市内唯一の高校)との共同による社会実験「大人の社会見学」を毎年実施するなど利用促進に取り組まれていることを高く評価します。 自己評価については、新型コロナウイルス感染症の影響が目標を下回った原因とされていることから、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な旅客運送サービスの提供確保がなされることを期待します。
		(コミュニティバスの運行) ＜清川町＞ 通学東小線、通学西小線、清川・市民病院線の運行	利用者が落ち込んでいる三重町において利用促進策として、「大人の社会見学」という社会実験を引き続き実施し、三重地域の利用促進につなげた。	A	B		
		(コミュニティバスの運行) ＜緒方町＞ 小富士線、上緒方・小富士線、上緒方線、長谷川・南部線、長谷川線、南部東線、南部西線の運行	利用者が落ち込んでいる三重町において利用促進策として、「大人の社会見学」という社会実験を引き続き実施し、三重地域の利用促進につなげた。	A	B		
		(コミュニティバスの運行) ＜朝池町＞ 朝池・市民病院線、近池・普光寺線、北部幹線、鳥屋線、綿田線、臼木線、小川野・志屋線、梨原線、南部	利用者が落ち込んでいる三重町において利用促進策として、「大人の社会見学」という社会実験を引き続き実施し、三重地域の利用促進につなげた。	A	B		
		(コミュニティバスの運行) ＜大野町＞ 貴原線、岩杉線、古殿線、藤浪線、沢田線、牧原・広戸線、木浦畑線、田中・市民病院線の運行	利用者が落ち込んでいる三重町において利用促進策として、「大人の社会見学」という社会実験を引き続き実施し、三重地域の利用促進につなげた。	A	B		
		(コミュニティバスの運行) ＜千歳町＞ 山・前田線、高柴線、石田・大高線、船田線の運行	利用者が落ち込んでいる三重町において利用促進策として、「大人の社会見学」という社会実験を引き続き実施し、三重地域の利用促進につなげた。	A	B		
		(コミュニティバスの運行) ＜犬飼町＞ 宇津尾木線、高津原線、西寒田線、田原・戸上線の運行	利用者が落ち込んでいる三重町において利用促進策として、「大人の社会見学」という社会実験を引き続き実施し、三重地域の利用促進につなげた。	A	B		
		(あいのりタクシーの運行) ＜三重町＞ 南部線、東部線、西部・白山線の運行 ＜清川町＞ 牧子線、合川線の運行	モニタリングの継続実施により利用状況の把握に努めた。	A	B		

国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 岐部線 [申請番号1]	伊美～上岐部 (国見中経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 利用者への聴き取り調査も引き続き実施した。	A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。 (特記事項)R4年度より国見町内小学校の統合予定あり。	評価の指数は、年間輸送人員、市内の路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布や市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演などの広報活動を実施するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 新型コロナウイルス感染症拡大により、学校が臨時休校となり通学利用者の減少で目標値を下回っている系統があることからWith/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。また、利用者ニーズの把握に努めることにより協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。
	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号2]	国東～竹田津港 (伊美経由)		A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。 (特記事項)R4年度より国見町内小学校の統合予定あり。	
	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号3]	国東～伊美 (国見中経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。	
	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号4]	中の迫～伊美小 (岐部経由)		A	C	地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。	
	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号5]	国東～伊美 (小原経由)		A	C	利用者のニーズを調査するなどし、ダイヤ調整を事業者と協議検討する。地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。	
	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号6]	国東～伊美 (伊美港経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。	
	国東観光バス㈱ 赤根線 [申請番号7]	伊美～赤根 (国見中町経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。 (特記事項)R4年度より国見町内小学校の統合予定あり。	
	国東観光バス㈱ 西方寺線 [申請番号8]	伊美～西方寺 (国見中町経由)		A	C	地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。(特記事項)R4年度より国見町内小学校の統合予定あり。	
	国東観光バス㈱ 豊崎線 [申請番号9]	国東～福川 (国中・小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。	
	国東観光バス㈱ 豊崎線 [申請番号10]	国東～福川 (小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。	
	国東観光バス㈱ 上国崎線 [申請番号11]	国東～上成仏 (小原経由)		A	C	地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。	
	国東観光バス㈱ 上国崎線 [申請番号12]	国東～上成仏 (国中・小原経由)		A	C	令和2年度末をもって廃線、3年度よりコミバス転換予定。住民説明会実施済。	
	国東観光バス㈱ 文珠線 [申請番号13]	国東～文珠 (小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。	
	国東観光バス㈱ 文珠線 [申請番号14]	国東～文珠 (国中・小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。	
	国東観光バス㈱ 岩戸寺線 [申請番号15]	国東～岩戸寺上 (国中・小原経由)		A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。	
	国東観光バス㈱ 岩戸寺線 [申請番号16]	国東～岩戸寺上 (小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。	

日出町生活交通確保維持協議会	日出町	豊岡線	(九州運輸局評価結果) 評価の指数は、1便当たりの利用者数。 毎年3月に町内全自治区長に要望調査を実施し、路線再編、バス停の新設など利用促進に取り組みられていることを評価します。	A	B	目標は達成できたものの利用者は全路線中では少ないため、利用者のニーズ等を分析し、また、地区への周知活動なども行いながら、利用しやすいコミュニティバスを目指す。	評価の指数は、1便当たりの利用者数。 毎年3月に町内全自治区長に要望調査を実施し、要望のあった町中心部の施設内にコミュニティバスのバス停を新設し利便性を図るなど、利用促進に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進められるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知することを期待します。
		藤原赤松線	自己評価については、公共交通の利用促進に取り組まれ、豊岡線他8系統が目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進められるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	A	A	さらなる交通空白地解消のために、デマンド型地域交通サービスの実証実験を行っている。 ※上記実証実験のため、R2. 10～R3. 9の間は運休中	
		藤原一北線	(反映状況) 評価の指標を1便当たりの利用者数(平均値)とし、目標達成したものについても、引き続きニーズ調査や利用実態調査を行うとともに、協議会において積極的に情報共有・情報交換を行います。	A	A	目標は達成できたものの利用者のニーズ等を分析するとともに、地区への周知活動なども行いながら、さらに利用しやすいコミュニティバスを目指す。	
		川崎線		A	A	目標は達成できたものの利用者のニーズ等を分析するとともに、地区への周知活動なども行いながら、さらに利用しやすいコミュニティバスを目指す。	
		南端線		A	B	令和元年10月より廃校となった南端小中学校の利用児童・生徒の乗車を無料としたことにより、児童・生徒の利用も多い。 新型コロナウイルス感染症による休校等もあり利用者が減少したが、感染症収束後は元の水準以上の利用に回復するよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。	
		大神線		A	B	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後には元の水準以上の利用に回復するよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。	
	国東観光バス	牧の内線		A	B	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後には元の水準以上の利用に回復するよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。	
		平原線		A	B	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後には元の水準以上の利用に回復するよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。	
		軒の井線		A	B	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後には元の水準以上の利用に回復するよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。	
		深江線		A	B	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後には元の水準以上の利用に回復するよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。	
		小深江線		A	B	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後には元の水準以上の利用に回復するよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。	
		真那井線		A	B	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後には元の水準以上の利用に回復するよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。	

大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 (1)弓立ルート(通常便:戸次)	弓立～戸次の運行	(平成30年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。利用者が参加する「地域検討会」を開催し、地域の実情や利用者ニーズの変化に応じた運行計画の見直しを実施することにより利便性向上に取り組まれていることを評価します。	A	B	●路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続して開催し、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行い、利用者・交通事業者・行政との協働で、以下の事項の検討に取り組む。 ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズ ・次年度の運行計画 ・利用促進 ●引き続き、利用者の利便性向上と、地域への運行の周知を図るため、停留所標柱やベンチを設置した停留所を拡大する。 ●自治会や自治会長などへの資料やチラシ等の配布、自治会長が集まる会議での制度説明、市報等を通じて制度の周知を図り、利用者の増加を図る。	評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を路線ごとに開催し、利用状況の確認及び運行日・時刻の見直しを行い、また、バス事業者とのワーキング会議などをもとに、利用者数の増加に向け沿線住民を対象とした、バス乗り方教室や時刻表の配布を実施し、幹線との乗り継ぎ時刻の調整を図るなど、利用促進に取り組まれていることを評価します。 ①年間利用者数、②目標稼働率の目標が、新型コロナウイルス感染症の影響で達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。今後について、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。 また、引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことにより持続可能な旅客運送サービスの提供の確保がなされることを期待します。
大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 (2)弓立ルート(通学便:戸次)	弓立～戸次の運行	4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数は目標を達成している。				
大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 (3)弓立ルート(通常便:判田)	弓立～判田局前の運行	自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。				
オーケーはとタクシー株式会社 大分タクシー株式会社 (4)赤仁田ルート	赤仁田～判田局前の運行	(反映状況) 地域検討会・説明会を行い、利用者から出た意見に基づき、運行ルート・運行時刻表を設定した。さらに、停留所の増設に加え、要望のあった場所にベンチを設置するなど、利便性の向上に努めた。また、目標未達に加え、目標達成したものについても分析を行い、自己評価に盛り込んだ。				
大分タクシー株式会社 オーケーはとタクシー株式会社 (5)椋原ルート	椋原～判田局前の運行					
大分タクシー株式会社 オーケーはとタクシー株式会社 (6)中野ルート	中野～戸次の運行					
大分シティタクシー株式会社 (7)延命寺ルート	延命寺～坂ノ市の運行					
クリスタルシティタクシー株式会社 (8)市尾ルート	木田南部～坂ノ市の運行					
クリスタルシティタクシー株式会社 (9)屋山ルート	屋山～坂ノ市の運行					
クリスタルシティタクシー株式会社 (10)折立ルート	折立～坂の市小学校前の運行					
クリスタルシティタクシー株式会社 (11)道尻ルート	道尻～坂の市小学校前の運行					
クリスタルシティタクシー株式会社 (12)一木ルート	一木～中向・浜入口の運行					

大分市地域公共交通協議会	ワーカーズコープタクシー有限会社 (13)木佐上ルート(馬場:往路)	木佐上～馬場の運行				
	ワーカーズコープタクシー有限会社 (14)木佐上ルート(馬場:復路)	木佐上～馬場の運行				
	ワーカーズコープタクシー有限会社 (15)木佐上ルート(神崎中学校前:往路)	木佐上～神崎中学校前の運行				
	ワーカーズコープタクシー有限会社 (16)木佐上ルート(神崎中学校前:復路)	木佐上～神崎中学校前の運行				
	ワーカーズコープタクシー有限会社 (17)大志生木ルート	大志生木1～大志生木の運行				
	クリスタルシティタクシー株式会社 (18)大黒ルート	大黒～佐賀関の運行				
	臼津交通株式会社 (19)臼関線	佐賀関～臼杵 (補助対象:大分市内のみ)	<p>(平成30年度の事業評価結果) 平成30年度は事業を開始していなかったため、事業評価なし (臼津交通:平成31年2月～事業開始) (大分交通:令和2年4月～事業開始)</p>	A	C	<p>●沿線住民への意識づけ 沿線住民からは、バスが廃止されると困るという意見があげられているが、実際にはバスを利用せず自家用車で移動している人が多い。バスの乗り方教室等を開催し、バス路線の維持のためにはバスを利用しなければならないという意識づけを行い、移動手段の転換による利用者の増加を図る。</p> <p>●沿線住民への周知 沿線住民に時刻表を配布</p> <p>●沿線施設との連携、利便性向上 バスで外出する目的地となる沿線施設(商業施設や病院)へ帰りのバスの時刻表を設置</p>
	臼津交通株式会社 (20)臼関線	佐賀関～下浦				
	大分交通株式会社 (21)机張原線	5号地大交車庫前～田室町～机張原				
	大分交通株式会社 (22)杵原線	5号地大交車庫前～田室町～杵原				
	大分交通株式会社 (23)机張原線	5号地大交車庫前～西春日町～机張原				
	大分交通株式会社 (24)杵原線	5号地大交車庫前～西春日町～杵原				
	大分交通株式会社 (25)杵原線	大分駅前～西春日町～杵原				
	大分交通株式会社 (26)机張原線	大分駅前～西春日町～机張原				
大分交通株式会社 (27)大分市内線	大分駅前～新川～中大山					
大分交通株式会社 (28)大分市内線	大分駅前～西春日町～下坂本					

中津市公共交通会議	大交北部バス(株)	申請番号1 路線バス事業 【永添線】 中津駅～万田～大貞車庫	市報やHP等を利用したPRや乗り方教室・マイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	C	乗車人数が著しく低下しているため、引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行っていくが、伸び悩み場合は、路線の見直し等を事業者とともに検討する。	評価の指数は、系統毎の輸送人員。毎年、市報やホームページ等を利用したPRやバスの乗り方教室を実施し、また、乗降調査を行い利用者の意見募集を行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、目標値を下回った要因を新型コロナウイルス感染症の影響のみとはせず、利用者の生活活動の分析やニーズの把握に努めることによりそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な旅客運送サービスの提供の確保されるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。
		申請番号2 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅～沖代町～野路	市報やHP等を利用したPRや乗り方教室・マイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	C	乗車人数が著しく低下しているため、引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行っていくが、伸び悩み場合は、路線の見直し等を事業者とともに検討する。	
		申請番号3 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅～沖代町～大貞車庫	市報やHP等を利用したPRや乗り方教室・マイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	C	乗車人数が著しく低下しているため、引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行っていくが、伸び悩み場合は、路線の見直し等を事業者とともに検討する。	
		申請番号4 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅～中津北高～大貞車庫	市報やHP等を利用したPRや乗り方教室・マイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	C	乗車人数が著しく低下しているため、引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行っていくが、伸び悩み場合は、路線の見直し等を事業者とともに検討する。	
		申請番号5 路線バス事業 【深萩線】 中津駅～イオン～上萩	市報やHP等を利用したPRや乗り方教室・マイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	A	1片道あたり輸送人員が3.5人と1運行当たりの乗車人員も多く、目標値も達成することができた。引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進やニーズの把握のための調査事業を行い、ニーズに沿った路線の見直しを検討する。	
		申請番号6 路線バス事業 【海岸中高線】 さ萩前～鍋島～中津駅	市報やHP等を利用したPRや乗り方教室・マイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	A	1片道あたり輸送人員が5.4人と1運行当たりの乗車人員も多く、目標値も達成することができた。引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進やニーズの把握のための調査事業を行い、ニーズに沿った路線の見直しを検討する。	
		申請番号7 路線バス事業 【田口線】 中津駅～イオン～八面山荘	市報やHP等を利用したPRや乗り方教室・マイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	B	1片道あたり輸送人員が3.5人と1運行当たりの乗車人員は安定しているが、目標値の達成できていない。引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進やニーズの把握のための調査事業を行い、ニーズに沿った路線の見直しを検討する。	
		申請番号8 コミュニティバス 【城井線】 平田診療所～明星ストア～平田診療所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	1片道あたり輸送人員が2.0を達成し、目標人数を達成することもできた。今後も輸送人員を維持できる様、利用促進や定期的な路線の見直し等を行う。	
		申請番号9 コミュニティバス 【川原口線】 旬菜館～津民診療所～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	1片道あたり輸送人員が5.8となり、目標も達成できた。今後も輸送人員を維持できるよう、マイ時刻表の普及等利用者の環境改善に努める。	
		申請番号10 コミュニティバス 【上ノ川内榎木線】 旬菜館～津民診療所～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	定期的に乗る人が、転居や施設への入居等の理由により4～5人減少したと思われることを踏まえて、乗ったことのない方への利用促進や、運行の質の向上のためのニーズの調査を行う。	
		申請番号11 コミュニティバス 【大島台金吉線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	1片道あたり輸送人員が3.5となり、目標も達成できた。今後も輸送人員を維持できるよう、マイ時刻表の普及等利用者の環境改善に努める。	
		申請番号12 コミュニティバス 【大島伊福線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	定期的に乗る人が、転居や施設への入居等の理由により1～2人減少したと思われることを踏まえて、乗ったことのない方への利用促進と、運行の質の向上のためのニーズの調査を行う。	
	1	耶馬溪交通(有)	申請番号13 コミュニティバス 【樋山路鎌城線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	

大交北部バス線	路線バス (1)乙女	運転手不足の影響から地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線の再編を行った。	A	B	運転手不足の影響から令和元年10月より路線バスの廃止・減便をせざるを得なくなったことから、コミュニティバスの見直しも併せて行った。 今後も有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展させていく。	評価の指数は、利用者数、前年度に引き続き、路線図を作成し、市内全戸に配布するなどの利用促進に取り組みされていることを評価します。 自己評価については、目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると思います。また、未達成の運行系統については、新型コロナウイルス感染症の影響が原因とされていることから、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な旅客運送サービスの提供確保がなされることを期待します。
	路線バス (2)豊州	運転手不足の影響から地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線の再編を行った。	A	A	運転手不足の影響から令和元年10月より路線バスの廃止・減便をせざるを得なくなったことから、コミュニティバスの見直しも併せて行った。 今後も有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展させていく。	
	路線バス (3)津房	運転手不足の影響から地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線の再編を行った。	A	A	運転手不足の影響から令和元年10月より路線バスの廃止・減便をせざるを得なくなったことから、コミュニティバスの見直しも併せて行った。 今後も有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展させていく。	
	路線バス (4)明治	運転手不足の影響から地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線の再編を行った。	A	B	運転手不足の影響から令和元年10月より路線バスの廃止・減便をせざるを得なくなったことから、コミュニティバスの見直しも併せて行った。 今後も有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展させていく。	
	路線バス (5)宇佐参宮	運転手不足の影響から地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線の再編を行った。	A	B	運転手不足の影響から令和元年10月より路線バスの廃止・減便をせざるを得なくなったことから、コミュニティバスの見直しも併せて行った。 今後も有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展させていく。	
	コミュニティバス (6)中山・新貝	これまで1日1往復の運行を基本としていたが、利便性向上のため、1日1.5往復とし増便を行った。	A	B	運転手不足の影響から令和元年10月より路線バスの廃止・減便をせざるを得なくなったことから、コミュニティバスの見直しも併せて行った。 今後も有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展させていく。	
	コミュニティバス (7)大内・広谷	これまで1日1往復の運行を基本としていたが、利便性向上のため、1日1.5往復とし増便を行った。	A	A	運転手不足の影響から令和元年10月より路線バスの廃止・減便をせざるを得なくなったことから、コミュニティバスの見直しも併せて行った。 今後も有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展させていく。	
	コミュニティバス (8)長洲金屋	これまで1日1往復の運行を基本としていたが、利便性向上のため、1日1.5往復とし増便を行った。	A	B	運転手不足の影響から令和元年10月より路線バスの廃止・減便をせざるを得なくなったことから、コミュニティバスの見直しも併せて行った。 今後も有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展させていく。	

豊後高田市地域公共交通会議	宇佐参宮タクシー(有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	上野線 上野～健康交流センター花いろ～ 商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	B	前年をやや下回る利用であったが、安定した利用が見込まれる系統である。 自治会や地域住民、運行事業者からの意見聴取を行いながら、効果的な運行を図る。	<p>評価の指標は、1便あたりの利用者数及び1人あたりの財政負担額。</p> <p>運行事業者と共同した、便別、停留所別の乗降調査の実施、個人向けの乗継ぎダイヤを掲載したマイ時刻表を作成及び市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の広報媒体を活用し情報発信を行うなど利用促進に努められていることを評価します。</p> <p>自己評価は、目標値を下回った要因を新型コロナウイルス感染症の影響のみとはせず、利用者の生活活動の分析やニーズの把握が行われることを期待します。</p> <p>引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な旅客運送サービスの提供確保がなされることを期待します。</p>
		並石線 大日大橋～健康交流センター花いろ～ 商工会議所		A	A	利用者数が多い路線であり、利用率は目標値を達成した。今後も地域住民の意見を反映しながら、さらなる利用拡大と効果的な運行に努める。	
		長岩屋線 三畑公民館～健康交流センター花いろ～ 商工会議所		A	C	人口減が進んでいる地域であるが、運転免許を持たない高齢者の貴重な生活交通手段となっている。利用実態の把握に努めるとともに、利用者の意向調査等を行い効果的な運行を検討していく。	
		草池線 長添～スーパーあさの～ 商工会議所		A	C	利用者数は減少傾向にあるが、運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、利用実態の把握に努め、効果的な運行を検討していく。また、路線バスと接続を考慮した運行となるよう調整していく。	
		黒土線 小河内～スバランド真玉～スーパー またま		A	B	利用者数は減少傾向にあるが、高齢者の生活に欠かせない交通手段である。今後も地域住民の意見を聞き取り反映しながら、さらなる利用拡大と効果的な運行に努める。	
		臼野線 山畑～大平公民館～スーパー またま		A	B	人口が少ない地域であるが、目標値は達成できた。市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎも多く、今後も利用促進に努める。	
	香国タクシー	熊野線 田染平野～健康交流センター花いろ～ 商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	B	利用者の多い路線であるが、わずかに前年の利用を下回った。今後も地域住民の意見を反映しながら、さらなる利用拡大と効果的な運行に努める。	
		夷線 夷谷温泉～西夷公民館～10-1構造 改善センター		A	B	前年を上回る利用があり、一人あたりの財政負担額も減少した。利用者数少ない地域であるが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も利用促進に努める。	
		小畑線 夷谷温泉～三浦郵便局～サンクリ ニック		A	A	利用率については前年から改善することができた。利用者数は少ないが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も利用促進に努める。	
		羽根線 夷谷温泉～羽根上公民館～サンク リニック		A	A	前年を上回る利用があり、一人あたりの財政負担額も減少した。利用者数の少ない地域であるが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も利用促進に努める。	
	宇佐参宮タクシー(有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	呉崎線(デマンド型) 呉崎11・12～呉崎地域～ 商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	A	利用者数の減少により路線定期運行からデマンド運行に移行した系統である。 新たな利用者登録があり、前年を上回る利用があった。今後も利用実績、利用者の意向調査などを実施し利用促進を図る。	
		西真玉線(デマンド型) 湯原上～西真玉地域～スーパー またま		A	B	利用者数の減少により路線定期運行からデマンド運行に移行した系統である。 利用者はわずかであるが、前年を上回る利用があった。今後も利用実態の把握、利用者の意向調査などを実施し、効果的な運行方法を検討する必要がある。	

由布市地域公共交通活性化協議会	大分バス株式会社	阿蘇野コース	本系統の利用地域は地元商店やガソリンスタンドなどが撤退するなど特に高齢化が進行している地域である。地域の足を確保維持するために利用促進のための周知や利便性向上のための検討を行った。	A	B	今期については、コロナウイルス及び令和2年7月豪雨による影響を受け利用者数が減少した結果であったが、アフターコロナを見据え、路線別時刻表の活用や利用者への聞き取り調査、周知活動を実施し、正確な利用者ニーズの把握に努め、目標達成に向けた取組を進める。	評価の指数は、年間輸送人員。前年度に引き続き、JRへの乗り継ぎ時刻及び各地域ごとの路線図を掲載した時刻表を作成・市内全戸に配布し、由布市専用アプリを活用したコミュニティバスの情報提供を行い、また、運転免許を自主返納した70歳以上の方への健康教室参加者へ無料乗車券を交付するなど、利用促進に取り組まれていることを評価します。
		シャトル(大病院⇄庄内庁舎)	シャトルについては、毎週水曜日の水中運動利用者へ無料乗車券の交付を行うことで利用促進を行った。	A	B		自己評価については、新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨災害による影響を受け利用者減少となったが、With/Aftarコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。
		スクールバス阿蘇野コース	スクールバスについては、入学予定の児童へ利用に関するお知らせを各小学校で行うことで利用の呼びかけを行った。	A	B	今期については、コロナウイルス及び令和2年7月豪雨による影響を色濃く受けた結果であったが、コロナの影響が比較的低いと思われる10～12月期では前年比で利用者数が増加になるなどプラスの要因もあった。今後はアフターコロナを見据え、路線別時刻表活用や利用者の聞き取り調査、周知活動を実施し、正確な利用者ニーズ把握に努め、目標達成に向けた取組を進める。	自己評価については、新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨災害による影響を受け利用者減少となったが、With/Aftarコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。
		スクールバス大津留コース	スクールバスについては、入学予定の児童へ利用に関するお知らせを各小学校で行うことで利用の呼びかけを行った。	A	B		また、今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。
竹田市地域公共交通確保維持協議会	大野竹田バス株式会社	高伏・上町線	観光関連と連携して取り組む。JR九州・熊本県阿蘇市との連携により、各種事業を実施し、市内路線についても、利用促進に努めた。	B	C	この路線は、観光地である長湯温泉に接続しており、駅から最も早く接続する。観光関連者と協議をしながら、ダイヤ・路線の見直しを行う。アフターコロナを見据えて利用促進を実施する。観光地への輸送路線として再編を検討する。	評価の指数は、輸送人員。観光関連の取り組みや、JR九州・熊本県阿蘇市との連携により、各種事業を実施し利用促進に取り組まれていることを評価します。
		甘椋線	観光関連と連携して取り組む。JR九州・熊本県阿蘇市との連携により、各種事業を実施し、市内路線についても、利用促進に努めた。	B	C	この路線は学生の通学で利用されていることもあり、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった。学生の利用を考えたダイヤ編成や、商業施設への移送の中心路線であり、利用しやすいよう再編を検討する。アフターコロナを見据えての利用促進を行う。	自己評価については、新型コロナウイルス感染症の影響や、JR豊肥線の減便などが利用者減少の原因となったが、With/Aftarコロナを見据え、地域公共交通の確保・維持に向けて、観光利用と住民利用のバランスを考慮したうえで、両者に配慮した改善策が実施されることを期待します。
	中央タクシー株式会社 竹田合同タクシー株式会社	姫岳コース・宮砥コース	網計画の進捗管理を適正に行い、運行事業者、地域等と連携し、利用促進に取り組む。利用者、目的地等々のデータ分析を実施し、その結果を事業に反映した。	A	C	高齢化が著しい中山間地域での運行である。路線維持のためにも、引き続き事業者、地域と連携して利用促進に取り組む。	引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
別府市公共交通活性化協議会	大分交通株式会社	関の江団地線亀川駅～亀川新川～関の江車庫前	運行ルートやダイヤの見直し、便数の増減に向けて検討した。	B	C	乗降調査、ICカード利用データ等を用い、月別利用実績分析を実施。フィーダー系統維持のため、利用者の増加に向け、コロナ対策等新しい生活様式に向けた施策及び利用者向けコロナ対策実施の告知、運行ルートやダイヤの見直し、便数の増減について検討し改善を進める。	評価の指数は、年間輸送人員。70歳以上の高齢者を対象としたおでかけ支援事業の実施や新型コロナウイルス感染症予防対策としてかわら版にてお知らせするなど利用促進に取り組まれていることに評価します。

都城市地域公共交通会議	有限会社 銀星タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ○運行区間：都城市山之口町 北東部⇄中心部 ○運行日：火・金曜日 ○運行回数：1日往復3回※デマンド運行 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区中心部で開催される年金朝市、公民館サークル等での広報啓発、運転免許センター・包括支援センターと連携したチラシの配布など、利用の少ない地区中心部住民の利用促進を強化した。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新規利用者の開拓や既存利用者の利用回数を増やすため、定期運賃の導入を検討する。 ○ 路線バスとの接続強化のため、既存施設を活用した待合環境の向上を図る。 	<p>評価の指標は、各系統の運行日1日当たりの利用者数、まちづくり協議会と地域包括支援センターが連携した地域住民への声掛け・外出促進など、新規利用者の獲得に向けた取り組みを評価します。目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。今後も、平成29年3月に作成された地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○運行区間：都城市山之口町 南部⇄中心部 ○運行日：月・水・木曜日 ○運行回数：1日往復3回※デマンド運行 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区中心部で開催される年金朝市、公民館サークル等での広報啓発、運転免許センター・包括支援センターと連携したチラシの配布など、利用の少ない地区中心部住民の利用促進を強化した。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新規利用者の開拓や既存利用者の利用回数を増やすため、定期運賃の導入を検討する。 ○ 路線バスとの接続強化のため、既存施設を活用した待合環境の向上を図る。 	
	都城市	<ul style="list-style-type: none"> ○運行区間：都城市庄内地区 東西町平田乙房線 ○運行日：月・火・木・金曜日 ○運行回数：1日往復2回 ※路線定期 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくり協議会と地域包括支援センターが連携した地域住民への声掛けなど、新規利用者の開拓に努めた。 ○ データ整備を行い、経路検索システムに登録された。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新規利用者開拓のための経路変更を検討する。 ○ 路線バスとの接続強化のため、既存施設を活用した待合環境の向上を図る。 	
	都城市	<ul style="list-style-type: none"> ○運行区間：都城市庄内地区 関之尾川崎菓子野線 ○運行日：月・火・木・金曜日 ○運行回数：1日往復2回 ※路線定期 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくり協議会と地域包括支援センターが連携した地域住民への声掛けなど、新規利用者の開拓に努めた。 ○ データ整備を行い、経路検索システムに登録された。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 隣接する西岳地区の住民にも利用啓発を行い、路線バスと連動した利用促進を図る。 ○ 路線バスとの接続強化のため、既存施設を活用した待合環境の向上を図る。 	
	都城市地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> ◆車両減価償却費等国庫補助金 ※山田デマンド型乗合タクシー で運行する都城市自家用有償運送車両2台を導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が利用しやすい乗降ステップや手すり等を有した車両を導入 ○広報誌やチラシの全戸配布、利用対象となる高齢者宅を訪問などとして利用促進を行った。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区内の温泉施設での健康教室等の実施など、温泉施設と連動した利用促進を進める。 	

延岡地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	①美々地線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおり、コミュニティバス・乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 ・⑧において地域住民を対象とした座談会を実施し、R2年7月から経路変更を行った。	A	C	・特に利用が低迷しているC評価の路線において、利用者を集めた地域座談会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバスの待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。	評価の指標は、各系統の1便当たりの乗車人数。低迷路線沿線地域住民を対象とした座談会開催等によりニーズに応じたダイヤ変更や路線変更の実施(乗合タクシー)、利用者の利便性に即したダイヤ改正の実施(まちなか循環バス)、利用促進ガイドブックの配布、キャンペーン実施など、利用促進の取り組みは高く評価できます。目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができてお考えます。今後も、平成31年3月に策定した地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
		②鹿川線					
		③二股線					
		④猿渡線					
		⑤三ヶ村線					
		⑥大保下線					
		⑦下崎・笠下黒原線					
		⑧片内・菅原線					
		⑨上中尾線					
	〈共同運行〉 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー ○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統	⑩下塚線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおり、コミュニティバス・乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 ・⑪において地域からの要望により、R2年7月から経路変更を行った。 ・⑫において地域住民を対象とした座談会を実施し、R2年4月からダイヤ改正を行った。	A	B		
		⑪市尾内線					
		⑫三川内線					
		⑬上三輪・貝の畑～岡富線					
		⑭安井・神戸～レーヨン線					
		⑮須佐～大武線					
	延岡市 ※自家用有償旅客運送 ○北川線4系統	⑯上赤線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおり、まちなか循環バスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	B		
⑰下塚線							
⑱瀬口線							
宮崎交通㈱ ○1系統	⑲家田線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおり、まちなか循環バスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 ・利用者の利便性に即したダイヤ改正をR1年10月に実施した。 ・沿線の飲食店や観光施設を紹介したガイドブックを制作し、掲載店舗への設置や全小学校への配布を行った。 ・延岡市商店会連合会との連携により、路線バス(まちなか循環バス含む)に乗って買い物をする賞品が当たるキャンペーンを8月～9月に実施した。同時に、小学生の運賃無料期間(6月中)の周知を行った。	A	C			
	⑳まちなか循環バス						
小林地域公共交通活性化協議会	小林市	(1)小林－上九瀬線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	須木区域唯一の路線であり、通学で利用している利用者がいるため、維持・存続が不可欠である。区域住民と連携して新規利用者の開拓を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。 時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。 運行経路の見直しやダイヤ改正等により、地域のニーズに沿った路線への転換を図る。 (2)と同様 (2)と同様 (3)と同様 (2)と同様 (3)と同様 (3)と同様 (3)と同様 複数の病院や商業施設を経由する路線であり、主要施設を循環するバスとして維持・存続が不可欠である。引き続き、イベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。 (3)と同様	
		(2)小林－鶴野循環線					
		(3)小林－岡原循環線					
		(4)小林－種畜牧場循環線					
		(5)小林－南ヶ丘線					
		(6)小林－環野－千歳線					
		(7)小林－運動公園循環線					
		(8)小林－深草循環線					
		(9)小林－大出水循環線					
		(10)小林－三松循環線					
		(11)小林－上原循環線					

日向市地域公共交通会議	日向市	東1コース (イオンタウン日向・楡の山)		B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。 ・運転免許証の自主返納制度や制限運転制度について周知し、公共交通の利用増へつなげる。 ・路線バスと連携したPR活動等に力を入れる。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・美々津日向市駅線については、温泉施設休館等、更なる利用者数の減少が予想されるが、今後更なる利用啓発に努める。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 	<p>評価の指標は、各系統ごとの年間利用者数。コロナ禍の中においても、利用者の要望を踏まえ運転などの意見も聴きながら運行ルートの改善により、待合環境・安全運行の向上に努められていることを評価します。目標の一部が未達成であるものの好調な系統もあり、新型コロナウイルス感染症の影響の中でも、平成29年10月に作成した利便増進実施計画(日向・東臼杵地域公共交通再編実施計画)に基づく再編や利便の増進により、更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービスの提供の確保されることを期待します。</p>	
		東2コース1(イオンタウン日向・水ヶ公園・崎浦)		B	A			
		西1コース (比良町・小原)	・後期高齢者説明会(75歳対象)等での住民への周知活動は、コロナ禍で対面とはいかなかったが、保険証送付時にチラシを同封する等に対応した。	B	B			
		西2コース (本谷・新財市)		B	B			
		南1コース1 (比良町・向洋台)	・経路検索システムへの情報提供により、インターネット上における経路検索の利便性向上を図った。	B	A			
		南1コース2 (比良町・向洋台・山の田)	・小学生の校外学習に市民バスを利用してもらい、市民バスに対する意識の醸成を図った。	B	A			
		南2コース (長江団地入口・往還)		B	B			
		北1コース (花ヶ丘・日向台・亀崎)	・北2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。	B	C			
		北2コース (大王谷・堀木)		B	B			
		美々津日向市駅線コース1		B	B			
		美々津日向市駅線コース2		B	B			
		美々津日向市駅線コース3		B	B			
		田野羽坂線		B	B			
		仲深坪谷越表線	・コロナ禍で対面とはいかなかったが、75歳到達者に対して、後期高齢者医療保険証送付時にチラシを同封する等周知を図った。	B	B			
福瀬小野田線		B	B					
仲深坪谷線		B	B					
鶴野内迫野内八重原線		B	B					
寺迫庭田線	・コロナ禍で対面とはいかなかったが、75歳到達者に対して、後期高齢者医療保険証送付時にチラシを同封する等周知を図った。	B	A					
飯谷田の原線		B	C					
龜毛糶木線		B	C					
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社	(1)平野・石尾線 西都ショッピングセンター～石尾(専門学校経由あり)	令和2年度から一部ダイヤの変更を行った。これにあわせて新たにチラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。	A	B	<p>定期的に見直しを行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。</p> <p>定期的に見直しを行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。なお、児童の下校利用の需要がない場合は、一般の方が利用しやすいダイヤへ見直しを行う予定である。</p> <p>定期的に見直しを行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。</p> <p>令和3年度から利用の少ない便を減便し、路線の効率化を図っている。今後は利用状況を勘案し、運行日数の見直しを検討する。</p> <p>令和3年度から利用の少ない便を減便し、路線の効率化を図っている。今後は利用状況を勘案し、運行日数の見直しを検討する。</p>	<p>評価の指標は、各系統ごとの年間利用者数。目標値を大きく下回った要因の大部分を新型コロナウイルス感染症の影響のみとせず、引き続き利用者の生活行動の分析やニーズの把握が行われること、引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されること、協議会が日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有して正しく認識してもらうための場として活用されること、を期待します。</p>	
		(2)長谷線 西都ショッピングセンター～上長谷		A	A			
		(3)山田・上沖線 西都ショッピングセンター～中山	新たにチラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。	A	B			
		(4)岩爪線 西都ショッピングセンター～岩爪	新たにチラシを作成し、対象地区に配布するなど、利用者への情報提供を行った。	A	C			
		(5)長園線 西都ショッピングセンター～長園	新たにチラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。	A	C			
		(6)岩井谷・並木線 並木～西都ショッピングセンター	令和2年度から交通空白地である今井・赤池集落を経由するよう経路の変更を行った。これにあわせて新たにチラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。	A	C			
		(7)穂北線 西都ショッピングセンター～尾吐	新たにチラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	C			
		宮崎タクシー株式会社	(8)春日・大口川線 春日公民館～西都バスセンター	チラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行ったほか、地元組織を通じて積極的な利用を働きかけた。	A			C
			(9)竹尾・平原線 平原公民館～西都バスセンター	チラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。	A			C
			(10)加勢・小豆野線 小豆野～西都バスセンター		A			C
高原町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	定期路線運行: 小久保線 [月・木] 8:30から11:47まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。	A	C	<p>今後も利用状況の把握、利用者や事業者等への意見聴取を継続的にを行い、必要に応じた、ルート・ダイヤ等の見直し、検討を行う。</p> <p>またこれからも、公共交通に対する町民への関心を高めるため、広報紙への情報掲載(利用実績等)を継続して行っていく。</p> <p>一方で、改良の効果がみられず、利用者数が伸びない路線は、廃線も含めた運行形態の有り方を、沿線区と協議していく。</p>	<p>評価の指標は、各系統ごとの年間利用者数。利用実績、沿線住民・事業者の意見などを基にした運行経路・時刻の改善、交通空白地域でのデマンド実証運行の実施、公共交通の現状の周知に町広報紙への公共交通の現状を掲載、作成されたポケット時刻表の駅・公共施設等で配布など、利用促進に取り組まれる姿勢を高く評価します。目標値を大きく下回った要因を新型コロナウイルス感染症の影響のみとせず、利用者の生活行動の分析やニーズの把握が行われること、今後も令和元年9月に作成された地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づいた持続可能な旅客運送サービスが提供されること、を期待します。</p>	
		定期路線運行: 後川内線 [火・金・土] 8:15から15:25まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤ・ルートによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。	A	C			
		定期路線運行: 湯之元浦半田線 [水・土] 8:20から11:57まで		A	A			
		不定期路線運行: 常盤台線 [月・木] 8:29から11:43まで	利用者・事業者への意見聴取内容や現状の利用状況を踏まえて、不定期路線として運行を継続した。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	C			

高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	竹鳩線 (竹鳩～めいりんの湯)	公共交通マップの更新や、町のお知らせ文書やホームページでの運行状況の周知を継続して実施した。例年取り組んでいるバスの乗り方教室については計画をするも新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け実施することができなかった。	A	C	利用者・利用目的が固定化されているため、新規利用者の増加を目指し、バスの乗り方教室や出前講座を行うことで、これまでバスに乗ることがなかった人たちにも、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行う。 また、なでしこバスの運行形態の見直しを検討し、住民の利用ニーズに即した路線の設定や情報の周知方法を検討していく。	評価の指標は、各系統ごとの年間利用者数、町ホームページに掲載されている「高鍋町公共交通マップ」およびなでしこバスの運行状況等を更新されるなど、新型コロナウイルス感染症感染拡大の中でも実施可能な施策に取り組みられる姿勢を評価します。目標値を大きく下回った要因を新型コロナウイルス感染症の影響のみとはせず、利用者の生活行動の分析やニーズの把握が行われること、今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されること、協議会において地方公共団体が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されること、を期待します。
		老瀬線 (老瀬～めいりんの湯)		A	C		
		蚊口浜線 (蚊口浜～めいりんの湯)		A	C		
		堀の内団地線 (堀の内団地～めいりんの湯)		A	C		
川南町地域公共交通会議	三和交通株式会社	定期路線運行:尾鈴通浜線 (運行時間7:30～8:30)	バス停への時刻表の拡大設置を行った。町内団体(自治公民館・長寿会・民生委員・社協等)への周知及び説明を行った。	A	A	新型コロナウイルスの影響もあったが、利用者が若干増加した。今後も利用者の利用状況や意見等を継続的に検討を行い、ダイヤ等の見直し・検討を行うとともに、利用促進や定着にむけた取組を行っている。できる限りの新型コロナウイルス対策を行いながら運行する。	評価の指標は、路線定期運行全体での月間利用者数、区域運行全体での月間利用者数および利用登録者数、小学生への乗り方教室の実施、免許返納対策・高齢者利用推進対策事業の計画(R2年10月より開始)など、利用促進に取り組まれる姿勢を評価します。新型コロナウイルス感染症の影響の中、公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。来年度以降は、単年度での目標の設定(達成)に加え、長期的な視点による目標の設定を検討されることを期待します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。今後、協議会において地方公共団体が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。
		オンデマンド運行:町内全域 (運行時間8:40～18:00)	町内各団体(自治公民館・長寿会・民生委員・社協等)への周知及び説明を行った。町立小学校(5校)に対しロンドンバスを活用した乗り方教室を開催した。	A	A		
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会日向支部	①牧山線	大迫・庵川線の一部のバス停のうち乗降者がいない状態が長期続いていた箇所は、予約制での運行に切り替えた。 牧山線及び大迫・庵川線の沿線で乗降者が少ない地域において、住民アンケートを実施し、公共交通に関する住民の意向調査を行った。	A	A	現在の利用状況を維持する。	評価の指標は、各系統の1便当たり利用者数および各系統の収支率(20%以上)。利用状況に応じた運行形態の見直し、沿線住民への意向調査の実施、利用促進チラシの配布など、利用促進に取り組まれる姿勢を評価します。目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。今後も、平成29年5月に作成された日向・東臼杵地域公共交通再編実施計画に基づく再編や利便の増進により、更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービスの提供の確保されることを期待します。
		②大迫・庵川線		A	B	利用者が多い便と少ない便が明確に分かれているため、ダイヤ変更による利用促進を検討し、収支率向上を図る。	
		③竹名・中村線		A	B	既存の運行路線を見直すことにより、利用者の利便性の向上、経費の削減ができないか検討する。	
		④中山・五十鈴線		A	B		
		⑤大池・中山線		A	B		
		⑥本町巡回線		A	B	令和3年度は路線変更による庁舎敷地内への乗入れを行う予定であり、それにより利用者増を図る。	
		⑦三ヶ瀬線(町内行きコース)		C	C	運行ダイヤの変更により、付近の廃止代替路線バスとの接続を改善し、利用促進を図る。	

薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株) 鹿児島交通(株)	祐答院～川内駅 (市内横断シャトルバス)	入来デマンド交通の説明会において、市内横断シャトルバスについても紹介を行った。 また、交通日より市HP等で高齢者の運転免許証自主返納者への割引制度やバス乗車ICカードの案内を行い、利用促進を図った。	A	B	昨年度の利用人数と比較して祐答院～川内駅は0.7人、いむた清風～川内駅は0.2人の減となった。 今後の利用人数の増加に向け、引き続き出前講座や市HP等で、高齢者の運転免許証自主返納者に対する運賃割引制度や沿線案内をからめた路線紹介等、利用啓発・利用促進により一層努めていくことで新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んでしまった需要の回復を図る。 また、沿線の人口減少率や新型コロナウイルス感染症による減少率を踏まえた適切な量的目標の設定に努める。	評価の指標は、路線別の1便あたりの利用者数。 市の広報誌やHP等で高齢者の運転免許証返納及び利用促進に向けた案内及び川内港シャトルバスと高速船鑑島のダイヤ等について、ネット検索可能なデータ化及び他の交通機関への円滑な乗り継ぎのためのダイヤ見直しは評価します。 自己評価については、目標が未達成であるものの、長期間に及び新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえれば、一定の評価ができると思います。
	鹿児島交通(株)	いむた清風～川内駅 (市内横断シャトルバス)		A	B		
	南国交通(株)	湯田・西方循環線(西回り) (北部循環バス)	交通日より市HP等で高齢者の運転免許証自主返納者への割引制度やバス共通乗車カードの案内を行い、利用促進を図った。	A	C	昨年度の利用人数と比較して湯田・西方循環線(西回り)は1.7人、湯田・西方循環線(東回り)は1.9人、城上・吉川線(西回り)は0.2人、城上・吉川線(東回り)は0.5人の減となり全ての系統で目標値を下回る形となった。 今後の利用人数の増加に向け、引き続き市HP等で高齢者の運転免許証自主返納者に対する運賃割引制度や沿線案内をからめた路線紹介等、利用啓発・利用促進により一層努めていくことで新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んだ需要の回復を図る。 また、沿線の人口減少率や新型コロナウイルス感染症による減少率を踏まえた適切な量的目標の設定に努める。	引き続き協議会が設定する今後の改善点を着実に推進し、鑑大橋が完成し観光客が増えている鑑島や本年8月に開所予定の川内駅東口の「SSプラザ」、川内・里、長浜の3港が国土交通省のみならずオアシスとして認定され、これらの地域での盛り上がり期待される中、With/Afterコロナを見据え、地域住民のみならず、観光利用者等多様なニーズを意識し、DMOなどの観光業界の意見も取り入れ、利用者増加に向けた路線・ダイヤの見直しなどもご検討頂き、持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。 また、昨年6月に活性化再生法が改正され、11月に改正法が施行された中、協議会において薩摩川内市が主体となり、幅広い関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。
	南国交通(株)	湯田・西方循環線(東回り) (北部循環バス)		A	C		
	南国交通(株)	城上・吉川循環線(西回り) (北部循環バス)		A	B		
	南国交通(株)	城上・吉川循環線(東回り) (北部循環バス)		A	B		
	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(国道回り) (川内港シャトルバス)	交通日より市HP等で高齢者の運転免許証自主返納者への割引制度やバス乗車ICカードの案内を行い、利用促進を図った。 川内港シャトルバスと高速船鑑島のダイヤ等についてGTFS-UPの作成及び経路検索事業者へのデータ提供を引き続き実施した。 また、他交通機関への乗り継ぎが円滑に行えるように川内港シャトルバスの川内駅到着時間の見直しを行った。	A	C	昨年度の利用人数と比較して、国道周りは2.3人、県道周りでは0.5人の減となった。 特に国道回りにおいて5月の利用人数は高速船鑑島の運休もあり前年比25%と大幅に減少し、以後戻りつつあるものの9月の利用人数は前年度比88%の利用にとどまっている。 今後も他の交通機関との接続を考慮し、経路検索事業者へのデータ提供を行うとともに、新たな利用者(観光客等)増と地域住民の利用者増に向け、更なる利用啓発・利用促進に努める。 また新型コロナウイルス感染症による減少率を踏まえた量的目標の設定に努める。	
	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(県道回り) (川内港シャトルバス)		A	B		

霧島市地域公共交通会議	南国交通(株)	溝辺地区におけるコミュニティバスの運行 (1)竹子・三縄・横川線 (2)麓線 (3)空港崎森線	①出前講座において、バスやデマンド交通の乗り方、モデルコースについての説明を行った。	A	C	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p> <p><特記事項> 令和2年度実績において利用者が減少した要因の一つとして、新型コロナウイルス感染症の影響による高齢者等の外出機会の減少が考えられる。</p>	<p>評価の指標は、1便あたりの乗車人数、年間利用者数。</p> <p>出前講座や運行ルート・時刻の変更による利用者促進、住民座談会による地域公共交通のあり方を行うなど、積極的な取り組みを行っていることを評価します。</p> <p>自己評価で一部の路線で目標達成しているものの、多くの評価となっているのは、自己評価でも特記事項として掲げられているように、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響でが目標を下回ったと思われます。乗合タクシーで前回の事業評価結果の反映状況の記載がありませんが、乗合タクシーでも利便性向上に向けた利用者ニーズの把握や広報活動などの取り組みは有効ですので、利用促進に向けた活動をされていない場合は、ご検討下さい。</p> <p>霧島市は、鹿児島空港や国分駅・霧島神宮駅などの多くのJRの駅があり、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響による、これらの交通モードや地域間幹線バスの減便やダイヤ変更等の動きを注視して頂き、With/Afterコロナを見据えた対策も念頭に、令和2年3月に策定した地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づく、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>			
		②住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。	A	A						
	鹿児島交通(株)	牧園地区におけるコミュニティバスの運行	③地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。	A	C					
		福山地区におけるコミュニティバスの運行 (1)福沢線 (2)福地・池之谷 (3)比曾木野線 (4)福地線(スクール対応)登校便 (5)福地線(スクール対応)下校便 (6)福沢線(スクール対応)登校便 (7)福沢線(スクール対応)下校便	④令和元年10月に市街地循環バスの見直しを行ったことにより、コミュニティバスを利用し市街地まで来られた方の市街地部の回遊性の改善が図られた。	A	C					
		(株)有村観光	霧島地区永水・向田地域におけるデマンド交通の運行 (1)永水・向田線	A	C					
		(有)中村タクシー	福山地区佳例川地域・福山地域におけるデマンド交通の運行 (1)佳例川線 (2)福山線	A	C					
		第一交通(株)	霧島地区狭名田・野上地域におけるデマンド交通の運行 (1)狭名田・野上線	A	C					
				A	A					
	鹿児島市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	谷山地域あいばすの運行	・市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。 ・地域の利用者等から意見や要望が寄せられたものについては、現場確認や事業者との情報共有を行い、今後の検討課題として整理することとしているが、対象期間中は利用者等からの意見や要望はなかった。	A			A	<p>・地域の利用者の意見や要望を聞きながら、需要に応じた運行計画づくりに努める。</p> <p>・潜在的な利用者の掘り起こしのための分かりやすい情報提供に努める。</p>	<p>評価の指標は、路線別の1日あたりの利用者数。</p> <p>利用者への広報活動、利用者等の声を重視した取り組みは評価します。</p> <p>自己評価については、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響の中、ほぼ目標を達成されていることを評価します。</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染症が収束しない中、JR鉄道、鹿児島市電や路線バスの減便やダイヤ変更等に注視して頂き、必要に応じて、他のモードに合わせた速やかな対応を図り、平成29年3月に策定した地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づく、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>
			喜入地域あいばすの運行	・市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。 ・地域の利用者等から意見や要望が寄せられたものについては、現場確認や事業者との情報共有を行い、今後の検討課題として整理している。	A			B		

南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株)	浜田入口～河内温泉の運行(平山線)	町ホームページや広報紙、公共施設での周知・情報提供を行った。また、地域支え合い推進員へ無料券申請書の受付協力を依頼した。	A	A	ホームページや広報紙だけでなく他の方法でも周知を行い、新規利用者確保に向けた取り組みを行う。	評価の指標は、路線別の年間利用者数。利用者向けの広報活動に関して、評価します。自己評価に関し、昨年度はすべて路線で目標達成されていたが、今年度は1路線以外、すべてC評価となっており、これは新型コロナウイルス感染症の影響によるものか、その他の要因があるか、詳細に分析し、必要に応じて、モビリティマネジメントを意識した運行ルートやダイヤの見直し、利用促進などを検討下さい。南種子町には南種子宇宙センターがあり、令和3年度以降19回の打ち上げが予定されています。ロケットの打ち上げ客の取り込みは、With/Afterコロナ下でロケット打ち上げの見物客は多くを見込めることから、こうした観光客の取り込みも利用者増加に寄与すると思っております。ご検討して下さい。今後、協議会において、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。	
		Aコープ前～河内温泉の運行(葦永線)		A	C			9月になって月々の利用者数が、前年の半数ほどで回復していない。利用者には必要な路線であるので、ホームページや広報紙だけでなく他の方法でも周知を行い、新規利用者確保に向けた取り組みを行う。
		役場～河内温泉の運行(西之線)		A	C			9月には月々の利用者数が前年ほどに回復した。ホームページや広報紙だけでなく他の方法でも周知を行い、新規利用者確保に向けた取り組みを行う。
		牛野～河内温泉の運行(島間線)		A	C			9月になって月々の利用者数が、前年の半数ほどで回復していない。利用者には必要な路線であるので、ホームページや広報紙だけでなく他の方法でも周知を行い、新規利用者確保に向けた取り組みを行う。
鹿児島交通(株)	鹿児島交通(株)	拠点間バス 頰娃・川辺線(頰娃～霜出～川辺)	一部の便の延伸に伴う市内高等学校へ周知や市ホームページ等での周知、経路検索サービスへの掲載を実施した。またアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、地域住民への広報周知や、アンケート等によるニーズ調査を行う。	評価の指標は、系統ごとの1便あたりの平均乗車人数。市報やHPでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を行っていることを評価します。自己評価に関し、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響の中で、全体的に昨年度から利用者数が若干減少にあるものの、広報活動や経路検索サービス掲載などの取り組み効果もあつたと推察しますが、1便あたりの利用者がむしろ増加している路線もある点は評価ができると考えます。しかしながら、昨年度に引き続き利用者が低調又は皆無な状況にある路線に関しては、協議会が設定する今後の改善点のとおり、乗合タクシーの導入・路線の見直し・路線の廃止等を検討下さい。また、昨年6月に活性化再生法が改正され、11月に改正法が施行された中、協議会において南九州市が主体となり、幅広い関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。	
		拠点間バス 番所鼻公園・知覧線(番所鼻公園～霜出～知覧)		A	B			
		川辺系統①瀬戸山・下里線(瀬戸山～下里～文化会館)		A	B			
		川辺系統⑥東木場・大久保線(屋敷平～本別府大久保～文化会館)		A	B			
		川辺系統⑦田の頭・勝目西線(田の頭～勝目西～文化会館)		A	B			
		川辺系統⑧君野・下山田東線(君野西～大山入口～文化会館)		A	B			
		川辺系統⑨打木谷・大谷線(打木谷～上之口～文化会館)		A	B			
		川辺系統⑭市街地周回線(文化会館～病院前～文化会館)		A	B			
		知覧系統②後岳・手裏線(枳川三叉路～市役所～保健センター)		A	B			
		知覧系統⑧加治佐・松村線加治佐～保健センター～知覧)		A	B			
	鹿児島交通(株)	川辺系統②市崎野・野間大久保線(市崎野～横手町～文化会館)	市ホームページでの周知の他、経路検索サービスへの掲載を実施した。また利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	A	今後も継続した運行を行うと共に、地域住民への広報周知や、アンケート等によるニーズ調査を行う。		
		川辺系統③八瀬尾・野崎線(滝の前～野崎公民館～文化会館)		A	B			
		川辺系統④山添・六丁線(山添～平山六丁～文化会館)		A	B			
		川辺系統⑤西の原・高田線(西の原～高田下～文化会館)		A	B			
		川辺系統⑩馬立・神殿線(火之河原～中服良～文化会館)		A	B			
		川辺系統⑪松尾城・野間里線(松尾城橋～野間里～文化会館)		A	B			
		川辺系統⑫荒多・越原線(荒田～越原～文化会館)		A	A			
		川辺系統⑬本別府・宮線(川原～宮～文化会館)		A	B			

南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会	知覧系統①木床・上郡上線(木床～上郡上～保健センター)	A	B	利用増に向けて、地域住民への広報周知を行うと共に運行計画の変更等も検討する。		
		知覧系統③厚地・河上線(寺園～河上～保健センター)	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、地域住民への広報周知や、アンケート等によるニーズ調査を行う。		
		知覧系統④下郡・打出口線(小金園～打越～保健センター)	A	B	利用増に向けて、地域住民への広報周知を行うと共に運行計画の変更等も検討する。		
		知覧系統⑤峯苦・平久保線(峯苦～平久保～知覧)	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、地域住民への広報周知や、アンケート等によるニーズ調査を行う。		
		知覧系統⑥二ツ谷・堤之原線(二ツ谷～堤之原～知覧)	A	A			
		知覧系統⑦高星・林川線(高星～林川～知覧)	A	B			
		知覧系統⑨飯野・横峯線(高吉～中福良～知覧)	A	B	予約型乗合タクシーの導入を検討することにより、利便性の向上や運行の効率化を図る。		
		知覧系統⑩大隣・松久保線(大隣南～松久保～霧上げんき館)	A	B	利用増に向けて、地域住民への広報周知を行うと共に運行計画の変更等も検討する。		
		知覧系統⑪竹迫・立山線(竹迫北～立山～霧上げんき館)	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、地域住民への広報周知や、アンケート等によるニーズ調査を行う。		
		知覧系統⑭中渡瀬・木原線(中渡瀬～上木原～松山)	A	B	予約型乗合タクシーの導入を検討することにより、利便性の向上や運行の効率化を図る。		
		(株)南九州あづま交通	顔娃系統②浦芝原・麓線(浦芝原～麓南～顔娃図書館)	市ホームページでの周知の他、経路検索サービスへの掲載を実施した。また利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	利用増に向けて、地域住民への広報周知を行うと共に運行計画の変更等も検討する。
			顔娃系統④佃・奥園線(佃～奥園～顔娃図書館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、地域住民への広報周知や、アンケート等によるニーズ調査を行う。
			顔娃系統⑥矢越・山下線(矢越～御領山下～顔娃図書館)		A	B	
			顔娃系統⑦蓮子・水成川線(蓮子～水成川～顔娃図書館)		A	B	
顔娃系統⑧青戸・福留線(青戸農村公園～福留～顔娃図書館)	A		B		予約型乗合タクシーの導入を検討することにより、利便性の向上や運行の効率化を図る。		
顔娃系統⑨源川・小原線(加治佐～小原～顔娃図書館)	A		B		今後も継続した運行を行うと共に、地域住民への広報周知や、アンケート等によるニーズ調査を行う。		
顔娃系統⑩曲谷・赤崎線(曲谷～赤崎～顔娃図書館)	A		B				
顔娃系統⑪種子尾・一氏線(種子尾～一氏～顔娃図書館)	A		B				
顔娃系統⑮永谷・粟ヶ窪線(永谷～粟ヶ窪～アグリ温泉)	A		C		アグリ温泉の休館により利用者がいないため、当該系統は廃止を検討する。		
顔娃系統⑯源川・耳原線(加治佐～耳原～別府温泉)	A		B		今後も継続した運行を行うと共に、地域住民への広報周知や、アンケート等によるニーズ調査を行う。		
顔娃系統⑲青戸・石垣線(青戸農村公園～石垣～別府温泉)	A		B				
(有)池田観光	顔娃系統①長崎・前原線(長崎～前原～顔娃図書館)	市ホームページでの周知の他、経路検索サービスへの掲載を実施した。また利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、地域住民への広報周知や、アンケート等によるニーズ調査を行う。		
	顔娃系統③永谷・春向線(永谷～春向～顔娃図書館)		A	B	利用増に向けて、地域住民への広報周知を行うと共に運行計画の変更等も検討する。		
	顔娃系統⑤下出・木之元線(下出～木之元～顔娃図書館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、地域住民への広報周知や、アンケート等によるニーズ調査を行う。		
	顔娃系統⑬熊ヶ谷・梶山線(アグリ温泉～梶山～顔娃図書館)		A	B	アグリ温泉と市街地間を運行する系統だが、アグリ温泉が休館のため、一部経路の見直しを検討する。		
	顔娃系統⑯上洲・雪丸線(上洲～雪丸～アグリ温泉)		A	C	アグリ温泉の休館により利用者がいないため、当該系統は廃止を検討する。		
	顔娃系統⑰曲谷・新牧線(曲谷～新牧～アグリ温泉)		A	C			

鹿屋地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	輝北西ルート(市成出張所～歌丸～輝北総合支所)	・市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行い、また利用ニーズや要望等の収集に努めた。	A	B	・利用者が高齢固定客となってきたため、周知広報や利用促進策に取り組み、新規利用者の掘り起こしを行う。	評価の指標は、系統ごとの1便あたりの利用者数。利用者への広報活動やニーズ・要望等の収集に努め、キャンペーン等の利用促進を行い、目標を達成出来なかった系統についての具体的な分析を行っていることを評価します。自己評価に関し、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響の中で、全体的に昨年度から利用者数が若干減少にあるものの、昨年度に行った路線の見直しや広報活動などの取り組み効果もあつたと推察しますが、1便あたりの利用者がむしろ増加している路線もある点は評価できると考えます。引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。また、昨年6月に活性化再生法が改正され、11月に改正法が施行された中、協議会において鹿屋市が主体となり、DMOなど幅広い関係者との協議を結ぶつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。
		輝北東ルート(有村三文字～中平房～輝北総合支所)	・市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行い、また利用ニーズや要望等の収集に努めた。	A	B	・町内会長や地域住民との意見による要望等の収集と併せ、ルート沿線住民へのポスティングや直接ヒアリングによるニーズ把握を行い、適宜、実情に応じた運行内容の見直しを行う。	
		輝北中央ルート(輝北総合福祉センター～百引～輝北総合福祉センター)	・市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行い、また利用ニーズや要望等の収集に努めた。	A	B		
		輝北堂平ルート(荒平橋～百引～輝北総合福祉センター)	・キャンペーン等の利用促進を行った。	A	B	・利用者が高齢固定客となってきたため、周知広報や利用促進策に取り組み、新規利用者の掘り起こしを行う。	
		吾平東ルート(吾平振興会館～湯遊ランドあいら～永野牧～吾平振興会館)		A	B	・町内会長や地域住民との意見による要望等の収集と併せ、ルート沿線住民へのポスティングや直接ヒアリングによるニーズ把握を行い、適宜、実情に応じた運行内容の見直しを行う。	
		吾平西ルート(真戸原～坂元湯遊ランドあいら～吾平振興会館)		A	A	・地域特性等の踏まえ、利用者の回復が見込まれない場合は、減便や廃止も含め他の運行形態への転換を検討する。	
		市街地巡回バス(鹿屋～西原寿中央～鹿屋)		A	B	・周知広報や利用促進に努め、利用者増を図って行く。 ・ニーズに応じた見直し等を必要に応じて行う。	
		串良馬掛ルート(馬掛公民館～永和～串良さくら温泉)	・市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行い、また利用ニーズや要望等の収集に努めた。	A	B	利用者が高齢固定客となってきたため、周知広報や利用促進策に取り組み、新規利用者の掘り起こしを行う。	
		串良新堀ルート(新堀公民館～永和～串良さくら温泉)	・キャンペーン等の利用促進と運行内容の改善に向けた調査を行った。	A	B	町内会長や地域住民との意見による要望等の収集と併せ、ルート沿線住民へのポスティングや直接ヒアリングによるニーズ把握を行い、適宜、実情に応じた運行内容の見直しを行う。	
		串良市街地・堅田ルート(串良さくら温泉～堅田永和～串良さくら温泉)		A	B	地域特性等の踏まえ、利用者の回復が見込まれない場合は、減便や廃止も含め他の運行形態への転換を検討する。	
串良市街地ルート(串良さくら温泉～永和～串良さくら温泉)		A	B				
鹿児島第一交通(株) 鹿屋営業所	天神 船間 花岡 西原	・市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行い、また利用ニーズや要望等の収集に努めた。	A	A	周知広報に努め、更なる利用促進に努め、新規利用者の掘り起こしを行う。		
垂水地域公共交通活性化協議会	小森 勇(協和タクシー)	事前予約型乗合タクシー運行(市木地区～中央地区)	利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等の周知を行った。また、利便性強化の方策を検討し、かつ、潜在的利用者掘り起こしのための情報収集としてアンケート調査を実施した。	A	C	目標未達成の要因として、新型コロナウイルスの影響もあるが、直近3年の利用者数が1,800～1,900人程で安定していることから、利用者数が頭打ちの状態と考えられる。アンケート調査の結果をもとに令和3年度から増便及び時間変更を行ったため、利用状況を分析し、利便性の向上に努める。	評価の指標は、路線別の年間利用者数。広報活動や潜在的利用者掘り起こしに向けたアンケート調査を実施し、路線ごとの詳細な分析を行っていることは評価します。自己評価については、昨年度に比べ長期化する新型コロナウイルスの影響で、全体として利用者数が減少していますが、市内に2箇所ある道の駅には、今後、隣接してマリオット系列ホテルの建設も計画されており、観光客の利便性向上を図った取り組みなどWith/Afterコロナを見据えた対策が利用者増加に向けた検討されることを期待します。また、昨年6月に活性化再生法が改正され、11月に改正法が施行された中、協議会において垂水市が主体となり、DMOなど幅広い関係者との協議を結ぶつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。
		(有)オダ	事前予約型乗合タクシー運行(大野地区～中央地区)		A	C	
	南海交通(株)	事前予約型乗合タクシー運行(水之上地区～中央地区) ※内ノ野ルート		A	C	目標未達成の要因として、新型コロナウイルスの影響もあるが、内ノ野ルート対象地域における75歳以上の人口が昨年度末から11人減少していることから、大幅な利用者減少は自然減による影響が大きいと考えられる。アンケート調査の結果をもとに令和3年度から増便を行ったため、利用状況を分析し、利便性の向上に努める。	
		事前予約型乗合タクシー運行(水之上地区～中央地区) ※小谷ルート		A	C	目標未達成の要因として、新型コロナウイルスの影響もあるが、小谷ルート対象地域における75歳以上の人口は昨年度末から1人の減少だったものの、令和元年8、9月で6人減少していることから、大幅な利用者減少は自然減による影響が大きいと考えられる。アンケート調査の結果をもとに令和3年度から増便を行ったため、利用状況を分析し、利便性の向上に努める。	

沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団	知名～沖永良部空港間の路線バスの運行	航空便のダイヤに接続するため運航時刻を改正しながら運行していたが、生活路線として島内利用者の利便性を考慮しダイヤの固定を実施した。	A	B	目標には達していないが、利用者が増加傾向にある新空港線と知名・国頭線の統合により、より多くの航空便にも接続できる基幹路線の増便や、他の路線との接続を考慮した運行ダイヤの検証による生活路線としてのさらなる利便性の向上等を検討していく。	評価の指標は、路線別の年間利用者数、路線ごとにダイヤの固定化や停留所新設などの利用者利便を図る取り組みは評価します。自己評価については、全体的に利用者の減少傾向が見られるものの、路線ごとに詳細に分析されており、目標の一部が未達成であるものの、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛の状況にあることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。今後も、平成30年3月に策定した地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
		知名～国頭間の路線定期バスの運行	各町中心部の施設への交通利便性向上のため、和泊町役場駐車場へ停留所の設置と総合病院前へ停留所を設置。	A	B	目標には達していないが、利用者が増加傾向にある新空港線と知名・国頭線の統合により、より多くの航空便にも接続できる基幹路線の増便や、他の路線との接続を考慮した運行ダイヤの検証による生活路線としてのさらなる利便性の向上等を検討していく。	
		知名～永嶺～和泊間の路線定期バスの運行	停留所までの距離が遠い集落内を通る路線(時間限定路線)の運行を開始。総合病院前へ停留所を設置。	A	C	利用者が減少している路線であるが、集落住民からの強い要望があり運行している時間限定路線は維持していく必要がある。運行ダイヤの適切性の検証や両町が推進するSDGsの一環としての通勤・通学での利用啓発等、今後も引き続き利用者を増やすための取り組みを検討していく。	
		知名～後園～和泊間の路線定期バスの運行	総合病院前へ停留所を設置し利用者(特に高齢者)の利便性の向上に努めた。	A	C	唯一目標値を上回った路線であるが、一過性のものとしないうち今後も乗り継ぎしやすい運行ダイヤなど、さらなる利用者の利便性向上を検討していく。また、今後の他路線の運行ダイヤの見直しや停留所の統廃合等の参考としていく。	
		知名～下平川～和泊間の路線定期バスの運行	総合病院前へ停留所を設置し利用者(特に高齢者)の利便性の向上に努めた。	A	A	利用者が少ない路線であるが、運転免許を返納した高齢者や障害者が船を利用する際、無くてはならない路線であるため、今後も維持していく必要があるが、目標値の見直しは検討する必要がある。また、島内者の利用だけでなく、観光客など島外の方への利用促進を図るため、新たに整備する沖永良部バス企業団のホームページでの情報発信を積極的に行っていく。	
		和泊～伊延港間、和泊～和泊港・伊延港間、知名～知名港間の路線不定期バスの運行	令和2年度より開始した事業であるため、評価結果の反映状況はないが、ポスターやビラなどで広報を行った。	A	C		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)	曾木バス停～川西地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行エリアの見直しも視野に入れながら、利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。	評価の指標は、区域運行が路線別の乗合タクシー運行台数、循環線が年間利用者数。警察署及び市庁舎等で、市内交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等を開催し、新規利用者の掘り起こしを含め、利用者数を維持していることを評価します。自己評価について、目標の一部が未達成であるものの、昨年度と同程度の運行がなされており、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で、出自粛の状況であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。一方で、昨年度に引き続き運行実績がない路線がありますので、モビリティ・マネジメントを意識した地域住民等へのアンケート調査を行い、利用者利便向上に向けた運行計画の見直しなども検討下さい。今後もご提言も含め、協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。また、昨年6月に活性化再生法が改正され、11月に改正法が施行された中、協議会において伊佐市が主体となり、観光など幅広い関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。
		針持バス停～西山地区の運行		A	C		
		針持バス停～高塚地区の運行		A	C		
		針持バス停～田原地区の運行		A	C		
		菱刈中心地～荒田地区の運行		A	A		
		菱刈中心地～永池桶原地区の運行		A	A		
		菱刈中心地～野池小川添地区の運行		A	A		
		菱刈中心地～田中重留地区の運行		A	C		
	菱刈中心地～市山花北地区の運行	A	B				
	(有)下小園タクシー	菱刈中心地～湯之尾地区の運行	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
		菱刈中心地～山田徳辺地区の運行	A	A			
		菱刈中心地～五色徳辺下地区の運行	A	A			
		菱刈中心地～下手地区の運行	A	A			
		山野中心地～布計地区の運行	A	A			
		山野中心地～小川内地区の運行	A	C			
山野中心地～平出水地区の運行		A	A				
南国交通(株)	大口中心地～青木篠原地区循環運行	A	A	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。			

さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	神子線(乗合タクシー) 大野～鶴田支所の運行	利用促進を図るため、地域サロンの代表者に説明会開催の依頼を行い、啓発稼働の機会を増やす取り組みを行った。	A	C	緩やかではあるが、利用者は増加してきている。引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。 移動区域内に医療機関が無いことから、移動区域拡大に向けた協議を行っていく。	評価の指標は、乗合タクシーが系統ごとの1便あたりの利用者数、コミュニティバスが年間利用者数。 説明会開催回数の増加や出前講座による利用啓発活動を行っていることを評価します。 自己評価について、路線ごとに詳細分析されており、目標の一部が未達成であるものの、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛の状況であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。乗合タクシーは、事前予約制による運行であることから利用者ニーズの把握が重要となりますので、利用者だけでなく、利用していない方にもアンケート調査を行い、潜在的なニーズの把握などをご検討下さい。 今後も、平成30年3月に策定した地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
		鶴田線(乗合タクシー) 上場～鶴田支所の運行		A	C		
		上狩宿・熊田線(乗合タクシー) 上狩宿～さつまクリニック前の運行		A	A		
		段・薬師線(乗合タクシー) 段～さつまクリニック前の運行		A	C		
	(株)宮都タクシー	金山線(乗合タクシー) 金山～さつまクリニックの運行	出前講座などを活用し、利用啓発の活動に取り組んだ。	A	B	緩やかではあるが、利用者は増加してきている。引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。 生活利用や幹線系統への接続に対し、移動区域拡大の要望が出されていることから、地域区域拡大に向けた協議を行っていく。	
		中津川・白猿線(乗合タクシー) 中津川～さつまクリニックの運行		A	A	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。 生活利用や幹線系統への接続に対し、移動区域拡大の要望が出されていることから、地域区域拡大に向けた協議を行っていく。	
		湯田・佐志線(乗合タクシー) 湯田～旧宮之城駅の運行		A	A	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。	
		泊野・白男川線(乗合タクシー) 泊野～旧宮之城駅の運行		A	B	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。 住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗合人数及び利用者数の増を図る。	
	(株)神園サービス	山崎線(乗合タクシー) 山崎～旧宮之城駅の運行		A	A	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。	
		登尾線(乗合タクシー) 登尾～旧宮之城駅の運行		A	A		
		椋野・紫尾線(乗合タクシー) 椋野～旧宮之城駅の運行		A	A		
	(株)宮都タクシー	中津川線(コミュニティバス) 北方町自治公民館前～屋地仲町の運行	主な利用者層である学生の予約方法について、町教育委員会と協議を行った。	A	A	鹿児島県バス停留所安全性確保合同検討会による安全対策検討対象となっているバス停に停車することから、指導事項等を注視し、適切な対応により利用者の安全確保に努める。	
	(株)神園サービス	登尾線(コミュニティバス) 登尾～屋地仲町の運行	主な利用者層である学生の予約方法について、町教育委員会と協議を行った。 夕方の交通渋滞を引き起こす要因を分析し、その対応として発車時刻を変更した。	A	A		
		椋野・紫尾線(コミュニティバス) 市野～屋地仲町の運行		A	C		
		北原線(コミュニティバス) 牧之峰～屋地仲町の運行	主な利用者層である学生の予約方法について、町教育委員会と協議を行った。	A	A		
	(有)鶴田タクシー	栗野線(コミュニティバス) あじさい団地入口～屋地仲町の運行	主な利用者層である学生の予約方法について、町教育委員会と協議を行った。 夕方の交通渋滞を引き起こす要因を分析し、その対応として発車時刻を変更した。	A	C		

西之表市地域公共交通活性化協議会	林 辰男(はやしタクシー)	伊関～市内～西之表港(柳原線)	運行開始から8年が経ち利用者から様々な要望があったため、利用者アンケートを実施した。その結果を踏まえ、利便性を高めるべく実証運行を行うための協議を行った。	A	B	<p>どんがタクシーの利用者満足度については、今年利用者アンケートを実施したため、路線ごとに把握できた。6%の方は不満があるが、基本的には満足度の高い公共交通を提供できていることが分かった。</p> <p>一方で例年実施している「市民アンケート」結果によると、全路線において、満足している方の割合は低下した(市民全体からの抽出)。</p> <p>利用しなくなった理由としては、介護施設利用等利用者の体調不良もあるが、迎送してくれる家族等がいることが一番多い理由であった。</p> <p>また、「体調がよくなり、自分で運転ができるようになったため」という回答も多く、運転に自信がないときにどんがタクシーを利用する方が一定数いることがわかった。</p> <p>市街地巡回バス、どんがタクシーの利用者は、令和2年3月までは、例年並みの利用者であったが、4月以降は、2割程度減少している。病院の通院間隔が減ったこと、買い物の頻度が減ったことが理由と考えられる。特に買い物については、地元企業が移動販売を始め、どんがタクシー利用者が買い物に行く必要がなくなったことも一因と考えられる。</p> <p>車両の更新時期でもあり、車両修繕費が増えている。更新に合わせたEV車等のエコカーの導入、運賃収入減に対する利用対象者の見直し、利便性を高める運行時刻の在り方について、協議や実証を重ね、適切な規模でのサービス提供を目指し、安定的で持続可能な公共交通の在り方を検討していきたい。</p>	<p>評価の指標は、運行の態様ごとの年間利用者数及び満足度並びに1運行あたりの利用者数。</p> <p>利用者アンケートを実施し、利便性向上のために実証に向けた協議を進めていることや市広報誌に特集掲載し、運転免許証返納への運賃割引の周知などを行い、市長と地域が語る会においても周知を図っていることを評価します。</p> <p>自己評価については、全体的に1運行あたりの利用者減少傾向が見られるが、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛の状況であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。一方で、西之表市は種子島の玄関口である西之表港や近隣に種子島空港があり、長期化する新型コロナウイルスの影響による、これら交通モードや路線バスの減便やダイヤ変更等の動きを注視して頂き、With/Afterコロナを見据えた対策も念頭に、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p> <p>また、昨年6月に活性化再生法が改正され、11月に改正法が施行された中、協議会において西之表市が主体となり、観光など幅広い関係者との協議を経つつ、種子島一円も見据えた地域公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。</p>
		立山～市内～西之表港(立山線)	「種子島高校バス停」を新設し、通学利用ができる実証。実証期間は令和2年10月～令和3年3月末。そのほか、交通弱者支援のため、社会福祉法人や校区住民から移動支援の要望があったため、事業者、支局などと協議を行ったが、運営体制等の事情により、実証には至っていない。新規利用者獲得に向けて、市広報誌へ特集記事を掲載し、特に免許返納者の運賃割引について、周知を行った。	A	B		
		中割～市内～西之表港(古田線)	また、市長と地域が語る会において、どんがタクシーの利用促進のための説明を行った。	A	B		
	(株)市丸タクシー	国上～市内～西之表港(国上線)		A	B		
		住吉～市内～西之表港(住吉線)		A	B		
	種子島・屋久島交通(株)	西之表港～市役所・松島～西之表港(市街地巡回バス)		A	B		
阿久根市地域公共交通確保維持改善協議会	合資会社阿久根タクシー	多田・桑原城系統 丸内～市役所間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページへの掲載や必要に応じたチラシ配布、また、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	<p>多田・桑原城においては、コロナ後の利用者減少が大きいため、収束後にこのまま利用者の事業離れが進まないよう、事業者と協力し、安全性の確保についても努めたい。また、新たな利用者確保のために引き続き周知活動についても努めたい。</p> <p>目標は達成できなかったが、運行回数、利用人数は少し増加したため、引き続き地域住民への周知活動等に努めたい。また、このまま利用者の事業離れが進まないよう、事業者と協力し、安全性の確保についても努めたい。</p> <p>目標は達成でき、利用人数も増加したため、一定の効果が得られた。今後も引き続き地域住民への周知活動等に努めたい。</p> <p>利用がなされていないことから、利用者ニーズを把握しながら市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催し、利用促進に努める。</p> <p>目標は達成できなかったが、運行回数、利用人数は少し増加したため、引き続き地域住民への周知活動等を行い、利用者確保に努めたい。</p> <p>目標は達成できなかったが、運行回数、利用人数は少し増加したため、引き続き地域住民への周知活動等を行い、利用者確保に努めたい。</p> <p>実利用人数及び利用頻度の減少が見られることから、利用者ニーズを把握しながら周知活動に努めたい。また、リピーター以外の利用者確保にも努めたい。</p> <p>目標は達成でき、利用人数も増加したため、一定の効果が得られた。田代地区は高齢化率も高く、交通弱者に当たる方も多いため、今後も引き続き地域住民への周知活動等に努めたい。</p> <p>コロナ前であれば増加していた利用者数もコロナ後は減少してしまった。コロナの収束の目は未だ立っていないが、このまま利用者の事業離れが進まないよう、事業者と協力し、安全性を確保しながら、これまで以上に周知活動に努めたい。</p>	
		西目・遠見ヶ岡・倉津系統 落～市民病院間の区域内運行		A	C		
		脇本北部系統 八郷～脇本地区公民館間の区域内運行		A	A		
		脇本西部系統 深田～脇本地区公民館間の区域内運行		A	C		
		脇本東部(瀬之浦)系統 大淵川～脇本地区公民館間の区域内運行		A	C		
		脇本東部(桐野)系統 桐野上～脇本地区公民館間の区域内運行		A	C		
		山下系統 尾崎～市役所間の区域内運行		A	A		
	第一交通(株)	田代系統 米次～市役所間の区域内運行		A	A		
		鶴川内 木佐木野～市役所間の区域内運行		A	C		

いちき串木野市地域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー 川上線の運行	左記の地域内フィーダー系統路線の4路線においてすべて、増便等見直しを実施しており、その際に広報紙や出前講座を実施し、地域へ説明等を行い、路線のPRを行った。	A	A	平成30年度策定の地域公共交通網形成計画に基づき、住民の利便性向上のため、左記の地域内フィーダー系統路線の4路線を見直ししており、川上線、大里線については増便を行い、利用者が増となった。また、冠岳・生福・上名線、旭線については、見直し初年度であり、バス利用者を基にした目標を立て、目標達成が出来なかった。来年度以降は、R2年度の見直し初年度の実績を基に評価を行うが、出前講座、セミナーなどで路線のPRを行い、事業の目標設定また達成に努める。	評価の指標は、路線別の年間輸送人員数、平成31年3月に策定された地域公共交通網形成計画に基づく路線の見直しや広報紙への掲載及び出前講座の場での路線のPRを行っていることは評価します。 自己評価について、目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると思います。乗合タクシーは利用者ニーズの把握が大事であることから利用者ニーズの把握のため、アンケート調査やワークショップの開催などによる利便性向上を図ることもご検討下さい。 今後も、平成31年3月に策定した地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
		いきいきタクシー 大里線の運行		A	A		
		いきいきタクシー 冠岳・生福・上名線の運行		A	B		
		いきいきタクシー 旭線の運行		A	C		
肝付町地域公共交通会議	(株)銀河タクシー	辺塚～岸良～内之浦市街地	【辺塚～岸良～内之浦市街地】 町広報紙による周知を行った。 【内之浦市街地】 町広報紙による周知や地域協議会にて説明会を行った。また、利用者ニーズに合わせ、停留所の追加や要介護者への利用促進に取り組んだ。	A	B	今後も、広報紙・チラシ等の配布し、高齢者等を中心とした利用方法の説明会を行うことで利用促進を図る。また、利用者ニーズを把握し、公共交通空白地域の解消や不足している運転者の確保など地域内の公共交通体制の見直しに取り組む。 評価の指標は、路線ごとの1便あたりの月平均利用数。 町の広報紙による周知や乗降場所の追加を行い、交通弱者への利用促進を図っていることは評価します。 自己評価について、系統別の平均利用者数について、目標を上回ったのは1系統のみですが、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛の状況であることを踏まえれば、一定の評価ができると思います。AI乗合タクシーは、利用者増加に向けて、機能していることから他の地域での導入もご検討されても良いかもしれません。また、乗合タクシーは利用者のニーズを把握し、反映させていくことが大事ですので、利用者のみならず、潜在的なニーズ把握のため、利用していない方へのアンケート調査の実施もご検討下さい。引き続き、ご提言を含め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 また、昨年6月に活性化再生法が改正され、11月に改正法が施行された中、協議会において肝付町が主体となり、観光など幅広い関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。	
	(有)鶴丸タクシー (有)立石タクシー	岸良～高山	町広報紙による周知を行った。	A	C		
	(有)鶴丸タクシー (有)立石タクシー	高山市街地	町広報紙による周知や地域協議会にて説明会を行った。また、利用者ニーズに合わせ、停留所の追加や要介護者への利用促進に取り組んだ。	A	A		

日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	上神殿線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	A	利用者の獲得は出来ているため、継続して広報紙・チラシ等を活用した利用促進を行うと共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発に努める。	評価の指標は、系統別の年間運行率、公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布及び市広報誌での利用促進の取り組みは評価します。 自己評価については、概ね目標達成されていますが、目標未達だったものを詳細に分析し、目標達成したものを成功例として分析され、未達成の路線検証に生かすことを期待します。 今後も、平成29年3月に策定した地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づき、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決され、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
		中川・郡線		A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。	
		竹之山・土橋線		A	A	利用者の増減はそこまでないが、新規利用者の獲得が出来ていない。チラシ等の情報発信しながら、出前講座等を実施し、新規利用者の獲得をしていく。	
		上・下方限線		A	A		
		恋之原線		A	A		
		久木野々線		A	B	利用者は増えているが、運行回数が少ない状況である。情報提供と出前講座を実施し、新規利用者の獲得に努める。	
	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	平鹿倉・湯之元線	A	A	運行目標は達成しているが、新規の利用者が獲得出来ないため、チラシ等の情報提供と出前講座を実施し、利用者獲得に努める。		
		日添・田之尻線	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
		和田線	A	B	利用者は増えているが、運行回数が少ない状況である。情報提供と出前講座を実施し、新規利用者の獲得に努める。		
		藤元・野首線	A	A	目標達成しているが、利用者数は減少している。チラシや広報誌の情報提供と出前講座等を実施し、新規利用者の獲得に努める。		
		坊野・田尻	A	A	運行率のみではなく、利用者も増えている。継続して、情報提供と出前講座を実施し、新規利用者の獲得に努める。		
	(有)吉村タクシー	日新線	A	C	1日あたり1回も運行していない状況。定期利用者を獲得するために、出前講座等で利便性等のPRに努める。		
		日置線	A	B			
		吉利線	A	B			
		扇尾線	A	B	目標との乖離もあるが、定期的な利用客が少ない。この路線は生活圏も含めて見直すことも検討する。		
		住吉線	A	A	順調に利用者の獲得が出来ている。さらに新規利用者の獲得を目指し、出前講座等を実施していく。		
	第一交通(株)	上野・皆田線	A	A	前年度と実施日数が違うこともあるが、利用者の獲得は順調に出来ている。継続した、情報提供をし、新規利用者の獲得に努める。		
		高山・上市来(東市来)線	A	A			
	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	高山・上市来(伊集院)線	A	A			
	南さつま市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	坊津から加世田市街地の運行(中山線)	市内路線を含むバス時刻表を全戸配布、バス時刻表をGooglemaps上で検索できるよう改善、広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	B	
池辺から加世田市街地の運行(高橋線)			A		A	—	
大木場から加世田市街地の運行(大木場線)			A		B	利用者のほとんどが高齢者のため、安全性を確保しつつ、利用者の目的地も安全でなくてはならない。また、新規利用者の掘り起こしに力を入れる必要がある。新型コロナウイルスの影響を加味した目標の見直しを含め、適正な目標達成に努めたい。	
池辺門前からゆうらくの運行(池辺線)			A		B	利用者のほとんどが高齢者のため、安全性を確保しつつ、利用者の目的地も安全でなくてはならない。新型コロナウイルスの影響を加味した目標の見直しを含め、適正な目標達成に努めたい。	
(株)森田タクシー		内山田から加世田市街地の運行(鉄山線)	A	B	市内路線を含むバス時刻表を全戸配布、広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った		
南海交通(株)		白川・大田・阿多・大坂から金峰市街地の運行(白川線)	A	B	利用者のほとんどが高齢者のため、安全性を確保しつつ、利用者の目的地も安全でなくてはならない。新型コロナウイルスの影響を加味した目標の見直しを含め、適正な目標達成に努めたい。		

中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)和人組	上牧川～市街地～田上診療所の運行	町民への時刻表の配布、広報紙を活用した周知を行ったが、対象期間目標数を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	今後も地域住民に対し、広報・周知を行い利用促進を促す。別ルートを運行してほしいという、地元住民の声もあるので、運行事業者等と十分に調査・検討を行う。	評価の指標は、路線ごとの年間輸送人員数。町民への時刻表の配布、広報紙を活用した周知活動は、評価します。自己評価について、路線ごとに検証されており、目標の一部が未達成であるものの、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛の状況であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。地元住民の要望が寄せられている路線もあるとのことで、協議会が設定する今後の改善点が着実に実施されることを期待します。一方で、中種子町は種子島空港があり、長期化する新型コロナウイルスの影響による、航空機や路線バスの減便やダイヤ変更等の動きを注視して頂き、With/Afterコロナを見据えた対策も念頭に、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。また、昨年6月に活性化再生法が改正され、11月に改正法が施行された中、協議会において中種子町が主体となり、種子島一円も見据えた地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。
	(有)和人組	上牧川～上宝来～市街地～田上診療所の運行		A	B	今後も地域住民に対し、広報・周知を行い利用促進を促す。上段の経由線であるが、この路線の存続について、また別ルートを運行してほしいという、地元住民の声もあるので、運行事業者等と十分に調査・検討を行う。	
	(有)和人組	浜津脇入口～増田～市街地～田上診療所の運行		A	B	利用者増を目指した取組として、広報・周知活動を推進していく。地域住民の利便性も含め、デマンドタクシーとの関係性も考慮し、運行事業者と協議していききたい。	
	(有)和人組	今熊野～坂井～油久～市街地～田上診療所の運行		A	B	広報・周知の機会を増やし、利用者増へ向けた取組を行う。利便性の向上に向けて、車両の更新について事業者と協議していききたい。	
	(有)和人組	長谷～原尾～岩岡～市街地～田上診療所の運行	町民への時刻表の配布、広報紙を活用した周知を行ったが、対象期間目標数を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	地域公共交通を利用するメリット等も含め、利用を考えている方々への周知・広報を推進する。デマンドタクシーとの関係性も考慮し、各事業者と調査・研究を行う。	
	林 辰男(はやしタクシー)	岩岡・南界地域～公立種子島病院の運行	利用可能な地域住民へ、広報紙・チラシを配布し周知を行った。目標利用者数を上回ることができた。	A	A	今後も周知・広報活動に努める。また、運転免許証返納者へ向けた取組を充実させていきたい。	
	林 辰男(はやしタクシー)	三浜地区(大牟礼・伊原・下田・阿保)～市街地の運行	新規の利用者が増えたことが功を奏し、目標利用者数を上回ることができた。	A	A	目標値の達成には、新規の利用者が増えたことが考えられる。幹線バスとの関係性を考慮した枠組みで事業を展開していく必要がある。	
	(株)市丸タクシー	秋佐野・向井町・戸畑～市街地の運行	利用可能な地域住民へ、広報紙・チラシを配布し周知を行った。しかし、年間利用者目標を達成できず、前年度比も減少した。	A	B	デマンドタクシーの中では一番利用者の多い系統であったが、大幅な減少となった。今後利用考えている方々への周知・広報を行っていく。	
	(株)市丸タクシー	女州・竹屋野～市街地の運行		A	B	代替路線への検討を運行事業者と行っていききたい。	
	(株)市丸タクシー	油久・南界地域～公立種子島病院の運行		A	B	病院受診機会に対する利便性も含め、地域住民に対して、広く広報していききたい。	
始良市地域公共交通会議	南あいら交通	ふるさとバス(蒲生・春花線)	前回は目標達成していたため、継続して、事業実施を行った。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響によってサロンは計画通りに開催できなかった。来年度はサロンを今年度より、1回以上多く実施し、また、地域へのチラシ配布により公共交通の周知・利用促進を図る。	
	新川タクシー(株)	新留地区予約型乗合タクシー		A	A		
		大山地区予約型乗合タクシー	今回が初年度となる。	A	A		
		久末地区高牧集落予約型乗合タクシー		A	C		